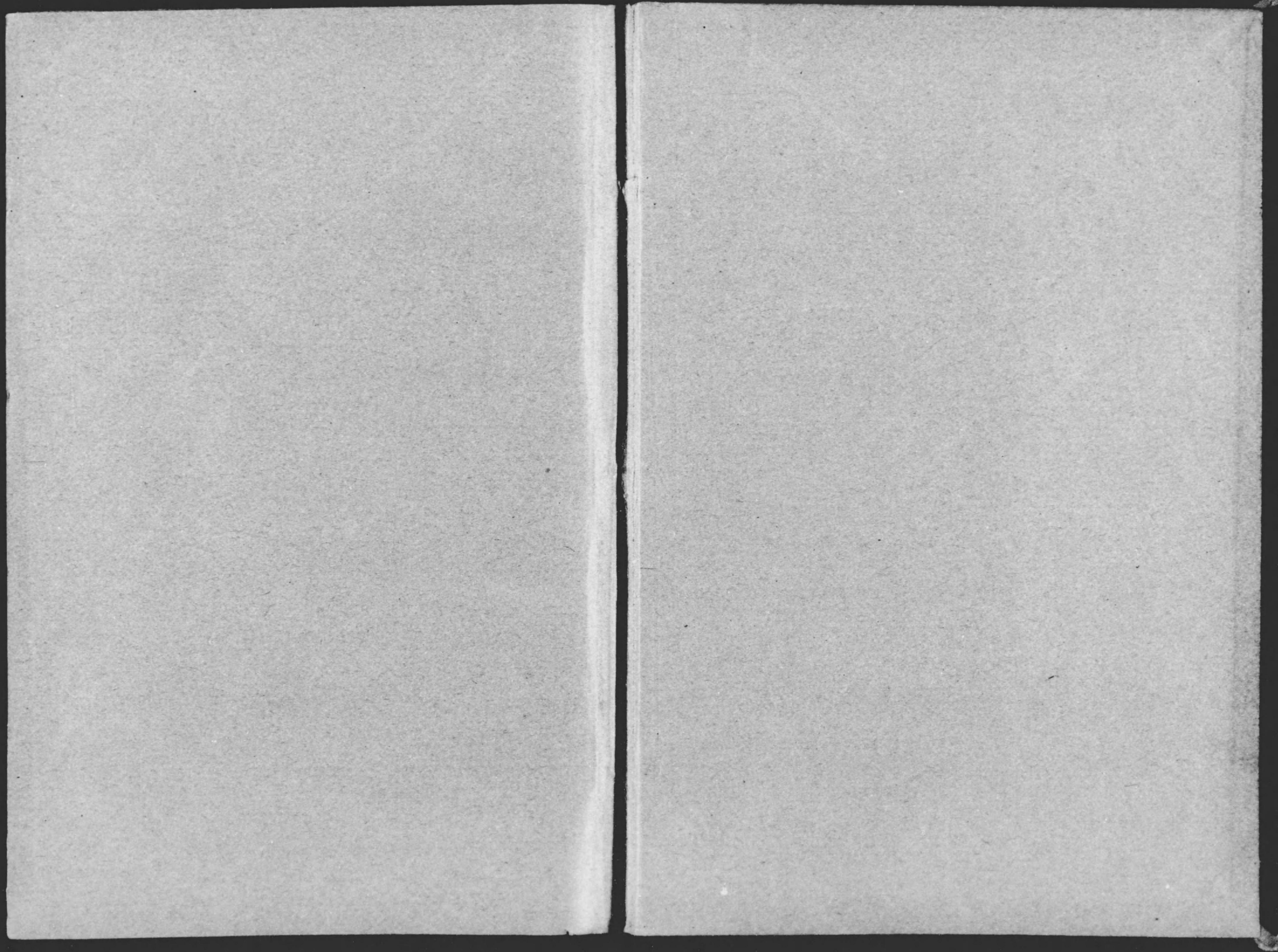


283

32

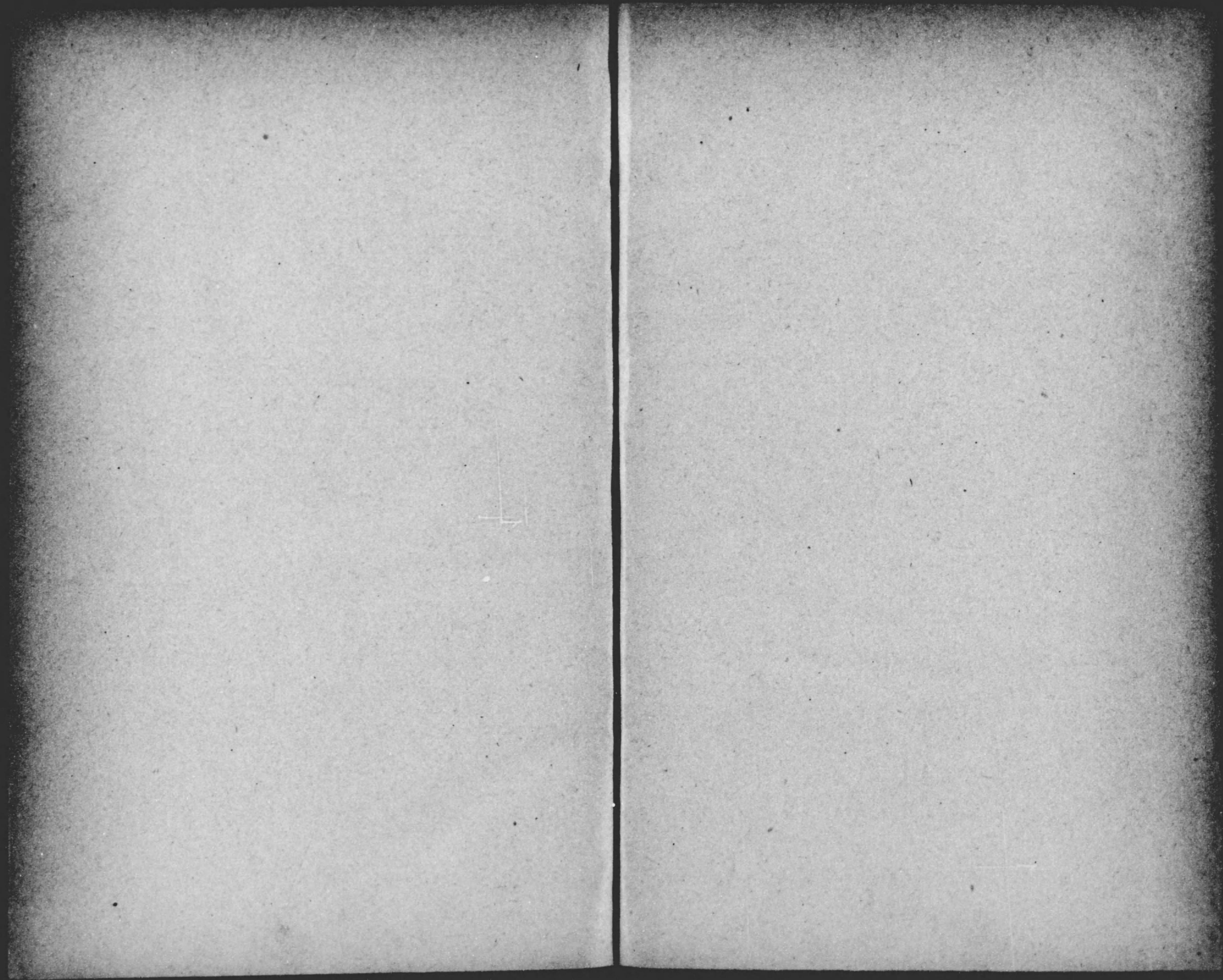


283

192

山形高等學校一覽

自昭和十四年
至昭和十五年



山形高等學校一覽

自昭和十四年三月
至昭和十五年四月

目次

發行所寄贈本

○學年歷

○沿革略

○關係法令

文部省直轄諸學校官制(抄)

文部省直轄諸學校職員定員令(抄)

三 高等學校令

四 高等學校規程

五 高等學校高等科大學資格試驗規程

六 文部省直轄學校外國人特別入學規程

七 外國人及植民地人學生ニ關スル件

八 文部省直轄諸學校生徒入學試驗無效ニ關スル件

九 高等學校高等科學力檢定規程

目次



一丁 二丁 三丁 三三丁 三四丁 三四丁 三五丁 三五丁

目次

○學則

- 一 總則
- 二 學年、學期、式日及休業日
- 三 入學及在學
- 四 進級及卒業
- 五 休學
- 六 退學
- 七 懲戒
- 八 授業料
- 九 學寮

○生徒心得綱領

○細則

- 一 生徒心得細則
- 二 擔任教官規程
- 三 指導教官規程
- 四 正副級長規程

五 缺席、缺課、遲刻規程

六 生徒集會規程

七 通學規程

八 服裝規程

九 學業成績考查細則

十 圖書閱覽室規則

十一 校旗規程

○物品會計規程施行細則

○職員服務細則

○當直勤務規程

○學科主任規程

○評議員規程

○校務分掌規程

○職員

○生徒

一 出身學校府縣別表

目次

二

三六丁
 三六丁
 三六丁
 三六丁
 三七丁
 三七丁
 三九丁
 四〇丁
 四〇丁
 四一丁
 四一丁
 四一丁
 四二丁
 四二丁
 四四丁
 四四丁
 四五丁
 四五丁
 四六丁
 四六丁
 四七丁
 四七丁
 四七丁

三

四八丁
 四八丁
 四九丁
 四九丁
 四九丁
 五二丁
 五二丁
 五六丁
 五六丁
 五八丁
 五八丁
 五八丁
 六三丁
 六三丁
 六四丁
 六四丁
 六六丁
 六六丁
 六七丁
 六七丁
 七三丁
 七三丁
 八二丁
 八二丁

目次

二 本籍府縣別表

○卒業生

一 卒業生類別調

○敷地及建物

附錄

山形高等學校友會規則

山形高等學校友會會計細則

山形高等學校友會役員氏名表

四

九四丁

一五五丁

一五六丁

一五七丁

一六〇丁

○學年歷

自昭和十四年三月
至昭和十五年四月

昭和十四年

四月十一日

入學式

同日

第一學期授業始

四月二十九日

天長節 (拜賀式)

七月七日

第一學期授業終

七月八日

夏季休業始

九月五日

夏季休業終

九月六日

第二學期授業始

秋分日

休業 (秋季皇靈祭)

十月五日

休業 (創立記念日)

十月十七日

休業 (神嘗祭)

十月三十日

教育勅語頒發記念日

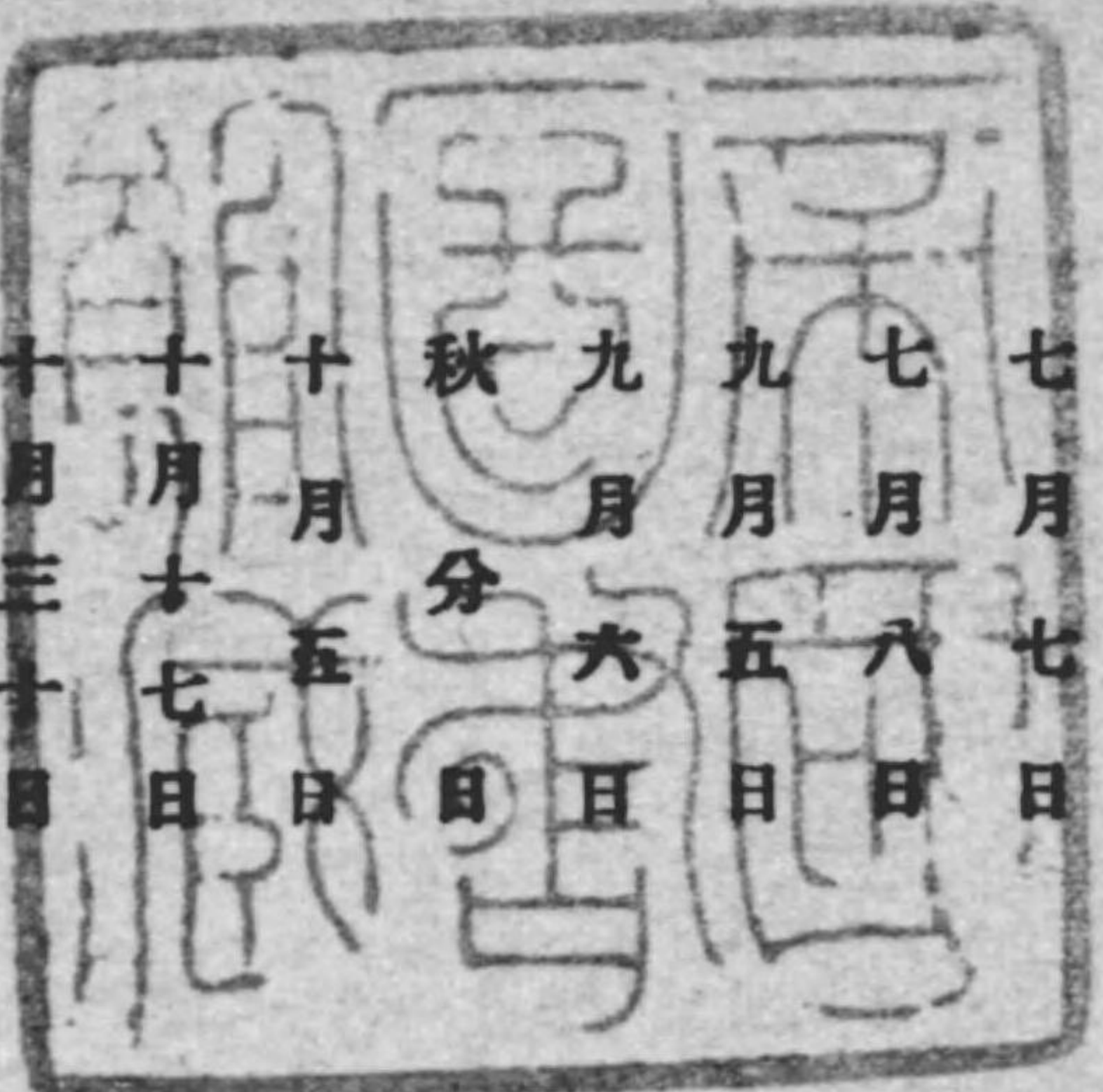
十一月三日

明治節 (拜賀式)

十一月二十三日

休業 (新嘗祭)

學年歷



十二月二十四日 第二學期授業終
 十二月二十五日 大正天皇祭
 十二月二十五日 冬季休業始

昭和十五年

一月一日 新年拜賀式
 一月七日 冬季休業終
 一月八日 第三學期授業始
 二月十一日 紀元節(拜賀式)
 三月十五日 第三學期授業終
 三月十六日 春季休業始

○沿革略

大正七年政府ニ於テ高等學校増設ノ計畫セラル、ヤ山形縣ハ敷地及創設費ヲ寄附シ以テ高等學校ノ設置セラレンコトヲ請願セシニ政府之ヲ納レテ本校ノ設置ヲ見ルニ至レリ、其ノ沿革大略左ノ如シ。

大正九年

四月十七日 勅令第百十號ニヨリ、本校ヲ設置セラレ、次テ勅令第百十一號ヲ以テ本校職員ノ定員ヲ定メラル。
 四月十九日 第六高等學校教授三輪田輪三本校校長ニ任セララル。
 四月二十日 文部省ニ於テ事務ヲ開始ス。
 六月一日 事務所ヲ縣立山形中學校内ニ移ス。
 八月二日 生徒二百名ノ入學ヲ許可ス。
 九月四日 縣立山形中學校々舍ヲ使用シテ授業ヲ開始ス。
 九月 月 大日本武徳會山形支部ノ建物及莊内館ヲ代用シテ假學寮ヲ開ク。
 十月五日 南村山郡ノ本校々地ニ於テ創立祝賀會ヲ催シ文部大臣代理松浦專門學務局長臨席セラル。
 十月十五日 教育ニ關スル勅語謄本ヲ、同二十一日。御眞影ヲ拜戴ス。

大正十年

一月八日 南村山郡東澤村新築校舍ニ移轉ス。
一月二十一日 文部省告示第十八號ヲ以テ山形中學校内假事務所ヲ南村山郡東澤村ヘ移轉ノ件公布セラル。

三月三十一日 勅令第五十號ヲ以テ職員ノ定員ヲ改正セラル。
四月一日 學年ヲ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ト改ム。
四月二日 生徒百八十名ノ入學ヲ許可ス。
十月二十二日 本校寄宿舎一部落成ニ付生徒百四名ノ入寮ヲ許可ス。

大正十一年

四月二日 生徒百九十名ノ入學ヲ許可ス。
四月十七日 勅令第二百四號ヲ以テ職員ノ定員ヲ改正セラル。

大正十二年

三月九日 第一回卒業生百十六名ニ卒業證書ヲ授與ス。
四月一日 生徒百七十五名ノ入學ヲ許可ス。

大正十三年

三月十日 第二回卒業生百六十三名ニ卒業證書ヲ授與ス。

四月一日 生徒百七十九名ノ入學ヲ許可ス。
五月十七日 落成式ヲ舉行シ文部大臣代理トシテ赤間書記官臨席セラル。

大正十四年

三月三十一日 第三回卒業生百五十名ニ卒業證書ヲ授與ス。
四月一日 生徒百九十二名ノ入學ヲ許可ス。
同日 勅令第八十一號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令ニ改正ヲ加ヘ本校助教授定員四名ニ減員セラル。

七月三日 文部大臣岡田良平伊東祕書官ヲ隨ヘ來校親シク視察セラル。

十月十二日 皇太子殿子本校ニ行啓アラセラレ學校長三輪田輪三文部省實業學務局長武部欽一教授田中三四郎ニ對シ單獨拜謁ヲ賜ヒ學校長言上書及學校一覽ヲ奉呈ス更ニ別室ニ於テ教授一同ニ列立拜謁ヲ賜ヒ次テ文、理科三年ノ授業生徒ノ分列式並八百米リレー競技ヲ臺覽遊ハサル。

大正十五年

三月三十一日 第四回卒業生百七十九名ニ卒業證書ヲ授與ス。
同日 學校長三輪田輪三退官同日文部省督學官葉山萬次郎本校校長ニ任セラル。
四月一日 生徒百八十六名ノ入學ヲ許可ス。

四月一日 學則中一部改正ス。

十二月二十五日 天皇陛下崩御 皇太子殿下踐祚、昭和ト改元遊ハサル。

昭和二年

二月四日 學校長葉山萬次郎大喪儀參列ノ爲出京ス。

在京中ノ教授一名及生徒總代二名出京奉送ス。

同日 七日 大喪儀ニツキ奉悼ノ爲メ休業、午後六時校庭ニ於テ遙拜式ヲ行フ。

同日 八日 奉悼ノ爲メ休業ス。

三月二十一日 第五回卒業生百八十六名ニ卒業證書ヲ授與ス。

四月一日 學則中一部改正ス。

同日 生徒百八十二名ノ入學ヲ許可ス。

五月二日 細則中一部改正ス。

六月二十五日 暖房設備完成ス。

九月十三日 學則中一部改正ス。

十月一日 文部大臣水野鍊太郎赤間秘書官ヲ隨ヘ來校於講堂職員生徒ニ對シ一場ノ訓示アリク

リ。

十一月二日 文部省令第十八號ヲ以テ高等學校規程中一部改正明治節祝賀ノ式ヲ行フヘキ旨定メ

ラル。

十一月二十二日 文部省令第二十八號ヲ以テ高等學校規程中改正セラル。

同日 文部省令第二十九號ヲ以テ官立高等學校高等科入學者選抜試驗規程ハ之ヲ廢止セラ

ル。

昭和三年

三月三十一日 第六回卒業生百七十六名ニ卒業證書ヲ授與ス。

四月一日 生徒百八十八名ノ入學ヲ許可ス。

七月十四日 學則中一部改正ス。

十月十日 天皇皇后兩陛下御眞影ヲ拜戴ス。

十月二十日 生徒集會所新築落成ス。

十月二十九日 勅令第二百五十六號同第二百五十七號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制並同定員令改正

生徒監ヲ廢シ生徒主事及生徒主事補ヲ定員各一名ト定メラル。

十一月六日 天皇皇后兩陛下京都市ヘ行幸啓アラセラル、ニ付教授田中三四郎及生徒總代二名出

京奉送ス。

同月十日 學校長葉山萬次郎御大禮ニ參列ス。

同日 御大禮奉祝式ヲ行フ。

昭和四年

三月二十九日 學則中一部改正シ昭和四年四月以降ノ入學者ニ對スル授業料ヲ一學年金八拾圓ニ増額ス。

三月三十一日 第七回卒業生百五十四名ニ卒業證書ヲ授與ス。

四月一日 生徒百八十名ノ入學ヲ許可ス。

七月六日 三輪田前校長記念館ノ寄附ヲ請ク。

昭和五年

三月三十一日 第八回卒業生百八十名ニ卒業證書ヲ授與ス。

四月十一日 生徒百七十八名ノ入學ヲ許可ス。

四月二十三日 學校長葉山萬次郎第七高等學校造士館長ニ任セラレ同日付第七高等學校造士館教授久保良澄本校校長ニ任セラル。

十月三日 創立第十周年記念式ヲ舉行シ文部大臣代理トシテ服部書記官臨席セラル。

十月八日 文部大臣田中隆三猪股祕書官ヲ隨ヘ來校於講堂職員生徒一同ニ對シ訓示アリタリ。

昭和六年

二月五日 曩ニ御下賜相成タル 天皇后兩陛下ノ御眞影ヲ奉還シ新ニ 兩陛下御眞影ヲ拜戴ス。

三月二十七日 文部省令第七號ヲ以テ高等學校規程中改正セラル。

三月三十一日 第九回卒業生百八十名ニ卒業證書ヲ授與ス。

四月一日 本校所在地山形市へ編入ノ爲メ山形市小白川町ト改稱。

同日 本學年ヨリ指導教官制ヲ設ケ之ヲ實施ス。

四月十一日 生徒百八十七名ノ入學ヲ許可ス。

昭和七年

三月三十一日 第十回卒業生百五十九名ニ卒業證書ヲ授與ス。

四月十一日 生徒百七十二名ノ入學ヲ許可ス。

昭和八年

三月三十一日 第十一回卒業生百六十五名ニ卒業證書ヲ授與ス。

四月十一日 生徒百六十九名ノ入學ヲ許可ス。

六月三十日 學則中退學及除名懲戒ノ項一部改正ス。

七月一日 前校長三輪田輪三本校名譽教授ノ名稱ヲ授ケラル。

昭和九年

三月三十一日 學則中寮費ノ項一部改正四月一日ヨリ施行。

同日 第十二回卒業生百五十九名ニ卒業證書ヲ授與ス。

四月十一日 生徒百四十名ノ入學ヲ許可ス。

昭和十年

三月三十一日 第十三回卒業生百五十名ニ卒業證書ヲ授與ス。

四月十一日 生徒百四十一名ノ入學ヲ許可ス。

九月十二日 學校長久保良澄退官同日文部省督學官石井忠純本校校長ニ任セラル。

十一月六日 前校長久保良澄本校名譽教授ノ名稱ヲ授ケラル。

十二月九日 學則中復校其ノ他一部改正即日實施。

昭和十一年

三月三十一日 第十四回卒業生百五十二名ニ卒業證書ヲ授與ス。

四月十一日 生徒百三十六名ノ入學ヲ許可ス。

五月二十日 細則及學科主任規程並評議員規程中一部改正實施ス。

九月八日 校旗規程ヲ定ム。

九月九日 學校長石井忠純文部省圖書局長ニ任セラレ同日文部省圖書監修官兼文部省督學官佐野保太郎本校校長ニ任セラル。

十月五日 校旗制定ニ付校庭ニ於テ樹立式ヲ行フ。

昭和十二年

三月三十一日 第十五回卒業生百四十名ニ卒業證書ヲ授與ス。

四月十一日 生徒百三十九名ノ入學ヲ許可ス。

昭和十三年

三月三十一日 第十六回卒業生百十九名ニ卒業證書ヲ授與ス。

四月十一日 生徒百四十二名ノ入學ヲ許可ス。

昭和十四年

三月三十一日 第十七回卒業生百四十四名ニ卒業證書ヲ授與ス。

四月十一日 新ニ入學セシムヘキ一學級定員四十名ニ増員ノ上生徒百八十八名ノ入學ヲ許可ス。

五月二十二日 陸軍現役將校學校配屬令公布十五年記念ニ當リ宮城前廣場ニ於テ全國學生生徒代表

ト共ニ本校校長、生徒主事、教授、各一名配屬將校、生徒代表十名出京御親閱ヲ受

ク。

五月三十日 青少年學徒ニ對シ賜ハリタル勅語奉讀式ヲ行フ。

八月十六日 青少年學徒ニ對シ賜ハリタル勅語謄本ヲ拜受ス。

○關係法令

一 文部省直轄諸學校官制(抄) 明治二十六年勅令第八六號

第一條 文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ

* * * * *
山形高等學校

第六條 文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

- 校長
- 教授
- 生徒主事
- 助教授
- 書記
- 生徒主事補

前項職員ノ外文部省直轄諸學校職員定員令ノ定ムル所ニ依リ事務官又ハ助手ヲ置クコトヲ得

第七條 校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第八條 教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條 文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事ハ奏任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事ハ當該學校ノ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒主事ハ校長ノ命ヲ承ケ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

第十一條 文部省直轄諸學校職員定員令ニ於テ生徒主事補ノ專任定員ヲ配置シタル學校ノ生徒主事補ハ判任トシ其ノ他ノ學校ノ生徒主事補ハ當該學校ノ判任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ命ス

生徒主事補ハ上官ノ命ヲ承ケ生徒主事ノ職務ヲ助ク

第十二條 事務官ハ奏任トス校長ノ命ヲ承ケ庶務會計ヲ掌理ス

第十三條 助手ハ判任トス教授又ハ助教授ノ指揮ヲ承ケ授業及實驗ノ補助ニ從事ス

第十四條 專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若クハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

二 文部省直轄諸學校職員定員令(抄) 明治三十五年勅令第九十九號

文部省直轄諸學校專任職員ノ定員左ノ如シ

山形高等學校		校長	教授	主生	助教授	書記	主生
一	三〇	一	三	六	一	一	一
		主事				主事	補
		徒				徒	

三 高等學校令

大正七年十二月
勅令第三百八十九號

第一條 高等學校ハ男子ノ高等普通教育ヲ完成スルヲ以テ目的トシ特ニ國民道德ノ充實ニカムヘキモノトス

第二條 高等學校ハ官立、公立又ハ私立トス

第三條 高等學校ヲ設立スルコトヲ得ル公共團體ハ北海道及府縣トス

第四條 私立高等學校ハ財團法人タルコトヲ要ス但シ特別ノ必要ニ因リ學校經營ノミヲ目的トスル財團法人カ其ノ事業トシテ之ヲ設立スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條 前條ノ財團法人ハ高等學校ニ必要ナル設備又ハ之ニ要スル資金及少クトモ高等學校ヲ維持スルニ足ルヘキ收入ヲ生スル基本財産ヲ有スルコトヲ要ス但シ其ノ基本財産ノ額ハ五拾萬圓ヲ下ルコトヲ得ス

基本財産中前項ニ該當スルモノハ現金又ハ國債證券其ノ他文部大臣ノ定ムル有價證券トシ之ヲ供託スヘシ

第六條 公立及私立ノ高等學校ノ設立廢止ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第七條 高等學校ノ修業年限ハ七年トシ高等科三年尋常科四年トス

高等學校ハ高等科ノミヲ置クコトヲ得

第八條 高等學校高等科ヲ分チテ文科及理科トス

第九條 高等學校ニハ高等科ヲ卒リタル者ノ爲ニ專攻科ヲ置クコトヲ得其ノ修業年限ハ一年トス

專攻科ヲ卒リタル者ハ得業士ト稱スルコトヲ得

專攻科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十條 高等學校ニハ特別ノ必要アル場合ニ於テ豫科ヲ置クコトヲ得但シ第七條第二項ノ高等學校ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

高等學校豫科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十一條 高等學校尋常科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該學校豫科ヲ修了シタル者、尋常小學校ヲ卒業シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第十二條 高等學校高等科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該學校尋常科ヲ修了シタル者、中學校第四學年ヲ修了シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第十三條 高等學校ノ生徒定數ハ高等科四百八十人以内尋常科三百二十人以内トシ第七條第二項ノ高等學校ニ在リテハ專攻科ヲ除キ六百人以上トス

第十四條 高等學校ニ於テハ同科同學年ノ生徒ヲ以テ學級ヲ編制スヘシ

一學級ノ生徒定數ハ四十人以内トス

第十五條 高等學校ニ於テハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ學科目ノ種類ニ從ヒ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第十六條 高等學校ノ教員ハ文部大臣ノ授與シタル高等學校教員免許狀ヲ有スル者タルコトヲ要ス但シ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ免許狀ヲ有セサル者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

高等學校教員免許狀ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十七條 高等學校ノ設備、編制、學科目及其ノ程度、教科書並生徒ノ入學退學及懲戒、授業料、入學料等ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十八條 公立及私立ノ高等學校ハ文部大臣ノ監督ニ屬ス

第十九條 文部大臣ハ公立及私立ノ高等學校ニ對シ報告ヲ徵シ檢閲ヲ行ヒ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十條 本令ニ依ラサル學校ハ勅定規程ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外高等學校ト稱シ又ハ其ノ名稱ニ高等學校タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

附 則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

四 高等學校規程 大正八年文部省令第八號

第一章 學科課程及教科書

第一節 尋常科

第一條 尋常科ノ學科目ハ修身、公民科、國語漢文、外國語、歷史、地理、數學、理科、圖畫、音樂、作業科、體操トス

外國語ハ英語、獨語又ハ佛語トス

第二條 各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
修身	一	一	一	一
公民科			一	
國語漢文	七	七	六	六
外國語	六	七	六	六
歷史		三	三	
地理	三			三

數	理學	圖畫	音樂	作業科	體操	計
四	二	一	一	一	五	三一
四	二	一	一	一	五	三二
四	四	一	一	一	五	三三
四	五	一	一	一	五	三三

作業科、圖畫、音樂等ノ實習及體操ハ前表ノ教授時數ヲ適宜増加シテ之ヲ課スルコトヲ得

第三條 中學校ノ學科目ノ程度ニ關スル中學校令施行規則ノ規定ハ尋常科ニ關シ之ヲ準用ス

第二節 高等科

第四條 高等科文科ノ學科目ハ修身、國語及漢文、第一外國語、第二外國語、歷史、地理、哲學概說、心理及論理、法制及經濟、數學、自然科學、體操トス

高等科理科ノ學科目ハ修身、國語及漢文、第一外國語、第二外國語、數學、物理、化學、植物及動物、礦物及地質、心理、法制及經濟、圖畫、體操トス

外國語ハ、英語、獨語又ハ佛語トス

第二外國語ハ隨意科目トス

第五條 修身ハ教育ニ關スル勅語ノ旨趣ニ基キ道德上ノ思想及情操ヲ養成シ實踐躬行ヲ勸奨スルヲ以テ要旨トス

修身ハ道德ノ要領ヲ授ケ國家、社會、家族ニ對スル責務並人格修養ニ關シ必要ナル事項ヲ知ラシメ特ニ我國民道德ヲ會得シ其ノ實行ニ努メシムヘシ

第六條 國語及漢文ハ言語文章ヲ了解シ正確且自由ニ思想ヲ表ハスノ能力ヲ得シメ智徳ヲ啓發シ文學上ノ趣味ヲ養フヲ以テ要旨トス

國語及漢文ハ文科ニ在リテハ近世、近古及中古ノ國文ヲ授ケ進ミテ上古文ノ一般ニ及ホシ又普通ノ漢文ヲ講讀セシメ國語文法及國文學史ノ大要ヲ授ケ作文ニ習熟セシムヘシ

理科ニ在リテハ近世及近古ノ國文並普通ノ漢文ヲ授ケ作文ニ習熟セシムヘシ

第七條 外國語ハ英語、獨語又ハ佛語ヲ了解シ且之ニ依ツテ思想ヲ表ハスノ能力ヲ得シメ兼テ智徳ノ増進ニ資スルヲ以テ要旨トス

外國語ハ發音、綴字、讀方、譯解、話方、作文、書取及文法ヲ授クヘシ

第八條 歷史ハ重要ナル古今ノ事蹟ヲ知ラシメ邦國ノ盛衰、文化ノ發達ヲ理會セシメ特ニ我國運發展ノ由來、國體ノ特異ナル所以ヲ明ニシ國民性格ノ養成ニ資スルヲ以テ要旨トス

歷史ハ日本歷史、東洋歷史及西洋歷史ヲ授クヘシ

第九條 地理ハ我國及重ナル世界各國ノ現状ヲ知ラシムルヲ以テ要旨トス

地理ハ我國及諸外國ノ政治、經濟等ニ關スル地理上ノ智識ヲ授クヘシ

第十條 哲學概説ハ思想界ニ關スル知識ヲ與ヘ哲學ノ概念ヲ會得セシムルヲ以テ要旨トス

哲學概説ハ東洋及西洋ノ哲學、宗教等ニ就キテ其ノ大要ヲ授クヘシ

第十一條 心理及倫理ハ心意ニ關スル知識ヲ得シメ思考ヲ鍛鍊セシムルヲ以テ要旨トス

心理及倫理ハ各種ノ精神作用、思考ノ原則及其ノ方法ノ概要ヲ授クヘシ

第十二條 數學ハ數理ヲ會得セシメ計算應用ニ熟セシメ思考ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

數學ハ文科ニ在リテハ數學諸論ノ大要ヲ授ケ理科ニ在リテハ代數、立體幾何、三角法、初等解析幾何、

初等微積分初等力學ヲ授クヘシ

第十三條 自然科學ハ天然物及自然ノ現象ニ關スル知識ヲ與ヘ其ノ法則ヲ理會セシムルヲ以テ要旨トス

自然科學ハ生物、地質、物理、化學等ニ關スル主要ナル事項ヲ授クヘシ

第十四條 物理、化學ハ自然ノ現象ニ關スル知識ヲ與ヘ其ノ法則ヲ理會セシメ之カ應用ヲ示シ兼テ觀察

工夫ノ力ヲ養フヲ以テ要旨トス

物理ハ力學、物性、音響、熱、光、磁氣、電氣ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ

化學ハ無機化學及有機化學ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ

第十五條 植物及動物、礦物及地質ハ天然物ニ關スル知識ヲ與ヘ之カ應用ヲ示シ兼テ觀察ヲ精確ナラシ

ムルヲ以テ要旨トス

植物及動物ハ生物ノ形態、生理、分類、進化ニ關スル知識ヲ授ケ又主要ナル實驗ヲ課スヘシ

礦物及地質ハ礦物ノ產狀、性質、用途、地球ノ構造及其ノ變遷ニ關スル知識ヲ授ケ又便宜主要ナル實

驗ヲ課スヘシ

第十六條 法制及經濟ハ法制及經濟ニ關スル事項ニ就キ國民生活ニ必要ナル知識ヲ得シムルヲ要旨トス

法制及經濟ハ帝國憲法ノ大要及日常ノ生活ニ適切ナル法制上及經濟財政上ノ事項ヲ授クヘシ

第十七條 圖畫ハ形態ヲ正確且自由ニ畫クノ能力ヲ得シメ意匠ヲ練リ思考ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨

トス

圖畫ハ自在畫、平面幾何畫、立體幾何畫ヲ授クヘシ

第十八條 體操ハ身體ヲ健全ニシ動作ヲ敏活ナラシメ剛健ノ精神ト規律ヲ守リ協同ヲ尙フノ習慣トヲ養

フヲ以テ要旨トス

體操ハ教練及體操ヲ授クヘシ又劍道、柔道及弓道ヲ加フルコトヲ得

第十九條 文科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學 科 目	學 年	第 一 學 年	第 二 學 年	第 三 學 年
	身 修	一	一	一

國語及漢文	第一外國語	第二外國語	歷史	地理	哲學概說	心理及論理	法制及經濟	數學	自然科學	體操	計
六	九	(四)	三	二				三	二	三	(三九)
五	八	(四)	五			二	二	三	三		(三九)
五	八	(四)	四		三	二				三	(三八)

第一外國語ハ尋常科又ハ中學校ニ於テ生徒ノ履修シタル外國語トス但シ生徒ノ志望ニ依リ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得シム此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル第一外國語及第二外國語ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語	一一	一〇	一〇
第二外國語	(三)	(三)	(三)
計	(三一)	(三一)	(三〇)

第二外國語ヲ修メサル者ニ對シテハ其ノ教授時數ヲ便宜他ノ學科目ニ配當スルコトヲ得
第二十條 理科ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學科目	第一學年	第二學年	第三學年
修身	一	一	一
國語及漢文	四	二	
第一外國語	八	六	六
第二外國語	(四)	(四)	(四)
數學	四	四	(二)四
物理學		三	講義三 實驗三 五
化學	三	三	講義三 實驗三 五

第二章 學年、教授日數及式日

第二十四條 學年ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日マテトス但シ九月一日ヨリ翌年八月三十一日マテト爲スコトヲ得

第二十五條 教授日數ハ尋常科ニ在リテハ每學年二百二十日以上、高等科ニ在リテハ每學年二百日以上、專攻科ニ在リテハ百九十日以上トス但シ次條ノ場合ニ於テハ此ノ限ニアラス
試驗及修學旅行ニ充ツル日數ハ前項ノ日數ニ算入セス

第二十六條 傳染病豫防ノ爲必要ナルトキ其ノ他非常變災アルトキハ臨時休業ヲ爲スコトヲ得

第二十七條 紀元節、天長節、明治節及一月一日ニハ職員及生徒學校ニ參集シテ祝賀ノ式ヲ行フヘシ

第三章 編 制

第二十八條 尋常科ニ於テ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得ル場合ニ關シテハ中學校ニ關スル規定ヲ準用ス

高等科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ヲ除ク外學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第二十九條 公立又ハ私立ノ高等學校ノ教員ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ但シ兼任教員ハ教員數ノ半數ヲ超ユルコトヲ得ス

第三十條 公立又ハ私立ノ高等學校高等科ニ於テ劍道、柔道又ハ弓道ノ教授ヲ擔任スル教員ハ前條ノ定

數外トス

第四章 設 備

第三十一條 高等學校ニ於テハ校地、校舍、體操場及校具ヲ備フヘシ

第三十二條 校地ハ學校ノ規模ニ適應セル面積ヲ有シ且道德上及衛生上害ナキ所タルヘシ

第三十三條 校舍ニハ教室、事務室其ノ他必要ナル實驗室、圖書室、器械室、標本室ヲ備フヘシ
校舍ハ教授上、管理上及衛生上適當ニシテ堅牢ナルコトヲ要ス

第三十四條 校具ハ教授上必要ナル圖書、機械、器具、標本、模型等トス

第三十五條 高等學校ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除ク外左ノ表簿ヲ備フヘシ
一 學則、日課表及教科用圖書配當表

二 職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三 生徒學籍簿、出席簿、身體檢查ニ關スル表簿及入營延期又ハ徵兵猶豫ニ關スル書類

四 試驗ノ問題、答案及成績表

五 資産原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿及圖書、機械、器具、標本、模型ノ目錄

生徒學籍簿ニハ生徒ノ氏名、族籍、居所、生年月日、入學前ノ學歷、入學轉學退學ノ年月日及其ノ學年、卒業ノ年月日、入學試驗ノ有無、轉學退學ノ事由、徵兵事故、保證人ノ氏名及居所等ヲ記載スヘシ

第五章 設立及廢止

第三十六條 公立又ハ私立ノ高等學校ノ設立ニ付認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ文部大臣ニ申請スヘシ

- 一 名 稱
- 二 高等學校令第七條ノ事項
- 三 學 則
- 四 各科ノ生徒定數
- 五 位置及校地
- 六 校舍ノ圖面及建設ノ設計
- 七 開校ノ期日
- 八 經費及維持ノ方法

前項第五號ニ關シテハ校地ノ地質及面積並附近ノ情況ヲ記載シタル圖面及飲用水ノ定性分析表ヲ添付スヘシ

第一項各號ノ變更ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第三十七條 公立又ハ私立ノ高等學校ノ廢止ニ付認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由及生徒ノ處分方法ヲ具シ文部大臣ニ申請スヘシ

第六章 入學、在學、休學、退學及懲戒

第三十八條 生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始ヨリ三十日以内トス

第三十九條 當該高等學校ノ豫科ヲ修了シタル者ハ其ノ他ノ志願者ニ先チ之ヲ尋常科ニ入學セシムヘシ

第四十條 他ノ高等學校又ハ中學校ノ豫科ヲ修了シタル者及高等學校ニ於テ國語、算術、國史、地理、理科ニ就キ尋常小學校卒業ノ程度ニ依リ行フ檢定ニ合格シタル者ハ尋常科ノ入學ニ關シ尋常小學校ヲ卒業シタル者ト同等以上ノ學力アリト認ム

第四十一條 尋常科第二學年以上ニ入學ヲ許スヘキ者ハ第一學年ニ入學スル資格ヲ有シ且前各學年ノ課程ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

前項入學者ノ學力ハ當該學年ノ程度ニ於テ之ヲ檢定スヘシ

第四十二條 當該高等學校ノ尋常科ヲ修了シタル者ハ其ノ他ノ志願者ニ先チ之ヲ高等科ニ入學セシムヘシ

第四十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ高等科ノ入學ニ關シ中學校第四學年ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力アリト認ム

- 一 他ノ高等學校尋常科ヲ修了シタル者
- 二 高等學校高等科入學資格試驗ニ合格シタル者
- 三 專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定ニ合格シタル者

四 文部大臣ニ於テ高等學校高等科ノ入學ニ關シ指定シタルモノ
五 文部大臣ニ於テ一般ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者
前項ノ資格試験ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第四十四條 當該高等學校尋常科ヲ修了シタル者以外ノ入學志願者ノ數高等科各科ニ入學セシムヘキ人員ニ超過スルトキハ入學前ニ於ケル學業成績ト中學校第四學年修了ノ程度ニ依リ行フ試験ノ成績トヲ併セ考查シテ入學者ヲ選拔スヘシ但シ試験ハ之ヲ行ハサルコトヲ得
前項ノ考查ノ外必要アリト認ムルトキハ入學志願者ニ對シテ人物考查ヲ行フコトヲ得

第四十五條 高等學校ニ於テハ入學志願者ニ對シテ身體検査ヲ行ヒ之ニ合格シタル者ニ限り入學セシムヘシ但シ當該學校ニ於テ豫科ヨリ尋常科ニ進入シ又ハ尋常科ヨリ高等科ニ進入スル者ニ關シテハ此限ニ在ラス

第四十六條 高等科第二學年以上ニ入學ヲ許スヘキ者ハ第一學年ニ入學スル資格ヲ有シ且前各學年ノ課程ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力ヲ有スル者タルヘシ前項入學者ノ學力ハ當該學年ノ程度ニ於テ之ヲ檢定スヘシ

第四十七條 高等學校生徒ニシテ學籍ヲ失ヒタル者其ノ學籍ヲ失ヒタル時ヨリ二年以内ニ再入學ヲ志願シタル時ハ銓衡ノ上當該學年又ハ翌學年ノ始ヨリ三十日以内ニ於テ同一學年以下ノ學年ニ限り入學ヲ許可スルコトヲ得

第四十八條 高等學校生徒ニシテ他ノ高等學校ニ轉學ヲ志望スル者アルトキハ關係學校長ノ協議ニ依リ之ヲ許可スルコトヲ得

第四十九條 高等學校尋常科ト中學校トノ相當學年相互ノ間ニ於テハ前條ノ規定ニ準シ轉學ヲ許可スルコトヲ得

第五十條 高等學校尋常科各學年ノ課程又ハ全學科ノ修了ヲ認ムルニハ平素ノ學業成績ヲ考查シテ之ヲ定ムヘシ
高等學校高等科各學年ノ課程ヲ修了又ハ全學科ノ卒業ヲ認ムルニハ平素ノ學業及試験ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ムヘシ但シ正當ノ事由アリテ試験ニ缺席シタル者ニ對シテハ平素ノ學業成績ノミヲ考查シテ之ヲ定ムルコトヲ得

試驗ハ學校長ノ見込ニ依リ之ヲ行ハサルコトヲ得

第五十一條 學校長ハ一學年ノ課程ヲ修了セサル生徒ノ學年ヲ進ムルコトヲ得ス

第五十二條 學校長ハ高等學校高等科ヲ卒業シタル者ニハ卒業證書ヲ、專攻科ヲ卒リタル者ニハ得業證書ヲ、尋常科ヲ修了シタル者ニハ修了證書ヲ授與スヘシ

第五十三條 學校長ハ正當ノ事由アリト認メタルトキハ生徒ノ休學ヲ許可スヘシ

第五十四條 學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

一 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

- 二 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者
- 三 引續キ一年以上缺席シタル者
- 四 正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者
- 五 出席常ナラサル者

第五十五條 生徒退學セントスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第五十六條 學校長ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第七章 豫科

第五十七條 高等學校ノ豫科ニ關シテハ中學校ノ豫科ニ關スル中學校令施行規定ヲ準用ス

第八章 雜則

第五十八條 高等學校ノ學則中ニ規定スヘキ事項凡ソ左ノ如シ

- 一 學年、學期及休業日ニ關スル事項
- 二 學科課程、教授時數ニ關スル事項
- 三 課程ノ修了及卒業ノ認定ニ關スル事項
- 四 生徒ノ入學、退學、懲戒ニ關スル事項
- 五 授業料、入學料等ニ關スル事項

第五十九條 私立ノ高等學校ニ關シテ文部大臣ニ提出スヘキ文書ハ地方長官ヲ經由スヘシ

附則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

五 高等學校高等科入學資格試驗規程

(大正八年文部省令第九號)
(昭和十年全第一九號改正)

- 第一條 高等學校規程第四十三條ノ高等學校高等科入學資格試驗ヲ受ケントスル者ハ年齡滿十六年以上ノ男子ニシテ身體健全、品行方正且現ニ中學校ニ在學セサル者タルヘシ
- 第二條 高等學校高等科入學資格試驗ハ文部大臣ノ指定シタル中學校ニ於テ便宜之ヲ行フ
- 第三條 試驗ハ中學校第四學年マテノ學科目ニ就キ第四學年修了ノ程度ニ依リ之ヲ行フヘシ但シ實業、音樂、作業科及體操ハ之ヲ除ク
- 第四條 專門學校入學者檢定規程第七條第二項又ハ大正七年文部省令第三號第六條第二項ニ依ル證明書ヲ有スル者ニシテ試驗ヲ出願シタルトキハ當該學科目ノ試驗ヲ免除ス專門學校入學者檢定規程第八條ニ依リ試驗ヲ免除セラルル者ニ付亦同シ
- 第五條 中學校ニ於テハ高等學校高等科入學資格試驗ニ合格シタル者ニ合格證書ヲ交付スヘシ
- 第六條 高等學校高等科入學資格試驗ノ問題、答案及成績表ハ五年以上保存スヘシ
- 第七條 中學校ニ於テハ本令ノ試驗ニ付試驗手数料ヲ徵收スルコトヲ得

附則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

六 文部省直轄學校外國人特別入學規程 (明治三十四年 文部省令第十五號)

第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若ハ數科ノ教授ヲ受ケントスル者ハ外務省、在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限り特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若ハ學校長ニ願出ツヘシ

第三條 帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限リ之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限ニアラス

第四條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試験ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試験料、入學料及授業料ヲ徵收セサルコトヲ得

第六條 帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

七 外國人及植民地人學生ニ關スル件 (大正十年五月九日 發專六六號通牒)

從來外國人ニシテ大學及其豫科、高等師範學校、女子高等師範學校、專門學校又ハ高等學校ニ入學シ得ヘキ規定上ノ資格(中學校又ハ高等女學校卒業、中學校第四學年修了若ハ之ト同等ノ學力アリト檢定セラレタル者等)ヲ有セサル者此等ノ學校ニ入學セントスル場合ニ於テハ之ヲ別科、選科等所謂特科生トシテ入學セシムル例ナルモ外國人ニ關シテハ多少ノ特例ヲ設クル必要アリト考ヘラルルヲ以テ今後ハ各學校ニ於テ其ノ入學資格ニ相當スル試験(例ヘハ中學校卒業ヲ入學資格トスル學校ニ於テハ中學校卒業程度ノ試験ヲ行フカ如キ)ヲ行ヒ其ノ成績優良ナル合格者ハ之ヲ正科生トシテ入學セシメ差支ナキコトニ省議決定シタルニ依リ御承知相成度

從來支那政府ノ委託ニ依リ東京高等師範學校、第一高等學校、東京高等工業學校、山口高等商業學校及千葉醫學專門學校ニ於テ收容セル留學生ニ就テハ従前ノ通り取扱フモノト御承知相成度

八 文部省直轄諸學校生徒入學試験無効ニ關スル件(抄) (明治三十八年十月 文部省令第十八號)

文部省直轄諸學校生徒ニシテ豫メ學校長ノ許可ヲ受ケス他ノ文部省直轄諸學校ノ入學試験ヲ受ケタルトキハ其ノ入學試験ハ無効トス

九 高等學校高等科學力檢定規程 (大正十年十一月訓令 昭和十年五月改正)

第一條 高等學校高等科學力檢定試験ハ帝國大學學部又ハ官立大學ヨリ其ノ入學志願者ノ學力檢定試験



施行ノ通告アリタル場合ニ限り高等學校ニ於テ施行ス
試験ハ二月ニ於テ之ヲ施行ス

第二條 試験ハ高等學校高等科卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行フヘシ

高等學校高等科ニ入學スル資格ヲ有セサル者ニハ先ツ中學校第四學年迄ノ學科目ニ就キ第四學年修了ノ程度ニ依ル學力檢定試験ヲ行フヘシ但シ實業、音楽、作業科及體操ハ之ヲ除ク

第三條 試験ヲ受ケントスル者ハ受験料金五圓ヲ納ムヘシ

既納ノ受験料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

第四條 試験ニ合格シタル者ニハ左式ノ證明書ヲ交付スヘシ (左式略)

○ 學 則

總 則

第一條 本校ノ學科ハ高等學校高等科文科及理科トシ其ノ學科課程及教授時數ハ大正八年文部省令第八號ニ據ル

第二條 前條各科ノ學科目中外國語ハ英語及獨語トス

學年、學期、式日及休業日

第三條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第四條 學年ヲ分チテ三學期トナス即チ左ノ如シ

第一學期 四月一日ヨリ 八月三十一日マテ

第二學期 九月一日ヨリ 十二月三十一日マテ

第三學期 一月一日ヨリ 三月三十一日マテ

第五條 紀元節、天長節、明治節及一月一日ニハ祝賀ノ式ヲ行フ

第六條 休業日左ノ如シ

日 曜 日

大 祭 日

創立記念日 十月五日

夏季休業 七月八日ヨリ 九月五日マテ

冬季休業 十二月二十五日ヨリ 翌年一月七日マテ

春季休業 三月十六日ヨリ 四月十日マテ

入 學 及 在 學

第七條 入學ノ期ハ每學年始トス

第八條 本校ニ入學スルコトヲ得ル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當シ且身體檢査ヲ受ケ之ニ合格シタル者タル

ヘシ

- 一 中學校第四學年ヲ修了シタル者
 - 二 高等學校尋常科ヲ修了シタル者
 - 三 高等學校高等科入學資格試験ニ合格シタル者
 - 四 專門學校入學者檢定規程ニ依リ試験檢定ニ合格シタル者
 - 五 文部大臣ニ於テ高等學校高等科ノ入學ニ關シ指定シタル者
 - 六 文部大臣ニ於テ一般ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者
- 第九條 入學ヲ志願スル者ハ入學志願者名票ニ寫眞及考査料ヲ添ヘ本校ニ差出スヘシ
- 第十條 入學考査料ハ金五圓トス
- 第十一條 入學志願者ノ數募集人員ニ超過シタル時ハ高等學校規程第四十四條及同第四十五條ニ依リ入學者ヲ選拔ス
- 第十二條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ指定ノ期日內ニ入學料金參圓、履歷調書、戶籍謄本及在學證書(保證人ノ連署ヲ要ス書式第一號)ヲ差出スヘシ
- 第十三條 一旦納付シタル考査料及入學料ハ如何ナル事情アリトモ之ヲ返付セス
- 第十四條 保證人ハ父兄又ハ父兄ニ代リテ其ノ責ニ任スヘキ者タルヘシ
- 第十五條 保證人住所ヲ變更シ或ハ改印スル等ノコトアルトキハ速ニ届出ツヘシ
- 第十六條 保證人死亡若ハ其ノ他ノ事由ニヨリテ保證人タル資格ヲ失フトキハ他人ヲ以テ之ニ代ヘ更ニ

在學證書ヲ差出スヘシ

第十七條 生徒ニシテ學籍ヲ失ヒタル者其ノ學籍ヲ失ヒタル時ヨリ二年以內ニ復校ヲ願出ツル時ハ銓衡ノ上當該學年又ハ翌學年ノ始ヨリ三十日以內ニ於テ同一學年以下ノ學年ニ限リ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十八條 本校生徒ハ學校長ノ許可ヲ經ルニアラサレハ他ノ學校ニ入學ヲ出願スルコトヲ得ス
進級及卒業

第十九條 各學年末ニ於テ生徒ノ學年成績ヲ考査シテ進級及卒業ヲ定ム

第二十條 學年成績ハ學業成績操行及勤惰ヲ考査シテ之ヲ定ム

第二十一條 學業成績ハ平素ノ學業及試験ノ成績ニ依リテ之ヲ定ム

第二十二條 試験ハ臨時及定期ニ之ヲ施行ス

臨時試験ハ必要ニ應シ臨時之ヲ行ヒ定期試験ハ每學期末ニ於テ之ヲ行フ

第二十三條 定期試験ハ其ノ學期間ニ履修シタル課業ニ就キ之ヲ行フ但シ必要ト認メタルトキハ當該學

期前ニ履修セル部分ニモ互ルコトアルヘシ

第二十四條 學業成績ノ考査ハ別ニ細則ヲ以テ之ヲ定ム

第二十五條 學年成績ノ考査ニ依ル原級ニ留メタル者ニハ次學年ノ初ヨリ當該學級ノ全學科ヲ再修セシム

第二十六條 卒業成績ハ三學年間に學年成績ヲ考査シテ之ヲ定ム

第二十七條 所定ノ課程ヲ履修シテ卒業セル者ニハ卒業證書(書式第二號)ヲ授與ス

休 學

第二十八條 疾病又ハ已ムヲ得サル事故ニヨリ三ヶ月以上修學シ得サル見込ノ者ニハ願ニ依リ其ノ學年
間休學ヲ許可スルコトアルヘシ

第二十九條 休學セントスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人ノ連署ヲ以テ願出ツヘシ但シ疾病ノ場合ニハ
醫師ノ診斷ヲ添付スヘシ

第三十條 休學ノ許可ヲ得タル者ハ次學年ノ始ヨリ其ノ原級ノ課程ヲ修ムヘシ但シ兵役ニ服スル爲休學
ノ許可ヲ得タル者ハ除隊後直ニ原級ニ復スルモノトス

第三十一條 休學ノ事由止ミタルトキハ許可ヲ得テ課業ニ就クコトヲ得

第三十二條 休學ハ同一學級ニ在ル間ハ一回ニ限ル但シ兵役ニ服スル爲休學シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

退 學

第三十三條 疾病又ハ已ムヲ得サル事故ニ依リ退學セントスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人ノ連署ヲ以
テ願出ツヘシ

第三十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ之ニ退學ヲ命ス

一 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三 引續キ一ケ年以上缺席シタル者

四 正當ノ事由ナクシテ引續キ三十日以上缺席シタル者

五 出席常ナラサル者

六 二學年ヲ超ユルモ尙同級ニ止マル者但シ兵役ニ服シタル期間ハ之ヲ算入セス

七 授業料又ハ寮費ノ怠納十四日ニ及フ者

懲 戒

第三十五條 生徒ノ本分ニ背戻スル者ハ之ヲ懲戒ニ處ス

第三十六條 懲戒ハ之ヲ分チテ戒飭、停學、除名及放校ノ四トス

授 業 料

第三十七條 授業料ハ一學年金八拾圓トス

授業料ハ左ノ三期ニ分納セシム其ノ分納額及納付定日左ノ如シ

(學 期) (金 額) (納 付 定 日)

第一學期 金 參 拾 圓 四月二十五日ヨリ

第二學期 金 參 拾 圓 四月二十九日マテ

第三學期 金 貳 拾 圓 九月二十五日ヨリ

學 則

第三十八條ノ一 授業料ハ缺席停學休學等ノ爲之ヲ免除スルコトナシ但シ兵役ニ服スル爲休學スル者ニハ次期以降ノ分納額ヲ免除ス

第三十八條ノ二 學期開始後退學スル者ノ授業料ハ其ノ學期分ヲ徵收ス

第三十九條 既納ノ授業料ハ之ヲ返付セス

第四十條 授業料ノ怠納五日以上ニ及フ者ハ其ノ登校ヲ差止ム

學 寮

第四十一條 新ニ入學スル生徒ハ凡テ學寮ニ入り本校教育ノ旨趣ニ基キ協同生活ノ訓練ヲ受クルモノトス但シ本校ノ都合又ハ生徒願出ノ事情ニヨリ通學セシムルコトアルヘシ

第四十二條 生徒ハ入寮ノ際在寮誓書ヲ差出スヘシ (書式第三號)

第四十三條 生徒ハ猥リニ退寮スルコトヲ許サス

第四十四條 生徒ノ規約ハ凡テ生徒主事ヲ經テ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第四十五條 寮費ハ一學年金貳拾貳圓トシ左ノ三期ニ分納セシム其ノ分納額及納付定日左ノ如シ

第一學期	金 八 圓
第二學期	金 八 圓
第三學期	金 六 圓

(授業開始ノ日ヨリ七日以内)

中途入寮者ニ對シテハ一ヶ月金貳圓ノ割ヲ以テ其ノ月分ヨリ之ヲ徵收シ指定ノ期日ニ於テ一時ニ之ヲ

納付セシム

但シ第一學期分寮費ノ月割ニ關シテハ八月ヲ算入セス中途退寮ノ者ニハ次期以降ノ分納額ヲ免除ス既納ノ寮費ハ之ヲ返付セス

第四十六條 寮費ノ怠納五日以上ニ及フ者ハ其ノ登校ヲ差止ム

第四十七條 食費ハ毎月一日ヨリ十日マテニ支拂フモノトス猥リニ之ヲ支拂ハサル者ハ其ノ登校ヲ差止ム

第四十八條 寮生課程、各室人員配當ハ生徒主事之ヲ定ム

第四十九條 寮生ヲシテ委員若干名ヲ公選セシメ生徒主事ノ指導ヲ受ケ寮内ノ事務ヲ分掌シ風紀、整頓、衛生、放事上ニ關スル責ヲ負ハシム

委員ノ互選ニ依リ總代若干名ヲ定メ寮生ヲ代表シ事務ヲ統理セシム各委員ノ任期ハ一學期間トス

第五十條 寮生ニシテ其ノ建物或ハ備付器具等ヲ破壊汚染シ若ハ亡失シタルトキハ其ノ情狀ニ依リ之ヲ辨償セシムルコトアルヘシ

附 則

本學則實施ニ必要ナル規定ハ別ニ細則ヲ以テ之ヲ定ム

(書式一、二、三號略)

○生徒心得綱領

本校生徒タル者ハ左ノ綱領ヲ體得シ人格ノ向上ヲ圖リ國家有用ノ材タランコトヲ期スヘシ

- 一、自治自立ノ精神ヲ尙ヒ責任ヲ自覺スヘシ
- 一、純真素朴ノ風ヲ重シ堅忍力行ヲ期スヘシ
- 一、自發創意ヲ旨トシ其ノ長所ヲ達成スヘシ
- 一、信義友愛ノ情ヲ厚ウシ共同奉仕ノ實ヲ舉クヘシ

○細則

一 生徒心得細則

- 第一條 生徒ハ師長ニ對シテ敬禮ヲナスハ勿論生徒相互ニ敬意ヲ表スヘシ
- 第二條 生徒ハ其ノ體面ノ汚損スルノ虞アル料理店其ノ他ノ場所ニ出入スヘカラス
- 第三條 生徒ハ教室ハ勿論其ノ他屋内指定ノ場所以外ニ於テ喫煙スヘカラス
- 第四條 本校ノ告示ハ揭示場ニ發表セル上ハ一般ニ知了セルモノト看做スヲ以テ生徒ハ常ニ之ニ注意スヘシ
- 第五條 生徒ハ登校ノ際制服制帽ヲ着用スヘシ但シ止ムヲ得ス和服ヲ着用スル場合ニハ豫メ其旨、生徒課ニ願出テ其ノ許可ヲ受クヘシ
- 第六條 受持教官授業時刻ニ至ルモ出勤セサルトキハ教務課ニツキ其ノ指揮ヲ受クヘシ決シテ隨意退散ス可ラス
- 第七條 生徒若シ本校所屬ノ建物、器具等ヲ毀損若ハ汚損シタルトキハ其ノ情狀ニ依リ之ヲ辨償セシメ又ハ處分スルコトアルヘシ
- 第八條 近火其ノ他ノ異變アルトキハ直ニ登校シ本校職員ノ指揮ヲ受クヘシ
- 第九條 生徒揭示ヲナサントスルトキハ豫メ生徒主事ノ許可ヲ受クヘシ但シ校友會ニ關スル者ハ豫メ其

ノ部部長ノ承認ヲ受クヘシ

第十條 生徒ノ差出ス願届書ハ凡テ擔任教官ノ承認ヲ受クヘシ但シ別ニ規定セラレタルモノハ此ノ限リニ在ラス

第十一條 生徒及其ノ保證人ニシテ宿所ヲ移轉シ又ハ戶籍上變更ヲ生ゼシトキハ其ノ謄本ヲ添ヘ速ニ其ノ由届出ツヘシ

第十二條 生徒團體旅行ヲ爲サントスルトキハ代表者ヲ以テ豫メ其ノ旨ヲ詳記シ關係教官ヲ經テ生徒課長ニ願出テ其ノ許可ヲ受クヘシ

第十三條 生徒ハ凡テ本校友會員タルヘキ義務アルモノトス

二 擔任教官規定

第一條 各學級ニ擔任教官一名ヲ置ク

第二條 擔任教官ハ教官中ニ就キ學校長之ヲ命ス

第三條 擔任教官ノ任期ハ一學年間トス

第四條 擔任教官ハ當該學級生徒ノ學業、操行、勤惰及健康ニ留意シ其ノ他當該學級ニ關スル事項ヲ處理スルモノトス

第五條 擔任教官ハ當該學級生徒ヨリ差出スヘキ願届書ヲ審査スルモノトス

第六條 擔任教官ハ當該學級教室ノ秩序整頓ヲ圖ルモノトス

三 指導教官規程

第一條 指導教官ハ教官中ニ就キ學校長之ヲ委囑シ生徒ヲシテ之ニ分屬セシム

第二條 指導教官ハ指導生徒ノ在學中親シク其ノ身上ニ關シ擔任教官、生徒主事及保證人等ト連絡ヲ保チ適切ナル指導ヲナシ生徒ノ本分ヲ完ウセシムルコトヲ期スルモノトス

四 正副級長規程

第一條 正副級長ハ其ノ學級生徒ヲシテ候補者若干名ヲ互選セシメ其ノ中ニ就キ各一名擔任教官ノ推薦ニ依リ學校長之ヲ命ス但シ各科第一學年級ニ在リテハ第一期ニ於テ臨時正副級長ヲ命シ第二期ノ始ニ於テ選舉手續ヲ經テ之ヲ定ムルモノトス

第二條 正副級長ノ任期ハ一學年間トス

第三條 正副級長ハ擔任教官ノ指導ニ從ヒ其ノ學級生徒ノ風紀ヲ肅シ學校ノ命令ヲ傳ヘ教室内ノ秩序清潔ヲ保ツヘシ

第四條 各正級長ハ文科理科毎ニ生徒總代各一名ヲ互選スヘシ

第五條 生徒總代ノ任期ハ一學年間トス

五 缺席、缺課、遲到規程

第一條 課業ニ缺席シタルトキハ出校後三日以内ニ於テ左記書式ニ依ル届書ニ指導教官ノ認印ヲ受ケ生徒課ニ提出スヘシ

書式 略

引續キ七日以上缺席セントスルトキハ缺席ノ當初ヨリ七日以内ニ其ノ旨届出ツヘシ但シ疾病ニ因ル場合ハ醫師ノ診断書ヲ添付スヘシ

第二條 授業ニ遅刻又ハ缺課シタルトキハ三日以内ニ於テ左記書式ニ依ル届書ニ指導教官ノ認印ヲ受ケ生徒課ニ提出スヘシ

書式 略

第三條 四大節(四方拜ヲ除ク)其ノ他授業ヲ行ハサルモ之ニ準スヘキ場合ニ缺席シタルトキハ第一條ニ依リ届出ヲ爲スヘシ

第四條 疾病ニヨリ試業、行軍等ニ缺課缺席セントスルトキハ豫メ其ノ旨校醫ノ診断書ヲ添ヘテ届出ツヘシ

六 生徒集會規程

第一條 生徒五人以上ノ集會ヲ備サントスルトキハ豫メ擔任教官若クハ校友會部長ヲ經テ生徒課長ニ願

出テ其ノ許可ヲ受クヘシ

本校生徒以外ノ者ト共ニスル集會モ亦同シ

第二條 生徒ハ其ノ體面ヲ汚損スルノ虞アル場所ニ集會スヘカラス

第三條 集會ノ節本校教室ヲ使用セントスルトキハ教務課長ニ願出テ其ノ他ノ場所ヲ使用セントスルトキハ生徒課長ニ願出テ其ノ許可ヲ受クヘシ

第四條 定期集會ヲ創設セントスル者ハ豫メ其ノ旨生徒課長ニ届出ツヘシ之ヲ解散シタルトキ亦同シ

七 通學規程

第一條 通學生徒ハ總テ毎學期始業ノ日ヨリ三日以内ニ宿所届用紙ノ各項ニ記入シ擔任教官ノ承認ヲ經テ生徒課ニ差出スヘシ

宿所ヲ變更スルトキハ其ノ決定ノ日ヨリ三日以内ニ前項ノ手續ヲナスヘシ

第二條 通學生徒ハ其ノ宿所不適當ト認メラル、トキハ轉宿ヲ命セラル、コトアルヘシ

八 服裝規程

本校生徒ノ服裝ハ左ノ如ク定ム

一、正 帽

制式 海軍形

細則

細則

品質 羅紗

色 黒

前章 帽章(下圖ノ通)

横章 白線(副二分)二條

二、略帽

制式 縁三寸 高二寸五分

品質 麥藁

前章 正帽ニ同シ

横章 鉢巻焦茶色 布幅一寸五分 白線二條入

三、冬服

制式 立襟

品質 ヘル

色 濃紺

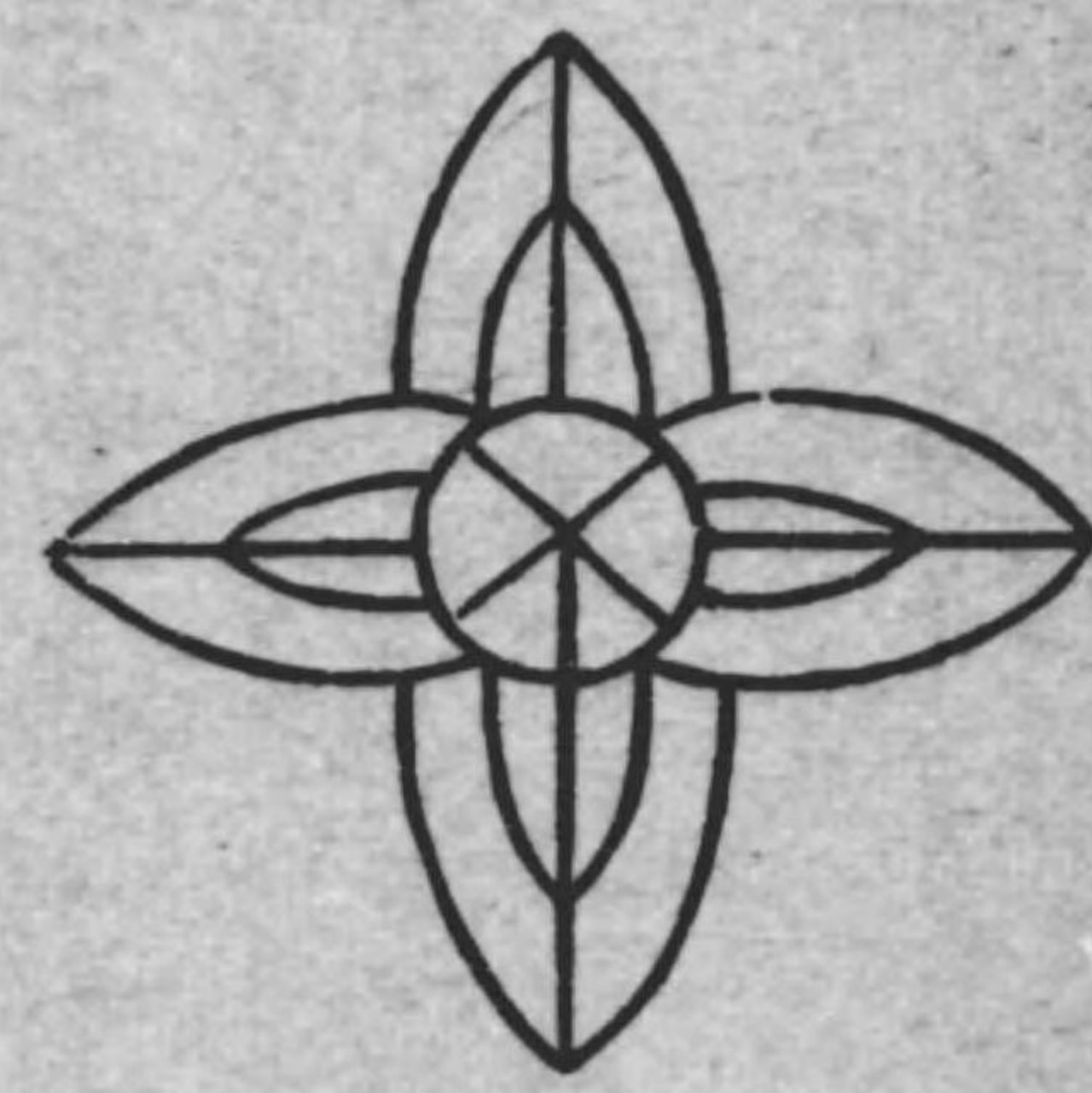
鈕釦 色黄 品質真鍮 本校ノ徽章ヲ附セルモノ

襟章 同 同 文科ハ!理科ハSノローマンゴシック形文字ヲ左襟ニ附ス

四、夏服

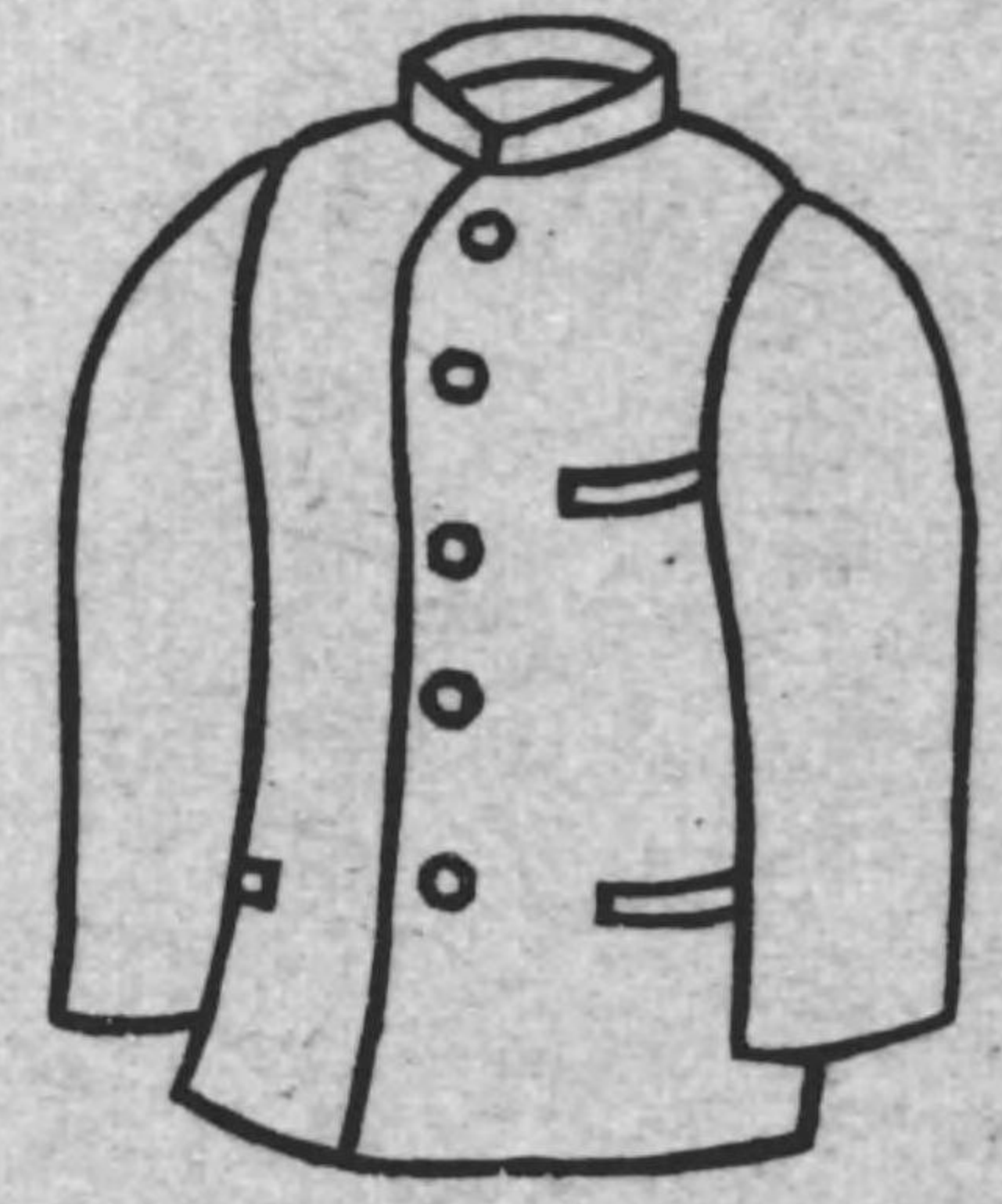
五〇

帽章圖

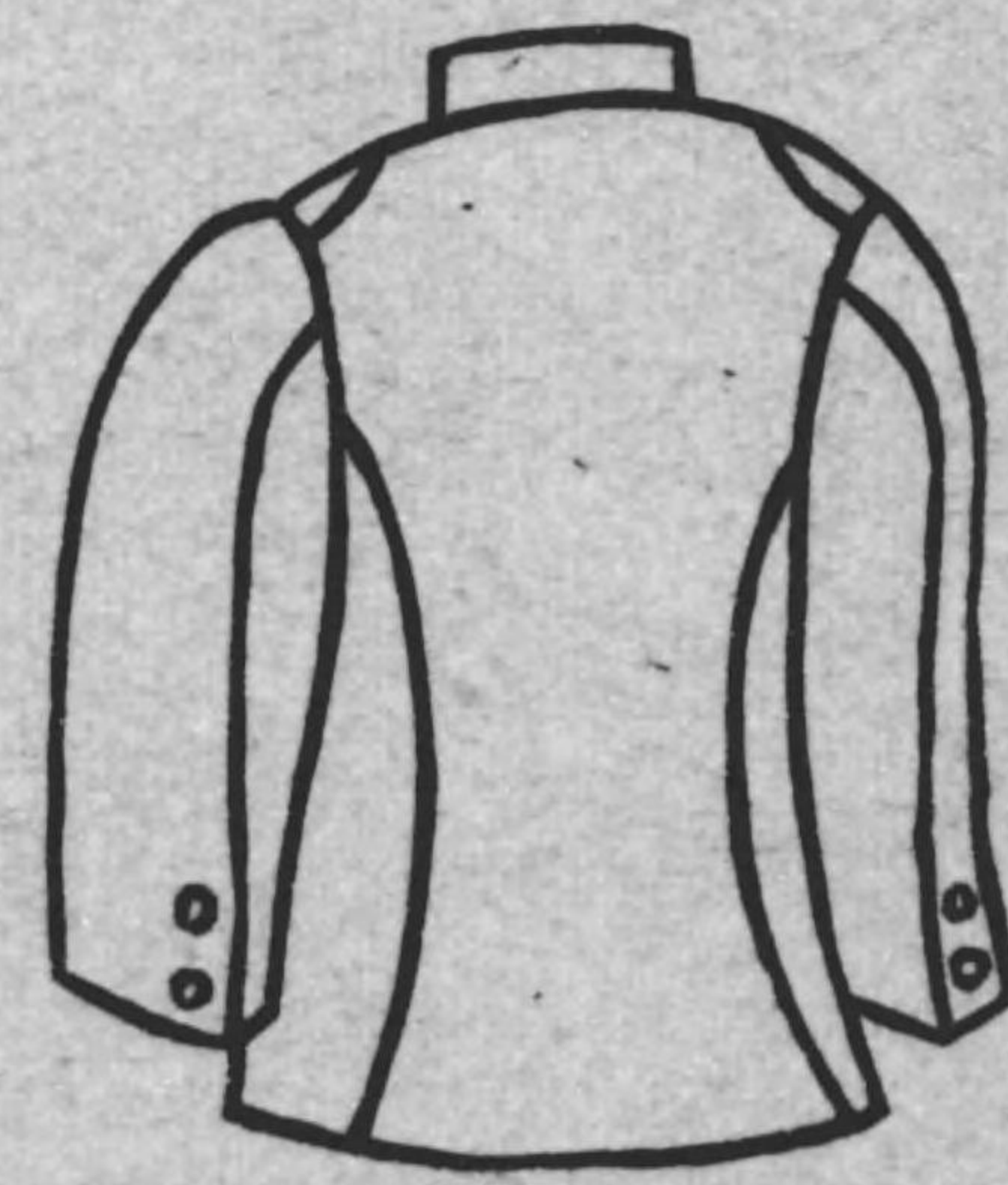


制服圖

衣 面 前



面 背



制式 冬服ニ同シ
品質 小倉
色 鼠霜降
鈕釦 冬服ニ同シ
襟章 冬服ニ同シ

袴



細則

五一

五、靴

制式 黑色

六、脚絆

制式 卷脚絆

品質 絨又ハ木綿

色 帶青茶褐

一、左ノ場合ニ於テハ前段制定ノ服裝ヲナスヘシ

儀式舉行ノ時

授業ヲ受クル時

本校ノ特ニ指定シタル時

一、略帽ハ夏服用ノ時ニ限り、體操科授業ノ際ハ正帽ヲ著シ脚絆ハ特ニ指定シタル場合ニノミ之ヲ著用スヘシ

一、生徒ハ外出ノ際ハ成ルヘク制服ヲ著用スヘシ和裝ヲナストキハ必ス袴ヲ穿キ制帽ヲ著スヘシ

一、外套若ハマント(トンビ形ヲ許サス)ハ黑色或ハ濃紺ニ限り其ノ他ノ色、縞物等ヲ用ウヘカラス

九 學業成績考查細則

第一條 各學科目ノ成績ニ對シ評點ヲ附ス

評點ヲ分チテ學期評點及學年評點トシ各一百ヲ以テ滿點ト定ム

第二條 學期評點ハ當該學期間ニ於ケル各學科目ノ學業成績ニ對シテ之ヲ附ス

學年評點ハ各學期評點ノ和ヲ三除シテ之ヲ定ム

各學科目學年評點ノ和ヲ學科目ノ數ヲ以テ除シタルモノヲ學年平均評點トス

第三條 學期試驗ヲ行ハサル學科目ノ學期成績ハ日課成績及勤惰ニ依リテ之ヲ定ム

第四條 各學年ニ於ケル學科目ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

文科

學科	學年	第一學年	第二學年	第三學年
修身				一
國語及漢文		三	三	二
第一外國語		三	三	三
第二外國語		一	一	一
歷史		一	二	二
地理		一		

計	體操	自然科學	數學	法制及經濟	心理及論理	哲學概說	理科			
							第一學年	第二學年	第三學年	
一三	—	—	—	—	—	—	一三	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

數學	第二外國語	第一外國語	國語及漢文	修身	學科		
					第一學年	第二學年	第三學年
二	—	三	二	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—

計	體操	圖畫	法制及經濟	心理	鑛物及地質	植物及動物	化學	物理	備考	
									甲類	乙類
一三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

備考 三學年ノ數學(一)及圖畫(一)ト植物及動物(二)トハ生徒ヲシテ其ノ一ヲ選擇セシムルモノトス

第二外國語ヲ修ムル者ニ對シテハ他學科ト同一ニ取扱フモノトス

第五條 平常試驗ハ每學期一回以上施行スルヲ通則トス

第六條 學年平均評點六十以上ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ進級又ハ卒業セシム

細則

- 一 學年評點六十未滿ノ學科ナキ者
- 二 學年評點六十未滿ノモノ四科目アルモ其ノ評點二科目四十以上他ノ二科目五十以上ノ者
- 三 學年評點六十未滿ノモノ總科目數ノ二分ノ一アルモ其ノ評點何レモ五十以上ノ者
- 第七條 缺席缺課及遲刻ノ多キ者ハ前條ノ規定ニ拘ハラス原級ニ留ムルコトアルヘシ
- 第八條 正當ノ事由アリテ試験ニ缺席シタル者ノ學期評點ハ當該學期ニ於ケル平素ノ學業成績及他ノ學期ノ學業成績ヲ參酌シテ之ヲ定ム
- 第九條 一學年間ニ二回定期試験ヲ受ケサル者ハ特別ノ詮議ニ依ル外進級又ハ卒業セシムルコトナシ
- 第十條 卒業成績ハ各學年成績ヲ平均シテ之ヲ定ム

一〇 圖書閱覽規則

- 第一條 圖書閱覽室ハ本校職員及生徒參考ノ爲本校所藏ノ圖書ヲ閱覽スル所トス
- 第二條 閱覽室ハ職員閱覽室及生徒閱覽室ノ二區ニ分ツ
- 第三條 職員閱覽室ニ入ルコトヲ得ル者ハ本校職員、舊職員及特ニ學校長ノ許可ヲ得タル者ニ限ル
- 第四條 生徒閱覽室ニ入ルコトヲ得ル者ハ本校生徒ニ限ル
- 第五條 圖書閱覽室ノ閉鎖日左ノ如シ
- 一 日曜日

二 大祭日

三 年末年始 十二月二十九日ヨリ 翌年一月五日マテ

四 臨時休業日

五 暑中休暇 八月一日ヨリ 八月三十一日マテ

第六條 圖書館閉鎖時限ハ時ニ依リテ之ヲ定ム

第七條 生徒圖書ヲ閱覽セントスルトキハ先ツ目錄ニ就キ其ノ圖書ヲ檢出シ所定ノ用紙ニ書名番號、氏名、年月日ヲ記入シ課員ニ差出シテ之ヲ借受ケ閱覽了ラハ直ニ返納スヘシ

第八條 閱覽室ニ入ル者ハ左ノ各號ヲ遵守スヘシ若シ之ニ違背スルトキハ退去ヲ命セラル、コトアルヘシ

- 一 閱覽室ニ入ル者ハ制服又ハ袴ヲ着用スヘシ
 - 二 圖書筆墨紙ノ類ヲ除ク外他ノ物品ヲ室内ニ携入スヘカラス
 - 三 閱覽者ハ借受ケタル圖書ヲ閱覽室外ニ携去スヘカラス
 - 四 閱覽者ハ圖書ヲ他人ニ轉貸スヘカラス
 - 五 總テ靜肅ヲ旨トシ喫煙、音讀、雜談等他人ノ妨害トナルヘキ行爲ヲナスヘカラス
 - 六 閱覽済ノ圖書ハ直ニ之ヲ返納スヘシ
- 第九條 借受ケタル圖書ハ鄭重ニ之ヲ取扱フヘシ若シ汚損若ハ紛失シタル場合ハ速ニ課員ニ届出ツヘシ

但シ時宜ニヨリ之ヲ辨償セシムルコトアルヘシ

第十條 圖書ノ種類ニヨリテハ一般ノ閲覧ヲ許サ、ルコトアルヘシ

第十一條 本校所藏ノ圖書ハ生徒ノ願ニヨリ之ヲ貸付スルコトアルヘシ

貸付サレタル圖書ヲ汚損若ハ紛失シタル者ニ對シテハ第九條ノ但書ヲ適用スルコトアルヘシ

一一 校旗規程

第一條 校旗ハ本校ノ標幟トス

第二條 校旗ハ儀式並本校ヲ表示スヘキ場合ニ之ヲ捧持ス

第三條 校旗捧持ノ場合ハ其ノ都度學校長之ヲ指定ス

第四條 校旗捧持ノ場合ニ於ケル取扱ハ旗手及護衛之ニ當ル

第五條 旗手及護衛ハ生徒中ヨリ選抜シ學校長之ヲ命ス

第六條 旗手及護衛ノ任期ハ一學年間トス

○ 物品會計規程施行細則

第一章 總 則

第一條 本校所有ニ屬スル物品ハ學校長之ヲ管理シ其ノ保管及出納ハ物品會計規則及文部省直轄各部物

品會計規程ニ基キ此ノ細則ニ依リ處理スヘシ

第二條 物品ヲ大別シテ備品消耗品トシ備品ノ用途ヲ專用共用ノ二種トス但シ備品消耗品ノ種別ハ學校長之ヲ定ム

共用トハ各部ニ於テ共用スルモノヲ謂ヒ專用トハ職員各自ニ專用スルモノヲ謂フ

第三條 各部ニ於テ通常所要ノ物品ハ毎年度始ニ於テ其ノ員數ヲ豫定シ會計課ニ通報スヘシ但シ學術用機械標本等ニシテ豫定シ難キモノハ此ノ限ニアラス

第二章 出 納

第四條 物品ノ出納ハ學校長ノ命令ニ依リ物品會計官吏之ヲ行フ

第五條 通常所要ノ物品ニシテ數量ヲ豫定セラレタルモノハ其ノ範圍内ニ於テ又臨時所要ノ物品ハ各部ノ請求ニ依リ學校長ノ命令ヲ受ケテ物品會計官吏購入ノ手續ヲナスヘシ

第六條 學術上機械ノ製作及修理ニ特種ノ注意ヲ要スルカ又ハ當業者ヲ選擇スル場合ハ便宜上各部ニ於テ當業者ノ見積書ヲ徴シ(外國製品等ニシテ見積書ヲ徴スル能ハサルトキハ之カ調書ヲ添付ス)會計課ニ請求スヘシ

第七條 物品會計官吏ニ於テ受入レタル物品ヲ支給セントスルトキハ普通備品ニアリテハ番號札ヲ現品

ニ付シ共用品ト専用品トニ分テ備品支給簿ニ登記シ消耗品ニアリテハ消耗品出納簿ニ登記シタル後之ヲ物品監守者又ハ物品取扱主任者ニ渡シ受領ノ證トシテ帳簿ニ捺印セシメ若ハ別ニ領收證書ヲ徴スヘシ

第八條 監守者若ハ取扱主任者ニ於テ物品ヲ受取リタルトキハ備品ニ屬スルモノハ備品監守簿消耗品ニ屬スルモノハ消耗品受拂簿ニ記入スヘシ

第九條 物品ノ不用ニ歸シタルモノアルトキハ直ニ之ヲ會計課ニ返付スヘシ
會計課ハ其ノ處分案ヲ具シ學校長ノ決裁ヲ經テ處理スヘシ

第三章 保管及監督

第十條 各部受入物品ハ一定ノ場所ニ藏置シ鄭重ニ取扱ヒ毀損又ハ亡失セサル様注意スヘシ
使用中ノ物品ハ時々修理スヘキモノ、員數ヲ調査シ修理ノ請求ヲナスヘシ

第十一條 使用中ノ物品ハ物品會計官吏ニ於テ左ノ事項ニ依リ監督スヘシ

- 一、各部ノ消耗品受拂報告表ヲ毎月消耗品支給簿ニ照査スルコト
- 一、毎年一回以上備品支給簿及消耗品支給簿ヲ以テ各部ニ就キ現品ヲ査閲シ且各部ノ監守簿受拂簿ノ調査ヲナシ學校長ニ報告スルコト

- 一、前項ノ場合ニ於テ物品ノ亡失毀損ヲ發見シタルトキ又ハ其ノ使用上ニ付意見アルトキハ學校長ニ其ノ處理ヲ求ムルコト

第十二條 共用備品ノ監守及消耗品取扱ノ爲各部ニ物品監守者及物品取扱主任者ヲ置ク但シ專用物品ハ各自之ヲ監守シ其責ニ任スヘシ

第十三條 物品ヲ毀損シ又ハ紛失シタルトキハ物品監守者ニ於テ其ノ實況ヲ詳記シ物品會計官吏ニ差出スヘシ物品會計官吏之ヲ審査シ物品檢閲委員ノ合議ヲ經學校長ノ裁定ヲ得テ責任者ヲシテ之ヲ修理セシメ又ハ代品若ハ相當代價ヲ辨償セシムルモノトス

第十四條 物品監守者又ハ取扱主任者更迭シタルトキハ物品會計官吏立合ノ上前任者及後任者ノ備品監守簿若ハ消耗品受拂簿ト現品トヲ對照シ其ノ物品ノ引繼ヲ爲スヘシ引繼ノ事由及年月日ハ帳簿ニ之ヲ記入シ各自記名捺印スヘシ

第四章 檢 閱

第十五條 學校長ハ物品檢閲委員若干名ヲ設ケテ物品ノ保管及使用ヲ檢閲セシムヘシ但シ檢閲ヲ分テテ定期臨時ノ二種トス

第十六條 定期檢閲ハ毎年六月乃至十月其ノ期日ヲ定メテ之ヲ施行シ臨時檢閲ハ臨時之ヲ施行スヘシ

第十七條 物品檢閲ノ期日及委員ノ指名ハ會計課ヨリ豫メ各部ニ通報スヘシ

第十八條 物品檢閲委員ノ檢閱スヘキ事項左ノ如シ

- 一、物品保管ノ適否
- 一、物品使用及消費ノ適否
- 一、物品缺損ノ有無
- 一、備品及消耗品支給定數過不足

一、帳簿ト現品トノ對照

第十九條 物品檢閲ノ際ハ物品監守者又ハ物品取扱主任者其ノ席ニ列シテ檢閲ヲ受クヘシ

第二十條 物品檢閲委員ニ於テ檢閲上故障ナシト認ムルトキハ帳簿ニ捺印シテ之ヲ證スヘシ

若シ故障アルトキハ當該責任者ヨリ始末書ヲ差出サシメ處分了ルヲ俟テ前項ノ手續ヲナスヘシ

第二十一條 物品檢閲ヲ了リタルトキハ其頭末ヲ具シ意見ヲ付シテ學校長ニ申報スヘシ

第五章 帳簿

第二十二條 物品會計官吏ハ物品ノ出納保管ヲ明確ニスル爲左ノ帳簿ヲ設ケ之ヲ整理スヘシ

一、物品出納簿

證票ニ基キ物品ノ出納ヲ記入シ及在庫並ニ使用物品ノ現在ヲ明カニス

一、備品支給明細簿

命令文書ニ基キ使用ニ供シタル物品ヲ記入シ所在ヲ明カニシ監守者ヲシテ受領印ヲ押捺セシム

一、消耗品支給簿

命令文書ニ基キ支給ノ物品ヲ記入シ取扱主任者ヲシテ受領ノ印ヲ押捺セシム

第二十三條 各部ニ於テハ備品監守簿及消耗品受拂簿ヲ備ヘテ物品現存及受拂ヲ明確ナラシムヘシ

第二十四條 帳簿並ニ諸表ノ様式ハ別紙ノ通り相定ム

(帳簿及諸表様式略)

○職員服務細則

第一條 職員ハ毎日定時マテニ必ス出勤スヘシ

第二條 執務上必要アル時ハ勤務時限外又ハ休日ト雖モ執務スヘシ

第三條 書記、雇員、助手及特ニ命セラレタル者ハ輪番ヲ以テ當直ニ服スヘシ

第四條 病氣其ノ他ノ事故ニ依リ遅刻若ハ缺勤スルトキハ定時前ニ届出ツヘシ

但シ病氣缺勤一週間ニ亘ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘテ届出テ爾後二週間毎ニ同様ノ手續ヲナスヘシ

第五條 病氣若ハ其ノ他ノ事故ニ依リ早退セントスルトキハ其ノ旨届出ツヘシ

第六條 本校ニ於テ施行スル儀式ニハ必ス參列スヘシ不參ノ場合ニハ前以テ届出ツヘシ

第七條 忌服ヲ受ケントスルトキハ其ノ親屬關係ヲ記シ忌引届ヲ提出スヘシ

第八條 父母ノ祭日ニ休暇ヲ受ケントスルトキハ前以テ届出ツヘシ

第九條 止ムヲ得サル事由ニ依リ任地ヲ離レントスルトキハ其ノ事由、旅行日數及行先ヲ記シ出發前ニ

願出ツヘシ

休暇中又ハ賜暇中ニ旅行セントスル者ハ日數及旅行先ヲ記シ出發前ニ届出ツヘシ

第十條 陸軍召集規則並ニ海軍召集規則ニ依ル召集又ハ簡閱點呼ニ應スルトキハ日限及應召地部隊、艦

隊等ヲ記シ出發前ニ届出ツヘシ

- 第十一條 出張ノ命ヲ受ケタルトキハ出發届ヲ提出シ、歸校後直ニ復命スヘシ
- 第十二條 校務ノ外職務ニ従事セントスルトキハ報酬ノ有無ニ拘ラス學校長ノ承認ヲ受クヘシ
- 第十三條 官廳其ノ他ヨリ本校ヲ經由セスシテ辭令書ヲ受ケ其ノ事項ノ履歷ニ關係アルモノハ其ノ都度届出ツヘシ
- 第十四條 住所ヲ移轉シ又ハ氏名ヲ變更シタルトキハ直ニ届出ツヘシ
- 第十五條 轉任、免官、休職等ノ際又ハ分課事務ヲ免セラレタルトキハ取扱事務ニ關スル書類及物品ノ引繼ヲナスヘシ
- 第十六條 非常事故アルトキハ速ニ登校シ臨機ノ處置ヲナスヘシ

○當直勤務規程

- 第一條 當宿勤務ハ本校當直ト學寮當直トス
- 第二條 本校當直ハ書記、雇員、助手又ハ特ニ命セラレタル者輪番ヲ以テ之ニ服スヘシ
學寮當直ハ生徒課勤務ノ職員輪番ヲ以テ之ニ服スヘシ
- 第三條 當直時間ハ平日ニアリテハ執務時間ノ終リヨリ翌日ノ執務時間ノ始マテトシ休日ニアリテハ執務時間ノ始ヨリ翌日ノ執務時間マテトス
- 第四條 病氣、出張其ノ他ノ事故ニヨリ當直スルコト能ハサルトキハ代直ヲ立テ本校當直ニ於テハ庶務

課ニ、學寮當直ニ於テハ生徒課ニ前以テ届出ツヘシ

第五條 本校當直ノ任務概ネ左ノ如シ

- 一、御眞影奉安所及其ノ他ノ銷鑰ヲ管守スルコト
 - 二、巡視、校丁等ヲ監督シ校舍内外一切ノ取締ヲナスコト
 - 三、往復物件ヲ處理スルコト
 - 四、火器其ノ他火災ノ虞アル器物ニ對シテ注意スルコト
 - 五、當直日誌ヲ記入スルコト
- 第六條 學寮當直ハ學寮ノ管理及取締ニ任シ寮内一切ノ事務ヲ處理スヘシ但シ日誌記入ハ本校當直ニ準ス

第七條 當直日誌ニハ左ノ事項ヲ記入スルヲ要ス

- 一、當直ノ年月日天候並當直者ノ氏名
 - 二、巡視及校丁ノ氏名
 - 三、到着若クハ發送セル物件ノ目錄
 - 四、以上ノ外當直中ニ處理シタル事項
- 第八條 當直日誌ハ翌日庶務課長、若クハ生徒課長ヲ經テ夫々學校長ノ査閱ヲ受クヘシ
- 第九條 當直者ハ勤務中、學校ヲ離ル、コトヲ得ス

第十條 當直者ハ其ノ任務ニ關シ互ニ助カヲ求ムルコトヲ得

第十一條 當直中非常事故アルトキハ之ヲ學校長ニ急告シ、且臨機ノ處置ヲナスヘシ

第十二條 當直者ノ服務ニ關スル細目ハ本校當直ニ於テハ庶務課長、學寮當直ニ於テハ生徒課長之ヲ定ムヘシ

○學科主任規程

第一條 一學科若ハ數學科ニ學科主任一人ヲ置ク

第二條 學科主任ノ擔任スヘキ事項左ノ如シ

一 當該學科教授ノ統一進歩ノ爲適當ナル處置ヲナスコト

二 當該學科教官ノ授業料分擔ニ關スルコト

三 當該學科ノ教授要目ニ關スルコト

四 教授用圖書ノ選定ニ關スルコト

五 教授上必要ナル參考用圖書、器具、機械、標本、藏品等ヲ調査スルコト

六 特別教室ニ關スルコト

第三條 各學科ノ連絡ヲ圖ルタメ隨時學科主任會議ヲ開催ス

○評議員規程

第一條 本校ニ評議員若干名ヲ置ク

第二條 評議員ハ各課長並教官ノ互選シタル教授中ニ就キ學校長之ヲ命ス

第三條 教官ノ互選シタル評議員ノ任期ハ之ヲ一年間トス但シ再選スルコトヲ得

第四條 評議員ハ學校長ノ諮問ニ應シ意見ヲ述フ

第五條 必要アル場合ニハ員外ノ職員ヲ評議員會ニ列席セシムルコトアルヘシ

○校務分掌規程

第一條 校務ヲ分テテ教務、生徒、庶務、圖書、會計ノ五課トス

第二條 各課ニ課長若ハ主任ヲ置キ其ノ分掌事務ヲ管理セシム

第三條 教務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一 學科課程及授業ニ關スル事

二 教室及教官室ニ關スル事

三 學級ノ編制ニ關スル事

四 擔任教官ニ關スル事

評議員規程 校務分掌規程

校務分掌規程

- 五 教授ノ授業分擔及日課ノ配當ニ關スル事
- 六 教授用圖書ニ關スル事
- 七 授業上ノ設備ニ關スル事
- 八 成績考査、進級及卒業ニ關スル事
- 九 生徒募集ニ關スル事
- 十 生徒ノ入學ニ關スル事
- 十一 生徒ノ學籍ニ關スル事
- 十二 退學及休學ニ關スル事
- 十三 在學證明ニ關スル事
- 十四 成績證明ニ關スル事
- 十五 體操副科ニ關スル事
- 十六 行軍演習及修學旅行ニ關スル事
- 十七 生徒ノ大學進入ニ關スル事
- 十八 卒業生ニ關スル事
- 十九 教官ノ報告ニ關スル事
- 二十 教官會議ニ關スル事

二十一 參觀人取扱ニ關スル事

二十二 其ノ他校務ニ關スル一切ノ事項

第四條 生徒課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 生徒ノ風紀ニ關スル事
- 二 生徒ノ賞罰ニ關スル事
- 三 生徒ノ勤惰ニ關スル事
- 四 指導教官ニ關スル事
- 五 正副級長ニ關スル事
- 六 生徒ノ服裝ニ關スル事
- 七 生徒ノ保健衛生ニ關スル事
- 八 生徒ノ身體檢査ニ關スル事
- 九 生徒ノ兵役ニ關スル事
- 十 生徒ノ控室ニ關スル事
- 十一 生徒ノ宿所ニ關スル事
- 十二 生徒ノ集會、揭示ニ關スル事
- 十三 生徒ノ團體旅行ニ關スル事

校務分掌規程

校務分掌規程

- 十四 生徒ノ入寮、退寮ニ關スル事
- 十五 學寮ノ管理、整備ニ關スル事
- 十六 寮生ノ炊事ニ關スル事
- 十七 學寮附屬販賣部ニ關スル事
- 十八 其ノ他生徒ニ關スル一切ノ事項

第五條 庶務課ニ於テハ左ノ事項ヲ掌ル

- 一 御眞影及勅語謄本ノ保管ニ關スル事
- 二 校長官印及校印ノ保管ニ關スル事
- 三 職員ノ進退、身分及服務ニ關スル事
- 四 備外國人ニ關スル事
- 五 公文書ノ處理ニ關スル事
- 六 諸規則ノ制定改廢ニ關スル事
- 七 統計、報告及一覽ニ關スル事
- 八 日誌及記録ニ關スル事
- 九 校章及校旗ニ關スル事
- 十 儀式ニ關スル事

- 十一 校長室及會議室ニ關スル事
- 十二 評議員會ニ關スル事
- 十三 當直ニ關スル事
- 十四 寄附願ニ關スル事
- 十五 乘車乗船運賃割引證ニ關スル事
- 十六 其ノ他々課ニ屬セサル一切ノ事項

第六條 圖書課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一 圖書ノ保管及整理ニ關スル事
- 二 圖書ノ註文及購入ニ關スル事
- 三 圖書貸付ニ關スル事
- 四 圖書目錄編纂ニ關スル事
- 五 圖書印保管ニ關スル事
- 六 書庫及閱覽室ニ關スル事
- 七 新聞、雜誌、年報、一覽表等ノ保管、整理及出納ニ關スル事
- 八 其ノ他圖書ニ關スル一切ノ事項

第七條 會計課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

校務分掌規程

校務分掌規程

- 一 歳入歳出ノ豫算及決算ニ關スル事
 - 二 金錢ノ收支及保管ニ關スル事
 - 三 國有財産及資金ニ關スル事
 - 四 物品ノ購入、賣拂、貸借及修理ニ關スル事
 - 五 物品ノ出納及保管ニ關スル事
 - 六 營繕ニ關スル事
 - 七 備入ニ關スル事
 - 八 電話、電燈、瓦斯、給水及暖房ニ關スル事
 - 九 校内ノ警備及衛生ニ關スル事
 - 十 其ノ他會計ニ關スル一切ノ事項
- 第八條 各課ノ擔任事項ニシテ他課ニ關聯スルモノニ付テハ各課ノ合議ニヨリテ之ヲ處理スヘキモノトス
- 第九條 各課所屬職員ハ常務ノ外時宜ニ依リ他課ノ事務ヲ補助スヘキモノトス

職員

(昭和十四年十月一日現在)

校長

文學士 佐野保太郎 兵庫

名譽教授

理學士 三輪田輪三 東京

文學士 久保良澄 佐賀

教授

修身、論理

文學士 佐藤直丸 山形

英語

評議員 文學士 島村盛助 埼玉

國語

評議員 文學士 岡部美二 静岡

漢文

(兼) 評議員 文學士 岡部美二 静岡

植物及動物、自然科學

評議員 理學士 今井一郎 山形

法制及經濟、獨語

評議員 法學士 岡本信二郎 千葉

修身、心理

評議員 文學士 勝川全道 愛知

歴史

評議員 文學士 關世男 大阪

職員

職員

化學
漢文
圖畫
數學
化學、自然科學
英語
數學
物理、自然科學
英語
法制及經濟、獨語
礦物及地質、自然科學、地理
獨語
英語
數學
獨語
歷史、地理

七四

評議員

文學士 田島 義雄 高知
文學士 野村 岳陽 東京
工學士 北上 宇八 兵庫
理學士 荒田 狷介 青森
理學士 望月 脩二 福岡
文學士 工藤 龜三 宮城
文學士 柳原 吉次 熊本
理學士 脇本 榮治 熊本
法學士 田中 菊雄 東京
法學士 財津 哲雄 熊本
文學士 安齋 徹 熊本
文學士 大畑 末吉 東京
文學士 深町 弘三 石川
理學士 黑田 稻夫 兵庫
文學士 岡本 政孝 東京
文學士 森 瑞樹 鹿兒島

獨語
獨語
修身、哲學概說、獨語
物理、數學
國語

生徒主事

配屬將校

講師 (就職順)

體操
劍道
體操
體操
體操

職員

(應召中)

(兼)

(應召中)

文學士 道家 忠道 東京
文學士 芦田 弘夫 兵庫
文學士 小松 攝郎 長野
理學士 大森 恭輔 東京
文學士 松村 博司 福岡
文學士 荒田 狷介 前出
文學士 平澤 東貫 前出
陸軍步兵大佐 堀江 貞雄 山口
法學博士 川島 次郎 富山
陸軍輜重兵大尉 三浦 新七 山形
陸軍步兵中尉 矢萩 貞三 山形
陸軍步兵中尉 皆川 彌徳 山形
陸軍步兵准尉 羽田 又吉 山形

七五



職員

國語

圖書

柔道

英語

獨語

英語

七六

文學士

山形縣師範學校教諭

佐藤

正宮

大田 義一 兵庫

Dr. K. T. L., F. I. R. O. S. F. K. I.

ユリウス、ホルツヘル 獨逸

ルイス、ブッシュ 英國

書記

備外國人教師

主事

陸軍歩兵少尉

村田 德次郎 東京

長岡 匡吉 山形

寒河江 幸雄 山形

中村 伊太郎 山形

原 田 勇 山形

高橋 啓助 山形

佐藤 淳治 山形

生徒主事補

事務囑託

職員

内藤 政吉 山形

加藤 雅義 山形

會田 吉秀 山形

佐藤 元泰 山形

高山 英夫 山形

武田 富治 山形

近江 榮山 山形

(應召中)

川 英治 三重

中村 徹山 山形

丹野 一男 山形

小松 武男 山形

安澤 平次郎 山形

助手

圖書兼地質鑛物學教室勤務

化學教室勤務

物理學教室勤務

植物及動物學教室勤務

弓道教師

職員

七七

事務分課

校醫

山形市立病院濟生館長

事務分課
教務課

課長

(兼)

教授 關世男
教授 北上宇八
助教授 大田義一
書記 寒河江幸雄
高山英夫

生徒課

課長

兼教授 生徒主事 平澤東貫
兼生徒主事 教授 荒田猶介
講師 矢萩貞三
講師 皆川彌徳
講師 羽田又吉

醫學博士 中原養樹 岐阜

課長

庶務課

助教授 大田義一
生徒主事補 佐藤淳治
事務囑託 內藤政吉
加藤雅義

教授 勝川全道
書記 高橋啓助
會田吉秀

課長

圖書課

教授 島村盛助
書記 原田勇
武田富治
近江榮

主任

會計課

收入官吏 書記 村田徳次郎
書記 岡匡吉
物品會計官吏

學科主任 擔任教官

學科主任

修身、心理及論理、哲學概說

國語

漢文

英語

獨語

歷史、地理

法制及經濟

數學

物理

化學

植物及動物、自然科學

礦物及地質

圖畫

書記

中村伊太郎
佐藤元泰

八〇

教授 佐藤直丸

教授 岡部美二

教授 平澤東貫

教授 島村盛助

教授 大畑末吉

教授 關世男

教授 岡本信二郎

教授 荒田彌介

教授 脇本榮治

教授 田島義雄

教授 今井一郎

教授 安齋徹

教授 北上宇八

陸軍歩兵大佐 堀江貞雄

擔任教官

文科三年甲組

文科三年乙組

理科三年甲一組

理科三年甲二組

理科三年乙組

文科二年甲組

文科二年乙組

理科二年甲一組

理科二年甲二組

理科二年乙組

文科一年甲組

文科一年乙組

理科一年甲一組

理科一年甲二組

理科一年乙組

擔任教官

八一

教授 田中菊雄

教授 大畑末吉

教授 田島義雄

教授 黑田稻夫

教授 工藤龜三郎

教授 森瑞樹

教授 道家忠道

教授 大森恭輔

教授 岡本政孝

教授 芦田弘夫

教授 深町弘三

教授 岡部美二

教授 柳原吉次

教授 安齋徹

教授 今井一郎

○生徒

(昭和十四年七月一日現在)

文科甲類三年

(二十四名)

- 牛田青木 尹 (三重) 仙右第二 菱沼清一 (宮城) 横濱第一 福本健之助 (神奈川)
- 山形今泉一郎 (山形) 青森猪股 正 (青森) 前橋金子東司 (群馬)
- 網走藤野常一 (山形) 新莊吉川種泰 (福島) 山形古塚浩平 (山形)
- 小田原栗原得時 (千葉) 川崎栗谷善雄 (神奈川) 東京第四 本山守忠 (佐賀)
- 長井長岐靖嗣 (秋田) 大成西村義政 (北陸) 村上大倉博介 (新潟)
- 西瑛大野一郎 (茨城) 東京第九 大野正孝 (東京) 東京開成 太田周一 (東京)
- 浦和鎮目忠信 (山梨) 岩見澤 鈴木蒼生雄 (大阪) 正則 宇野澤亮之助 (神奈川)
- 寒河江和田善太郎 (山形) 早稻田若尾 榮 (東京) 寒河江吉村正男 (山形)

文科乙類三年

(二十七名)

- 山形阿部茂政 (山形) 仙台第二 阿部壽治 (宮城) 東京第八 安藤三郎 (東京)
- 網走牛深 哲 (北海道) 長井船山道三 (山形) 山形降矢敬義 (山形)
- 大田原伏見貞二 (栃木) 高崎金森信雄 (群馬) 米澤木村 達 (山形)
- 新潟湯熊木贊郎 (新潟) 山形松田仁松 (山形) 東京第二 松本 薫 (大分)

- 京市立東三木 泰 (廣島) 豊原森田清信 (北海道) 仙台第一 村木哲夫 (宮城)
- 米澤西山貞雄 (山形) 山形野村喜芳 (山形) 東京第五 落合久徳 (岐阜)
- 福島齋藤恭一 (福島) 鶴岡坂本春吉 (山形) 米澤 澤佐々木照丸 (青森)
- 古川佐々木 信 (宮城) 秋田 藤田徳人 (秋田) 京 華高橋正忠 (秋田)
- 鶴岡高橋 鐵太郎 (山形) 横濱第三 高橋上策 (静岡) 盛岡 岡内堀昌志 (岩手)

理科甲類三年一ノ組

(二十三名)

- 秋田 田安倍秀男 (秋田) 磐城有馬 徳衛 (福島) 東京第五 藤森立雄 (長野)
- 東京第五 加藤 宏 (東京) 東京第九 小林末男 (東京) 長岡 駒形 治 (新潟)
- 秋田 田三神 佛次 (秋田) 鶴岡 森田浩三 (山形) 山形 森谷辰夫 (山形)
- 東京第八 村山 義夫 (東京) 横濱第一 佐藤三郎 (神奈川) 東京第七 鈴木忠彦 (千葉)
- 寒河江 高田 國雄 (山形) 京市立東 高木義郎 (東京) 仙台第二 高橋 研 (岩手)
- 早稻田 高村 養之助 (栃木) 都文館 藤條 泰磨 (山形) 盛岡 岡土田光夫 (福島)
- 麻布 津田 正衛 (東京) 東京第九 内海 勇 (東京) 湘南 山家謙一 (大阪)
- 羅南 横島 徳弘 (東京) 千葉 葉吉岡 義忠 (千葉)

理科甲類三年二ノ組

(二十七名)

- 磐城阿部 瑞男 (福島) 東京第九 後藤 豊一 (山形) 古川 藤原 弘 (宮城)
- 生徒

編 本古澤 正 (栃木)	專 檢井片正二 (奈良)	東京第八池上正治 (東京)
成 東石野克巳 (千葉)	熊 谷片山嘉一郎 (埼玉)	第一神戶川合俊一 (山形)
横濱第二菊池重郷 (福島)	日 立駒井又二 (神奈川)	山 形小關 正 (山形)
山 形工藤貞一郎 (山形)	大 分松南哲三 (鳥取)	秋 田中村三郎 (秋田)
東京開成 大庭辰雄 (兵庫)	第一商小川 國男 (東京)	成 東大橋正尚 (千葉)
成 東大野六郎 (千葉)	仙台第二 佐々木 秀夫 (青森)	東京第三柴崎一雄 (静岡)
東京第八島田哲夫 (岡山)	燒津水産 白鳥 知 (静岡)	本 郷杉田綱吉 (秋田)
秋 田田口哲男 (秋田)	湘 南玉井 教 (香川)	麻 布戸田知夫 (岡山)

理科乙類三年

(二十六名)

寒河江安部 堯 (山形)	日 川赤澤 勇 (山梨)	正 則有賀一雄 (東京)
松 本濱 興篤 (徳島)	土 浦久松哲夫 (茨城)	東京第八石谷順二郎 (栃木)
米 澤伊藤理伸 (山形)	東京第七 監物敬二 (千葉)	中 野木庭二郎 (東京)
横濱第一近藤師家治 (石川)	青山學院 古關志郎 (福島)	千 葉宮城和彦 (千葉)
熊 谷向井俊次 (埼玉)	安 房中原和夫 (長野)	第一東中崎弘元 (茨城)
安 積永井 功 (鹿児島)	東京第八野島 清 (東京)	自由ヶ坂元正義 (東京)
山 形高山英二郎 (山形)	山 形武田 正太郎 (山形)	黒澤尻千田富忠 (岩手)
熊 谷築根吉豊 (埼玉)	山 形角田和一 (山形)	東京第三梅原千治 (東京)

東京第二山形支也 (山形)

横濱第二吉尾太朗 (岐阜)

文科甲類二年

(三十一名)

前 橋阿部玄治 (新潟)	山 形阿部謙一 (山形)	京市立東原田健吉 (兵庫)
札幌第一 人見 武 (東京)	東京第八 藤倉光一 (東京)	酒 田五十嵐秀夫 (山形)
本 莊池田申次 (秋田)	横濱第二 加藤 實 (神奈川)	天王寺木村 力 (大阪)
能 代工藤一夫 (秋田)	山 形工藤新三 (山形)	京市立東栗原 久 (茨城)
青山學院 黒澤 洋 (東京)	東京第五 松村昌信 (東京)	札幌第一 宮崎一雄 (北海道)
浦 和木村金彌 (埼玉)	廣 布望月孝夫 (山梨)	東京第一 村田宏雄 (大阪)
早稻田 永井秋雄 (東京)	豊 原中西辰夫 (北海道)	前 橋能條 豊 (群馬)
山 形大沼孝彦 (山形)	山 形齋藤義一 (山形)	豊 原佐藤弘四郎 (福島)
湘 南篠原 晃 (神奈川)	本 巢高橋 宏 (岐阜)	釧 路千葉 曉 (北海道)
千葉植草爲松 (千葉)	余 市植村 秀 (北海道)	立 教上野善衛 (東京)
東京第四山田潤一 (東京)		

文科乙類二年

(二十九名)

旭 川甘精 元 (山形)	酒 田原 全忠 (山形)	山 形原田 洋 (山形)
酒 田平田 亨 (山形)	會 津今田三郎 (福島)	東京開成 石川哲平 (山形)

豆 陽加田秀磨 (靜岡) 鶴岡加藤 眞 (山形) 巢鴨見坊力男 (岩手)
 秋 田小林昌樹 (秋田) 京華日下部義 郎 (東京) 名寄前田正人 (愛知)
 明 星眞壁 毅 (新潟) 東京開成 松尾義 夫 (東京) 京都第三宮澤義 博 (長野)
 東京開成 中島達 郎 (長野) 東京第五 荻野初 彦 (埼玉)
 東京第八 大岩 威 (東京) 東京開成 岡田太 郎 (東京) 山形尾原裕 二 (山形)
 寒河江 寒河江玄 宗 (山形) 鶴岡 齊藤信 義 (山形) 山形大内恒 夫 (山形)
 横濱第二 宿谷 彰 (東京) 青山學院 塚越 敏 (群馬) 梅檀佐藤文 龍 (宮城)
 仙台第一 八島 健三郎 (宮城) 函館 四ッ柳 修造 (北海道) 山形波邊 鐵助 (福島)

理科甲類二年一ノ組 (三十五名)

千葉 葉姉齒 尙 (千葉) 湘南 南浅岡 康明 (神奈川) 長岡 櫻本敏 雄 (新潟)
 甲府 花輪紀 夫 (山梨) 東京開成 平野一 郎 (栃木) 横濱第一 堀江 毅 (東京)
 豊太 船坂隆 三 (岐阜) 山形 藤田 恒 (山形) 福岡 飯田清 二 (山口)
 大館 石田富三 郎 (秋田) 東京第四 石崎正 規 (栃木) 野付中 石塚達 雄 (北海道)
 東京第一 片桐速 夫 (山形) 酒田 今野慶 二 (山形) 第一神戶 久揚守 一 (兵庫)
 第三神戶 國村信 明 (兵庫) 東京第四 宗像正 一 (栃木) 京市立 中根千 富 (東京)
 米澤 西宮 豊 (秋田) 水戸 小川 勝男 (茨城) 高輪 小澤貞 男 (群馬)
 山形 小島誠太郎 (山形) 愛知第一 齋藤二 郎 (宮城) 長井 佐藤 正 (青森)

青山學院 關田憲 三 (高知) 山形 杉村徹 夫 (山形) 東京第二 高木鐵 雄 (石川)
 巢鴨 竹内壽 彦 (宮城) 山形 田中賢三 郎 (山形) 明治 丹野晴 彦 (宮城)
 米澤 漆山信 夫 (山形) 東京開成 薄井知 樹 (山形) 海城 八巻 洋 (宮城)
 新潟 横濱元 和 (宮城) 本莊 吉田良 夫 (秋田)

理科甲類二年二ノ組 (三十一名)

安達 遠藤信 雄 (福島) 前橋 深田郁 治 (高知) 湘南 井上國 平 (東京)
 盛岡 伊藤英 夫 (福島) 山形 鎌田慶 三 (山形) 横濱第二 加藤 敬 (神奈川)
 角田 加藤正 實 (宮城) 仙台第二 川戶幸 雄 (宮城) 上田 岸上重 一 (福井)
 長井 今野信 一 (山形) 東京第四 久米 靖 (東京) 東京第五 三輪米 男 (東京)
 旅順 宮下眞 一 (長野) 網走 森垣常 夫 (北海道) 東京第二 茂木一 雄 (群馬)
 米澤 長野光 彦 (新潟) 東京第五 中谷洋 太 (長野) 小城 岡 正雄 (佐賀)
 山形 形大内清 雄 (山形) 會津 佐藤健 象 (宮城) 小田原 關野新 造 (神奈川)
 横須賀 関尾秀 一 (群馬) 山形 形多田久 男 (山形) 京市立 高橋完 三 (新潟)
 大垣 田中七 郎 (岐阜) 東京第四 田中幸 雄 (東京) 豊橋 橋島居 敏 (愛知)
 見付 山内常 司 (静岡) 麻布 横濱正 男 (三重) 横濱第一 横倉秀 幸 (神奈川)
 東京第二 吉田功 雄 (東京)

理科乙類二年 (二十七名)

宅都宮	天谷一榮 (栃木)	秋田	本間道 (秋田)	長生	古山泰 (千葉)
東京第七	飯島俊夫 (群馬)	秋田	石田秀一 (秋田)	粕壁	石川清 (埼玉)
栃木	石塚明 (栃木)	新庄	伊藤太郎 (山形)	青森	森泉將 (青森)
喜多方	冠木順一 (鹿島)	東京第八	加藤達郎 (東京)	山形	岸陽一 (山形)
東京第五	神津康雄 (長野)	東京第四	松澤義人 (東京)	盛岡	宮川剛 (岩手)
長野	井中村正幸 (山形)	白石	石大沼丈男 (宮城)	粕壁	折原修 (埼玉)
廣岡	小島一雄 (茨城)	東京開成	柴田正中 (徳島)	寒河江	白田佐 (山形)
東京第五	須貝新 (東京)	鶴岡	高木正雄 (山形)	千葉	瀧澤俊夫 (千葉)
東京開成	渡邊晃一 (東京)	山形	山下一郎 (山形)	秋田	山崎俊秀 (秋田)

文科甲類一年 (四十名)

廣高師附	安部勳 (鳥棲)	廣布	阿部仁 (東京)	今市	相羽英郎 (栃木)
匝瑳	淺岡進 (千葉)	柏崎	商馬場鐵英 (新潟)	横濱第二	遠藤幾久彌 (福岡)
麻布	後藤康民 (東京)	東京第二	立花澤義訓 (千葉)	米澤	原田榮一 (山形)
寒河江	林部善明 (山形)	東京第三	古澤滋榮 (千葉)	栃木	五十嵐勇 (栃木)
山形	伊藤信雄 (山形)	山形	伊藤恒三 (山形)	京都第一	石田泰 (山口)

文科乙類一年 (四十名)

東京第四	石川齊 (東京)	東京第二	石川公一 (東京)	木更津	岩崎眞澄 (千葉)
仙台第二	川岸達兒 (青森)	立教	松井誠 (東京)	神戸第三	松本達藏 (兵庫)
熊谷	森三郎 (埼玉)	東京第二	村松憲久 (宮城)	宇都宮	永倉四郎 (栃木)
仙台第二	長澤厚 (新潟)	東京開成	中村快郎 (静岡)	濱松第一	中山明次 (静岡)
清水	西村正敏 (兵庫)	明治學院	大田正都 (東京)	東京第一	大谷木英夫 (東京)
京市立	坂口宗通 (東京)	豊橋	酒井文夫 (愛知)	仙台第一	嵐田治彦 (宮城)
長岡	佐藤一彌 (新潟)	沼津	澤三郎 (鳥取)	東京開成	内ヶ崎圭二郎 (宮城)
寒河江	富田秀一郎 (山形)	早稲田	梅原一系 (東京)		
東京師附	山本敬二郎 (東京)				

東京第九	萩澤良之 (福島)	豊原	堀井浩 (山形)	東京師附	北条久彌 (静岡)
東京開成	堀田亨 (東京)	酒田	福井順三 (山形)	山形	降矢時雄 (山形)
仙台第一	石崎政男 (宮城)	大館	石澤健 (山形)	東京開成	岩瀨溥 (千葉)
麻布	海津通男 (三重)	山形	神谷進 (山形)	横濱第三	熊井基彦 (静岡)
秋田	丸山健 (秋田)	函館	増田久 (愛媛)	正則	御厨文雄 (長崎)
山形	三崎武 (山形)	相馬	百井建二 (福島)	築館	門傳昌一郎 (宮城)
米澤	南雲忠臣 (山形)	東京第三	中森義隆 (三重)	東京第五	根岸恒雄 (東京)

生徒

東京第五 西村 豊 (福島) 京市立 野村 武文 (山口) 山形 奥山 宗弘 (山形)
 山形 花間 大官 莊 儀 (山形) 會 津 長田 真 (福島) 山形 太田 三男 (青森)
 東京第四 大谷 光弘 (東京) 明治學院 櫻井 廣 (東京) 山形 藤谷 芳郎 (群馬)
 京市立 菅原 時雄 (岩手) 諏訪 武井 武人 (長野) 豊 橋 田中 一成 (愛知)
 京市立 田中 車二郎 (東京) 京 城 戸田 和男 (山形) 京 城 富岡 元 (兵庫)
 東京開成 上田 元興 (大分) 宇 佐 渡邊 淳 (大分) 掛 川 山下 圓一 (静岡)
 米 澤 吉村 敬夫 (山形)

理科甲類一年一組

(四十名)

東北學院 赤川 和夫 (宮城) 佐 原 青野 邦男 (千葉) 下 妻 栗野 豊 (茨城)
 相 馬 出崎 友也 (福島) 東高師附 橋本 重輔 (鳥取) 仙台第二 廣濱 春樹 (三重)
 海 城 池野 輝夫 (東京) 東高師附 生駒 亮一 (熊本) 白 石 今里 英吉 (東京)
 山 形 岩田 秀一 (山形) 山 形 金子 常雄 (山形) 相 川 加藤 寛 (新潟)
 山 形 川村 秀夫 (山形) 東京第四 岸田 勝 (兵庫) 山 形 北 上 澄雄 (兵庫)
 仙台第一 木幡 忠夫 (福島) 千 葉 栗原 弘雄 (千葉) 東京第五 前田 三郎 (東京)
 京市立 松田 潤 (東京) 白 河 三森 光雄 (福島) 東京第八 峰 守正 (長崎)
 仙台第二 三浦 洋 (青森) 東京第一 栗山 明 (福島) 秋 田 中井 恒男 (鳥根)
 千 葉 中山 貞三 (千葉) 米 澤 仁科 盛治 (山形) 室 蘭 小橋 達男 (山形)

九〇

横濱第三 大出 貞平 (群馬) 秋 田 大石 進 (秋田) 東京第九 大島 正友 (東京)
 東京開成 大津 武通 (茨城) 日大第三 佐々木 承夫 (青森) 京市立 菅波 富龜男 (福島)
 山 形 高橋 次雄 (山形) 堺 高木 勝美 (大阪) 岩見 澤 高梨 北男 (山形)
 水 戸 山口 亨 (茨城) 函 館 藤田 和彦 (廣島) 青山學院 塚本 正文 (東京)

理科甲類一年二ノ組

(三十九名)

仙台第一 荒井 亨 (長野) 東京開成 淺間 敏雄 (山形) 成 城 芦野 芳久 (山形)
 仙台第一 瀧美 光 (宮城) 東京開成 江戸 太郎 (福井) 東京開成 五代 信作 (東京)
 秋 田 郷古 泰三 (岩手) 東京第五 法貴 六郎 (京都) 仙台第二 星 正男 (宮城)
 集 鴨 細田 寛勝 (福岡) 仙台第一 猪狩 和典 (福島) 日 本 石原 義人 (岡山)
 會 津 伊藤 八郎 (福島) 東京第五 糸賀 智男 (茨城) 仙台第二 神谷 正 (福島)
 京都第二 加納 次郎 (兵庫) 東京第五 川井 康男 (東京) 東京第六 河田 修 (埼玉)
 山 形 木村 武 (山形) 帶 廣 小林 靖三 (北海道) 旭 川 近藤 隆 (北海道)
 米 澤 松野 良悦 (福島) 東京第四 三原 正男 (廣島) 湘 南 水野 秀夫 (東京)
 湘 南 村上 枝彦 (愛知) 野付 牛 仲村 信夫 (北海道) 仙台第二 中澤 誠一 (北海道)
 東京第九 西澤 照雄 (栃木) 仙台第二 小川 恒一 (宮城) 東京第五 齋藤 泰一 (宮城)
 酒 田 清野 蔭 (山形) 仙台第二 鈴木 孝 (宮城) 仙台第一 高田 勝夫 (宮城)

生徒

九一

秋田 鷹谷信雄 (秋田) 酒田 豊田春和 (山形) 東京開成 浦野和雄 (千葉)
 柏崎 内山政亮 (新潟) 東京師附 巨理民郎 (東京) 山形 山岸勘六 (山形)

理科乙類一年 (四十名)

函館 細田勉 (長野) 米澤 安藤文郎 (山形) 東京第四原 忠雄 (愛知)
 東京第四河村正一 (岐阜) 山形 稻葉鑒 (静岡) 匝 嵯加瀬幸雄 (千葉)
 米澤 菊地茂男 (山形) 宇都宮 川島俊男 (栃木) 東京開成 貴家貞而 (千葉)
 福島 金貞憲 (岩手) 旭川 牧山友三郎 (盛岡) 千葉 葉小林丘 (千葉)
 山形 松田順皓 (山形) 京華 松生榮治 (東京) 寒河江 松田春洋 (山形)
 長岡 松浦充夫 (新潟) 仙台第二 松山信夫 (岩手) 熊谷 谷松本保三 (埼玉)
 東京第三 三谷久男 (東京) 鶴岡 三浦安信 (山形) 東京第五 御藤納孝次郎 (東京)
 旭川 沼崎修 (北海道) 東京第九 大關和雄 (栃木) 京畿 李樂毅 (朝鮮)
 東京第四 齋藤達男 (長野) 盛岡 佐藤楠郎 (岩手) 旭川 佐藤尙夫 (北海道)
 札幌第二 瀬川良二 (東京) 北佐久 豊川彌一郎 (長野) 東京第九 須藤健治 (山形)
 石巻 卷鈴木榮悦 (宮城) 東京第二 鈴木敏夫 (滋賀) 東京開成 棚橋英俊 (岐阜)
 山形 田中正 (山形) 仙台第一 和田俊宏 (宮城) 岩手 吉田順一 (岩手)
 山形 吉池裕 (山形)

二、本籍府縣別表

(昭和十四年七月一日現在)

道府縣	第三學年			第二學年			第一學年			合計
	文科	理科	計	文科	理科	計	文科	理科	計	
北海道			三			五			七	一六
青森		二	三		二	二			四	九
岩手		一	三		一	二			六	二
宮城		四	五		九	二			一四	三〇
秋田		三	八		六	九			一四	二二
山形		一四	二八		一八	三三			三七	九
福島		二	七		三	六			一四	二七
茨城		一	三		二	三			四	一〇
栃木		一	四		五	五			六	一五
群馬		一	一		三	三			三	八
埼玉		一	三		四	四			三	一〇
千葉		一	七		三	四			三	一〇
東京		四	一八		二	三			五	二四
神奈川		三	五		五	七			一	一三
新潟		二	三		三	五			一	一四
富山										
石川			一		一	一			一	二
福井					一	一			一	二
山梨		一	二		一	二			一	四
長野			二		三	五			一	一三
岐阜		一	三		二	三			二	七
靜岡		一	三		一	二			四	一
愛知			一		一	二			二	六
三重		一	一		一	二			三	六
滋賀									一	一
京都									一	一
大阪		一	二		二	三			一	五
兵庫			一		二	三			一	一〇
奈良			一						一	一
和歌山		一	一						一	一
鳥取			一						一	一
島根			一						一	一
岡山			二						二	三
廣島		一	一						二	三
山口									二	三
徳島			一						一	二
香川		一	一						一	二
愛媛									一	一
高知									一	二

文科 理科 計
 第一學年
 第二學年
 第三學年
 合計

總計	朝鮮	沖繩	鹿兒島	宮崎	大分	熊本	長崎	佐賀	福岡	高知	愛媛	香川	徳島	山口	廣島	岡山	島根	鳥取	和歌山	奈良	兵庫	大阪	京都	滋賀	三重	愛知	靜岡	岐阜	長野	山梨	福島	石川	富山	新潟	神奈川	東京	千葉	埼玉	群馬	栃木	茨城	福島	
五					一			一							一			一				一													二	三	四	一		一	一	一	二
六			一									一	一				二	一			一	一						三	一	二				一	二	一	七	三			三	二	五
二七			一		一			一				一	一		一	二	一	一	一	一	一	二					三	二	二	二		一		三	五	八	八	三	一		四	三	七
六〇																					一	二				一	一	一	二	一			二	二	二	一	二	二			一	三	
九三								一		二		一	一								二					一	一	二	三	一	一	一		三	五	二	三	二	三	五	二	三	
一五三								一		二		一	一								三	二				一	二	三	五	二	一	一		五	七	三	四	四	五	五	三	六	
八〇					二		一		一		一			二			一	一			三				二	二	四		一				三	一	一	五	五	一	一	三		四	
一二九	一		一			一	一		一			一		二	一	一	一				三	一	一	一	一	二	二	二	五		一			三		一	四	七	二	一	三	四	一〇
一九九	一		一		三	一	三		三		一		一	二	二	二	二				六	一	二	一	三	四	六	二	六		一		六	一	三	九	一	三	三	三	六	四	一四
四七九	一		三		三	一	三		三		一	一	三	三	三	三	三		一	一	一〇	五	一	一	五	六	一	七	一	四	二	二	四	七	〇	二	四	一〇	八	一	一〇	二七	

卒業生

姓名	生年	出身	職名	備考
田中 文太郎	1910	東京府	東京府立第一中学校	
山田 一郎	1911	大阪府	大阪府立第一中学校	
佐藤 三郎	1912	京都府	京都府立第一中学校	
鈴木 五郎	1913	神奈川	神奈川県立第一中学校	
高橋 文雄	1914	福岡県	福岡県立第一中学校	
中村 一郎	1915	愛知県	愛知県立第一中学校	
小林 三郎	1916	岐阜県	岐阜県立第一中学校	
渡辺 文彦	1917	長野県	長野県立第一中学校	
西村 一郎	1918	山梨県	山梨県立第一中学校	
平田 三郎	1919	静岡県	静岡県立第一中学校	
徳田 文雄	1920	滋賀県	滋賀県立第一中学校	
第一 一郎	1921	岐阜県	岐阜県立第一中学校	
第二 三郎	1922	岐阜県	岐阜県立第一中学校	
合				
計				

(昭和十四年五月一日現在)

卒業生 第一回 大正十二年

○卒業生

×印死亡

九四

第一回 百四十六名 (大正十二年卒業)

文科甲類 (三十四名)

青木 亨 (千葉)	千葉 傳一 (秋田)	遠藤 慎一 (山形)
櫻 二郎 (秋田)	芳賀 幸夫 (山形)	本間 金太郎 (山形)
市川 明 (福島)	石川 健四郎 (山形)	石渡 孝三郎 (福井)
岩崎 敏雄 (神奈川)	岩下 富藏 (栃木)	龜山 徳二 (岡山)
金子 福太郎 (神奈川)	片山 清 (香川)	木川田 一隆 (福島)
松本 敏雄 (栃木)	武藤 倭紀 (岐阜)	新開 亮助 (山形)
中田 伸直 (秋田)	中野 文助 (秋田)	細野 文男 (山形)
小野 孝 (山形)	齋藤 鐵太郎 (山形)	佐藤 俊夫 (山形)
佐藤 通次 (山形)	泉水 武夫 (東京)	×下平 忠治 (山形)
鈴木 邦光 (三重)	鈴木 貢 (福島)	鈴木 務 (宮城)
高橋 長次郎 (埼玉)	柘植 文雄 (山形)	山本 準一郎 (三重)
山崎 國孝 (山形)		

文科乙類 (三十二名)

有川 正義 (北福道)	阿藤 伊佐巳 (山形)	栗津 惠親 (秋田)
×藤 武義 (山形)	華山 親義 (山形)	原田 信雄 (山形)
池田 興五郎 (山形)	石崎 豊治 (千葉)	伊藤 儀 (山形)
河地 圓三郎 (熊本)	高後 虎男 (東京)	久米 武 (徳島)
宮崎 知己 (長崎)	×松 澤 勉 (新潟)	元藤 清明 (東京)
×元 風一雄 (千葉)	村田 幸吉 (北福道)	長尾 元一郎 (山形)
中山 高敏 (茨城)	大場 茂行 (山形)	×萩野 義雄 (京都)
大木 弘 (千葉)	太田 一郎 (岩手)	×尾崎 利兄 (東京)
佐藤 久八郎 (山形)	×柴田 正雄 (兵庫)	志賀 達 (福島)
鹿野 治助 (山形)	田中 勝藏 (秋田)	藤原 勇 (栃木)
×宇都宮 快彦 (東京)	藤田 耕 (栃木)	

理科甲類 (五十六名)

青柳 唯志 (秋田)	遠藤 士郎 (山形)	萩原 政男 (東京)
針谷 孝之 (東京)	橋本 篤四郎 (福島)	林 五郎 (東京)
林 啓助 (山形)	水上 克之 (岡山)	平澤 次郎 (東京)

九五

工	廣瀬岩吉 (山形)	農	細木 繁 (東京)	文	今泉篤男 (山形)
工	伊藤信輔 (山形)	工	岩崎規矩雄 (山形)	工	金子一次 (山形)
文	可兒虎夫 (岐阜)	工	加藤 剛治 (宮城)	農	河田 薫 (東京)
醫博、醫	河田幸一郎 (山形)	工	小泉正己 (大阪)	工	熊澤良雄 (北海道)
工	牧 實 (鹿児島)	農	丸山玄吉 (山形)	工	政木房次 (群馬)
醫博、醫	松森 明 (福井)	工	松谷榮介 (宮城)	理	三川逸郎 (秋田)
工	宮地永良 (香川)	醫	森 長秀 (東京)	工、醫	長橋富彌 (山形)
農	永野紋一郎 (山形)	工	長尾慎吾 (山形)	法	中川長藏 (山形)
工	中川平二 (新潟)	農	新開恒太郎 (山形)	醫博、醫	奥山通世 (山形)
工	齋藤 峻 (埼玉)	醫	更科兼藏 (山形)	工	佐藤周三 (秋田)
工	佐藤義勇 (山形)	理	曾井準一 (山形)	理	鈴木春雄 (山形)
理	鈴木辰雄 (山梨)	理	寺島義彦 (愛知)	工	坪井省吾 (東京)
醫	筑土邦寧 (静岡)	工	上田潤一 (新潟)	工	上田正夫 (北海道)
醫	筑土邦寧 (静岡)	工	渡部彌作 (山形)	工	矢島新作 (栃木)
醫博、醫	氏家憲介 (宮城)	農	山口保吉 (山形)	農	山崎永作 (秋田)
醫博、醫	×山鹿常吉 (山形)	醫博、醫	×山口保吉 (山形)		
醫博、醫	吉田喜司 (福島)	醫博、醫	吉田禮藏 (山形)		

理科乙類 (二十四名)

醫博、醫	阿部謙涉 (東京)	×新井定治 (埼玉)	醫博、醫	朝倉久松 (山形)	
醫博、醫	馬場貞治 (千葉)	醫博、醫	布 正 (山形)	醫博、醫	石橋 俊 (千葉)
醫博、醫	石井基一 (東京)	醫博、醫	上村忠雄 (新潟)	醫博、醫	北川芳夫 (北海道)
醫博、醫	小林 彰 (東京)	×小松 美彌太 (山形)	醫博、醫	中島信一 (富山)	
醫博、醫	中村 徹 (山形)	×西村 寛 (北海道)	醫博、醫	西野重孝 (山形)	
醫博、醫	齋藤利喜衛 (山形)	×櫻井 秀男 (山形)	醫博、醫	佐々木貞次郎 (山形)	
醫博、醫	佐藤 權三郎 (山形)	×砂田 久雄 (東京)	醫博、醫	高梨萬太郎 (山形)	
醫博、醫	武田 健次郎 (山形)	×立石 勘一 (静岡)	醫	對馬秀雄 (青森)	

第二回 百六十三名 (大正十三年三月卒業)

文科甲類 (三十六名)

文	阿部六郎 (山形)	經	青木 裕 (東京)	法	蟻川久太郎 (山形)
經	伴 深次 (東京)	×千葉二男 (宮城)	經	林 孝 (埼玉)	
文	堀井彦次郎 (滋賀)	星野清一 (東京)	經	×石川 豊治 (山形)	
文	柏倉俊三 (山形)	加藤八郎 (山形)	經	小林重男 (東京)	
法	榎島學三 (石川)	松本敬次郎 (福島)	法	松井清三 (山形)	
文	松浦健三 (山形)	丸島 誠 (千葉)	經	馬込信一 (千葉)	
經	三上壽一 (山形)	箕輪 弱之助 (山形)	法	守谷猛雄 (北海道)	

經	森 紀慶 (大阪)	法	西田 芳雄 (大阪)	經	野崎 辰雄 (福島)
法	小川 宮次 (山形)	法	大森 達雄 (東京)	法	× 三部 耕田 (山形)
文	齋藤 俊一 (東京)	法、文	白津 正 (宮城)	法	庄司 鏡剛 (山形)
法	末廣 一郎 (北關)	經	高村 謙 (東京)	文	武田 鐵五郎 (山形)
經	玉置 篤男 (東京)	經	× 戸澤 正男 (秋田)	文	渡部 清吉 (山形)

文科乙類 (三十七名)

法	安部 順一 (千葉)	文	阿部 正直 (新潟)	法	安藤 太郎 (岐阜)
法、經	安西 正夫 (千葉)	法	枝川 明雄 (秋田)	法	藤井 吉四郎 (山形)
法	古澤 孝次 (山形)	法	土方 俊次 (山形)	文	細谷 恒夫 (山形)
法	石川 正雄 (山形)	經	石川 參太 (岩手)	法	× 石坂 一 (新潟)
法	小島 保隆 (岩手)	法	工藤 貞吉 (山形)	法	× 増田 正 (栃木)
法	松尾 良之助 (兵庫)	經	松澤 太治郎 (山形)	法	× 高橋 慶造 (山形)
法	峰片 伊佐美 (福島)	法	野崎 秀幸 (福島)	法	× 高橋 忠弘 (福島)
文、法	大橋 幹男 (岐阜)	文	× 尾崎 健夫 (東京)	法	佐藤 忠弘 (福島)
法	關根 實治 (山形)	文	添野 武 (栃木)	經	高橋 春男 (山形)
法	田畑 志良 (福島)	經	武井 弘道 (埼玉)	文	田中 於菟羅 (東京)
法	豊川 武右衛門 (山形)	經	豊野 俊六 (東京)	文	土田 義和 (山形)

理科甲類 (六十一名)

文	渡邊 友次郎 (山形)	經	綿貫 浩 (山形)	經	山崎 巖 (山形)
法	横松 一七之丞 (栃木)	經		經	
醫	相蘇 瀧 (山形)	工	嵐田 周男 (山形)	工	荒川 利男 (福島)
工	土井 武夫 (山形)	農	江口 武夫 (山形)	理	原 於菟雄 (山形)
農	太田 見司 (山形)	工	今村 五郎 (滋賀)	工	池谷 治 (静岡)
工	乾 久 (東京)	工	石井 庄一 (千葉)	工	岩田 貞夫 (山形)
經	井上 勇 (秋田)	工	泉川 幸造 (秋田)	工	金森 一平 (山形)
工	金井 邦夫 (東京)	理	金澤 禮助 (秋田)	經	木下 哲男 (福井)
工	小林 夏之助 (秋田)	醫	小林 達郎 (山形)	醫	小林 武儀 (秋田)
工	黒山 恒太 (東京)	工	北村 龍夫 (高知)	經	松本 清 (栃木)
醫博、醫	× 松川 久司 (山形)	農	松田 善三郎 (岩手)	經	三浦 一 (青森)
醫	中村 三郎 (山形)	農	森 直淳 (山形)	工	中崎 正夫 (鳥取)
醫	野村 一 (青森)	工	中川 守之 (新潟)	工	内藤 勝 (北關)
工	萩原 三平 (長野)	工	新山 春雄 (山口)	工	× 藤塚 英次郎 (秋田)
工	大内 實士 (山形)	醫	小田 實二 (山形)	工	× 大谷 重男 (山形)
經		醫	× 佐藤 敏一 (山形)	醫	鎌尾 桂作 (秋田)

卒業生 第二回 大正十三年

工	榮田賢吉 (山形)	農	澁谷正健 (京都)	重野久雄 (東京)
工	藤原 勇 (北關東)	農	篠崎六郎 (愛媛)	宗 學 (福島)
工	高橋金吾 (宮城)	工	高橋泰一郎 (東京)	竹島 健 (東京)
工	武田九郎 (山形)	工	照井隆三郎 (秋田)	×土谷彦次郎 (山形)
工	渡部武三郎 (山形)	工	渡部光雄 (岐阜)	工博、工 (山口)
工	山口可吉 (宮城)	工博、醫	山口正志 (山形)	工博、工 (山口)
工	橫松 啓策 (栃木)	工博、醫	山口正志 (山形)	米國、工 依田高義 (東京)

理科乙類 (二十九名)

醫博、醫	荒井作二 (山形)	醫博、醫	船山純一 (山形)	醫	本田清吉 (山形)
醫	飯島俊雄 (埼玉)	醫博、醫	池田 徹 (山形)	醫	×神保清一郎 (山形)
醫博、醫	金内四朗 (山形)	醫	葛西直枝 (北關東)	醫博、醫	柏倉吉助 (山形)
醫博、醫	加藤錦士 (山形)	醫	川名 浩 (千葉)	文	菊地榮一 (秋田)
醫	松村光雅 (栃木)	醫	松澤英太郎 (山形)	醫	×前田 茂 (兵庫)
醫博、醫	三島 盛 (島根)	醫博、醫	三宅秀夫 (山形)	醫	村井貞寛 (山形)
醫博、醫	村木 剛太郎 (石川)	醫博、醫	長島次男 (千葉)	醫	大庭三郎 (福岡)
醫	佐々木小十郎 (宮城)	醫	佐藤千秋 (新潟)	醫	關 市彌 (山形)
醫	×曾田孝郷 (東京)	醫	鈴木良一郎 (福島)	文	高橋文雄 (秋田)

醫 山口傳太郎 (山形) 醫博、醫 米地俊一 (山形)

第三回 百五十名 (大正十四年三月卒業)

文科甲類 (三十七名)

文	阿部吉雄 (山形)	法	荒井一千 (山梨)	淺井義男 (東京)
文	藤島昌平 (三重)	文	×船木安二郎 (茨木)	古川金治 (長野)
文	布施欽吾 (千葉)	文	平岡正吉 (新潟)	神野 俊 (石川)
法	川村啓二 (山形)	經	木村 剛 (岐阜)	×清瀨豊三郎 (大阪)
文	小林 元 (群馬)	法	今野佐内 (福島)	窪田忠次郎 (長野)
文	三輪俊一 (山口)	法	×村上 勇 (山形)	中島太郎 (埼玉)
文	×中村武三郎 (東京)	法	岡村一良 (福島)	大村虎三 (千葉)
經	大友義介 (東京)	法	尖戸 元 (愛媛)	尖戸 眞策 (宮城)
經	菅野庸三 (宮城)	法	田倉秀雄 (福島)	田中多一郎 (島根)
文	富樫晃全 (山形)	文	海野幸喜 (福島)	千 清 淪 (中華)
文	山内勝貞 (東京)	法	柳瀬 博 (東京)	×金 元 奎 (朝鮮)
經	李 康 昊 (朝鮮)	法	×李 炳 郁 (朝鮮)	
法	王 英 生 (中華)	法		

卒業生 第三回 大正十四年

文科乙類 (三十二名)

法	青木辰雄 (山形)	文	土井重義 (東京)	文	後藤安久 (山形)
文	細谷辰雄 (宮城)	法	井上瀧介 (岐阜)	法	井上 彌司 (神奈川)
文	神保謙吾 (山形)	法	高後三四男 (東京)	法	近藤春義 (東京)
文	曾野第二 (岩手)	文	菅 吉夫 (山形)	法	川崎謙治 (千葉)
文	三浦紀彦 (東京)	文	百瀬乙平 (長野)	文	元木 清 (山形)
文	村田克巳 (山形)	文	長井益雄 (山形)	文	長岡 榮吉 (山形)
文	仲野 清 (山形)	文	小笠原龍哉 (秋田)	文	大槻周吉 (福島)
文	神田幸太郎 (秋田)	文	佐藤傳吉 (山形)	文	佐藤五樹 (東京)
文	佐藤新一 (山形)	文	鈴木正輔 (山形)	文	竹内淳一郎 (三重)
文	東原勝郎 (栃木)	文	探野正巳 (山形)	文	山本 寛 (東京)
文	吉田六三 (北海)	法	李 鍾元 (朝鮮)	文	

理科甲類 (五十六名)

工	阿部通金 (山形)	工	會田長次郎 (山形)	農	會田 義太郎 (山形)
工	秋山兼良 (神奈)	農、經	青柳克巳 (秋田)	工	安藤 仁 (神奈川)
工	荒木道彦 (山形)	工	後藤俊二 (山形)	經	平松 弘 (静岡)

農	井上千代太郎 (山形)	工	大伏昌治 (徳島)	農	石川輝一 (栃木)
工	柿崎武雄 (山形)	醫	龜森三津英 (山形)	經	龜山亨二 (岐阜)
理	金子 勝 (神奈川)	工、藥	金子吉雄 (東京)	農	木村 重 (茨城)
理	木村雄吉 (秋田)	理	肥沼寛一 (北海)	理	鴻巣要一郎 (茨城)
農	今野國太郎 (山形)	文	高山岩男 (山形)	農	工藤辰馬 (山形)
農	柴原健二 (新潟)	工	前田龍男 (山形)	農	前澤俊一 (福島)
法	松澤憲一 (山形)	工	宮澤吉成 (兵庫)	工	森谷市治 (山形)
醫博、醫	向笠 潜 (福岡)	工	中川 清 (東京)	工	中村 薫 (神奈川)
農	×非澤長二郎 (新潟)	工	大場龍男 (山形)	工	大江恒治 (秋田)
農	齋藤一雄 (山形)	醫	榊原喜八 (愛知)	工	佐藤愛治 (山梨)
文	佐藤幸治 (山形)	農	×澤渡貴彦 (山形)	工	瀬戸一良 (東京)
工	烏田四郎 (佐賀)	農	白田五郎 (山形)	工	高橋八郎 (宮城)
醫	高根兵憲 (福島)	工	田崎彌太郎 (山形)	醫	寺岡晋一郎 (東京)
醫	鷺尾了諦 (新潟)	農	渡邊 泉 (東京)	醫博、醫	渡邊四郎 (秋田)
醫博、醫	八木澤光孝 (福島)	工	×山形昌治 (神奈川)	工	山縣敏夫 (北海)
醫博、醫	米地 憲二 (山形)	工	吉田吉雄 (東京)	工	

理科乙類 (二十五名)

醫學	青柳司郎 (新潟)	遠藤卓夫 (山形)	富士田英三 (山形)
醫學	藤田宇三郎 (東京)	本田喜一 (福島)	本莊清 (岐阜)
醫學	石川英一 (山形)	×鹿島宗逸 (千葉)	醫博、醫官 川敬一 (岩手)
醫學	長沼潤次郎 (山形)	中村晴一 (新潟)	醫博、醫西 本源一郎 (和歌山)
文學	小木曾公 (愛知)	小澤英作 (山形)	醫博、醫尾 關彌一郎 (山形)
醫學	佐藤八四二 (大分)	×高橋泰 (山形)	文 武田直見 (福島)
醫學	×寺島尙俊 (東京)	和田淳 (茨城)	醫博、醫渡 部金太郎 (山形)
文學	山口龍夫 (山形)	吉田六郎 (奈良)	醫 吉田貞一 (福井)
醫學	林國彦 (臺灣)	(改姓) 吉田六郎 (奈良)	

第四回 百七十九名

(大正十五年三月卒業)

文科甲類 (四十三名)

經學	阿部武雄 (山形)	安孫子藤吉 (山形)	張日鼎 (朝鮮)
文學	土井光頼 (愛媛)	舟田清一 (秋田)	古川苞 (鳥取)
法學	古風儀彦 (山梨)	後藤隆吉 (秋田)	堀喬 (伊香川)

文科乙類 (三十四名)

經學	石塚勝雄 (埼玉)	伊藤寛夫 (山形)	十文字信雄 (宮城)
經學	神尾孝平 (福島)	吉元鳳 (朝鮮)	菊地野男 (愛媛)
經學	木村量平 (東京)	小泉源三郎 (千葉)	熊野可成 (東京)
經學	三浦喜代一 (北海道)	新納太郎 (徳島)	小原良 (岩手)
法學	及川四郎 (宮城)	相良男雄 (宮城)	齋藤辰男 (福島)
法學	齊藤勝 (山形)	齋藤益藏 (千葉)	齋藤辰男 (福島)
法學	坂倉延雄 (山梨)	佐々木保郎 (山形)	慎願範 (朝鮮)
法學	朱祥植 (朝鮮)	×鈴木留守一 (山形)	高島清吾 (山形)
文法	田澤古憲 (群馬)	戸川明 (東京)	東郷城一 (東京)
文法	戸倉廣 (千葉)	牛田三郎 (京都)	渡邊功 (山形)
法學	山縣桂一 (秋田)	安田録郎 (岐阜)	安田裕 (東京)
法學	金鳳成 (朝鮮)		

卒業生 第四回 大正十五年

一〇五

卒業生 第四回 大正十五年

文	文	法	文	法	文	法	文
森下 彬 (群馬)	中村 源三郎 (山形)	齊藤 清 (山形)	崎山 龍之助 (静岡)	白旗 信 (山形)	波邊 吉彌 (山形)	山口 功 (愛媛)	山中 吉之助 (茨城)
村山 義平 (山形)	西山 久二 (愛媛)	齊藤 清次郎 (山形)	櫻井 孝 (山形)	介川 武夫 (秋田)	波邊 正夫 (岡山)		
經	文	文	文	法	經	經	
×中島 源七 (宮城)	大内 宏 (茨城)	阪本 越郎 (東京)	關 義一 (山形)	×田中 喜一郎 (山形)	渡邊 隆 (山形)	權 景完 (朝鮮)	
經	文	文	文	法	法	法	

一〇六

理科甲類 (六十六名)

醫	農	醫	農	醫	農	醫	農	醫	農
青野 勝夫 (宮城)	江藤 操 (宮城)	福原 利十郎 (宮城)	平賀 芳雄 (宮城)	五十嵐 勝三 (山形)	糸井 廉夫 (京都)	加藤 市五郎 (山形)	勝又 武夫 (新潟)	小林 英一 (北海道)	國井 眞吾 (栃木)
荒川 正次 (栃木)	遠藤 重郎 (山形)	東 秀雄 (大分)	堀江 定一 (福島)	飯盛 正英 (福島)	岩野 三門 (千葉)	加藤 彌十 (山形)	川名 進一 (東京)	醫博、醫近藤 春經 (愛媛)	小山 捷 (東京)
淺黃 靖行 (山形)	藤澤 政三 (山形)	彦坂 一男 (東京)	伊藤 修 (京都)	石坂 銓 (福島)	×金子 金太郎 (東京)	×香取 不二雄 (千葉)	北村 貞一 (長野)	農工	農工
農	農	農	農	農	農	農	農	農	農

理科乙類 (三十六名)

醫	農	工	工	工	醫	工	文	工	理	工	醫		
×阿部 秋介 (山形)	東海林 安藏 (山形)	田邊 義敏 (東京)	高橋 秀雄 (秋田)	關原 勝臣 (山形)	佐藤 文一郎 (宮城)	大谷 俊雄 (静岡)	蔭合 兼夫 (宮崎)	南部 彦治 (東京)	中井 一郎 (山形)	水野 利夫 (岐阜)	黃士 弘 (中華)	國井 眞吾 (栃木)	小林 英一 (北海道)
本國 達雄 (新潟)	梅原 立日 (東京)	田中 益美 (東京)	瀧澤 道夫 (栃木)	鳥村 秋雄 (東京)	佐藤 四郎 (山形)	奥山 清作 (山形)	大井 節 (千葉)	並木 裕 (群馬)	中村 義夫 (長野)	村瀬 鐵造 (東京)	黒川 計 (茨城)	小山 捷 (東京)	醫博、醫近藤 春經 (愛媛)
醫	工	文、理	工	醫	農	工	醫	醫	工	文	農	農	農
×福田 卓爾 (埼玉)	×脇谷 義諦 (山形)	田中 勝郎 (鳥取)	玉置 喜雄 (北海道)	高野 繁 (山形)	相馬 清八郎 (山形)	齋藤 卯之吉 (山形)	大泉 桂之助 (山形)	岡本文夫 (和歌山)	中西 義雄 (千葉)	野中 健一 (愛媛)	丸山 辰夫 (兵庫)	黒岩 潔 (長野)	近藤 鉉之助 (東京)
早川 宏學 (秋田)	渡部 慎二 (山形)												

卒業生 第四回 大正十五年

一〇七

醫	星	濟綱	(福島)	醫博、醫	石	西	進	(鳥取)	醫博、醫	小林	信義	(東京)
醫	國岡	辰男	(福島)	醫	×水野	金二郎	(山形)	醫博、醫	水島	輝文	(東京)	
醫博、醫	水谷	榮夫	(岐阜)	醫	小幡	健吉	(福島)	醫博、醫	岡田	藤助	(千葉)	
理博、理	奥貫	一男	(埼玉)	醫博、醫	大森	守	(山梨)	農	大沼	成之	(山形)	
醫	李	義植	(朝鮮)	醫博、醫	坂野	信雄	(山形)	醫博、醫	笹生	菊夫	(千葉)	
醫	佐藤	久次	(福島)	醫	佐藤	辰男	(千葉)	醫	關口	篤之助	(山形)	
醫	莊野	啓司	(大分)	×鈴木	成憲	(静岡)	農	鈴木	武	(千葉)		
醫	高橋	幸喜	(宮城)	農	田中	一雄	(山形)	醫	鈴木	治	(栃木)	
醫博、醫	遠山	達三	(山形)	農	字賀村	正雄	(千葉)	農	若松	兼助	(山形)	
正	(千葉)	正	(千葉)	農	山下	健爾	(山梨)	醫博、醫	梁田	和	(山形)	

第五回 百八十六名 (昭和二年三月卒業)

文科甲類 (四十名)

文	阿部	三郎	(山形)	法	會田	昭八郎	(秋田)	文	荒井	瑞雄	(福島)
文	麻生	道雄	(宮城)	文	船橋	正直	(茨城)	法	古澤	久次郎	(山形)
×房	間	茂雄	(山形)	文	後藤	忠一	(山形)	法	林	讓	(千葉)
石川	顯	(山形)	法	石川	吉藏	(山形)	經	石野	國太郎	(神奈川)	

文科乙類 (四十一名)

文	伊藤	只人	(山形)	文	兼子	宙	(山形)	文	金子	武雄	(東京)
×佐	川	規矩之左右	(神奈川)	文	小林	道一	(栃木)	法	近藤	雅夫	(東京)
文	高山	政雄	(山形)	法	松本	速次郎	(埼玉)	法	松浦	壽一郎	(山形)
經	三輪	武	(山口)	內藤	庸男	(秋田)	×中	田	義雄	(山形)	
法	新妻	正男	(福島)	二ノ	戸	貞智	(山形)	×大	浦	新吉	(山形)
法	佐藤	明	(東京)	法	佐藤	軍七郎	(福島)	法	佐藤	登	(山形)
法	鹿野	彦吉	(山形)	經	嵐野	新一郎	(山形)	經	鈴木	正夫	(宮城)
經	鄭	善奎	(朝鮮)	法	柳	内千里	(北埼玉)	法	鈴木	正夫	(宮城)
文	内田	勲	(山形)	文	山本	林	(宮城)	經	姜	致鳳	(朝鮮)
法	王	秉鐸	(中華)	文	山本	林	(宮城)	經	姜	致鳳	(朝鮮)

法	古藤忠雄 (山形)	高在旭 (朝鮮)	松井教 (福井)
經	中蘆亥藏 (山形)	野俣好文 (新潟)	大竹真次郎 (山形)
經	大山謙一郎 (山形)	李康垓 (朝鮮)	李日駿 (山形)
經	崔中庚 (山形)	佐藤健治 (山形)	里内次郎 (東京)
經	鳥一 (山形)	鹽谷彪 (秋田)	染谷健郎 (千葉)
法	鈴木健次郎 (秋田)	高橋源太郎 (山形)	高橋金也 (山形)
法	竹内勝 (東京)	富所長夫 (新潟)	虎岩頼勝 (宮城)
經	柳美澤四郎 (東京)	文泰洙 (山形)	

理科甲類

(六十八名)

醫	安孫子榮 (埼玉)	足立久喜 (神奈川)	土肥晋一 (岡山)
工	江緒通太郎 (秋田)	鹽屋恒 (東京)	深瀬晋次 (山形)
農	古川武雄 (新潟)	古澤宗十郎 (山形)	峰須賀平太郎 (山梨)
農博、醫	×持田顯一郎 (東京)	張智宏 (茨城)	長谷川忠一 (香川)
農博、醫	橋本卷藏 (福島)	林政雄 (山形)	林義郎 (東京)
農博、醫	肥留川恒一郎 (埼玉)	飯島代三吉郎 (東京)	五百川信一 (山形)
工	菅四郎 (山形)	加藤宏 (千葉)	北原新策 (秋田)
工	熊谷富士男 (東京)	久保昌 (福島)	黒田春三 (山形)

×黄 又 開 (臺灣)

小林淳 (富山)

小松崎亮 (千葉)

工 眞本文三郎 (山形)

×丸山敏夫 (新潟)

松本平八郎 (千葉)

工 三澤元 (東京)

見須二期 (秋田)

三月見利八 (千葉)

農 持田順三 (福岡)

持田信男 (東京)

森田辰雄 (栃木)

農 沼澤一夫 (宮城)

永井勝四郎 (山形)

並木喬 (千葉)

醫 及川清人 (東京)

小川一 (岡山)

小川辰次 (山形)

醫 小俣重信 (山梨)

大里正夫 (東京)

×興津重武 (山形)

醫 ×齋藤眞平 (静岡)

齋藤健夫 (山形)

押谷七期 (滋賀)

工 ×佐々木次夫 (宮城)

里見卓郎 (山形)

志田元英 (山形)

工 清水吉一 (東京)

白石信吾 (栃木)

白崎陽吉 (山形)

農 鈴木敬三 (千葉)

高橋健三 (北海道)

×高橋健 (山形)

工 竹内一雄 (埼玉)

竹内義男 (神奈川)

飛田宣 (山形)

農 富永俊一 (東京)

和田達夫 (神奈川)

鷺田光俊 (山形)

醫 渡邊勝雄 (青森)

吉田英則 (山形)

理科乙類

(三十七名)

醫 阿野英弘 (山形)

明石貞勝 (北海道)

青木茂夫 (山形)

卒業生 第六回 昭和三年

一一二

醫	岩田 熊雄 (山形)	醫	池田 英雄 (長野)	醫	岩田 清道 (山形)
工	川崎 秀司 (山形)	醫	加島 仕郎 (埼玉)	醫	片倉 孝 (宮城)
醫	小林 龍一郎 (山形)	醫	菊地 武夫 (宮城)	醫	小松 元 (長野)
醫	松尾 正孝 (山形)	醫	宮下 幸一 (栃木)	法	小松 武雄 (北埼玉)
醫博、醫	大原 藏之助 (山形)	醫博、醫	大久保 和 (東京)	農	大森 開 (福島)
×	織戸 源吾 (千葉)	醫	齋藤 西洋 (東京)	農	作田 幸平 (千葉)
醫	佐藤 庄助 (山形)	×	志水 勝次 (秋田)	醫博、醫	進藤 文一 (佐賀)
醫	菅野 忠男 (山形)	醫	須藤 千秋 (山形)	醫博、醫	多田 慎吾 (山形)
醫	高橋 龍雄 (山形)	醫博、醫	高橋 彌富 (愛知)	×	露崎 亥之助 (千葉)
醫博、醫	山口 八郎 (神奈川)	醫博、醫	安田 忠次郎 (秋田)	醫博、醫	米地 秀三 (山形)
醫	吉田 金藏 (北海道)				

第六回 百七十六名

(昭和三年三月卒業)

文科甲類 (四十一名)

法	安部 晰 (山形)	法	安藤 一男 (東京)	法	朴 克采 (朝鮮)
法	江渡 三郎 (青森)	法	藤井 正男 (福島)	法	平尾 雅二 (東京)

經	池野 茂雄 (山形)	文	稻船 博 (山形)	法	石浦 誠武 (東京)
法	實相寺 崇文 (東京)	文	×香川 信雄 (新潟)	法	金澤 潤二 (山形)
文	加藤 忍 (静岡)	文	川村 義雄 (群馬)	法	菊地 武徳 (宮城)
文	小宮 一夫 (栃木)	法	近藤 敏三 (福島)	文	正立 敏丸 (山形)
文	増淵 恒吉 (栃木)	經	松澤 與喜雄 (山形)	經	宮下 和徳 (長野)
文	森島 光繁 (山形)	經	仲田 惇 (茨城)	經	中村 常次郎 (秋田)
文	佐久間 天良 (福島)	法	佐藤 徹一 (宮城)	文	妹尾 榮藏 (山形)
經	車 南 厦 (朝鮮)	經	島村 俊彦 (高知)	法	鈴木 菊男 (北埼玉)
文	鈴木 讓 (宮城)	法	高木 正征 (東京)	經	竹内 猛太郎 (山梨)
經	×寺門 仁 (茨城)	文	内海 義雄 (宮城)	×	山田 繁男 (山形)
經	山上 昇 (東京)	文	横山 辰次 (山形)	×	吉田 英治 (山形)
經	吉田 清 (茨城)	法	吉原 文吾 (栃木)		

文科乙類 (三十八名)

法	×阿部 茂吉 (山形)	經	足立 文治 (千葉)	法	藤田 邦之助 (福島)
法	古川 武男 (山形)	經	今泉 篤介 (山形)	法	井上文夫 (長野)
法	岩船 一男 (山形)	法	岩城 忠雄 (東京)	×	小林 兵一 (山形)
文	小林 高記 (山形)	法	牧野 英夫 (東京)	法	松本 生喜 (山梨)

卒業生 第六回 昭和三年

一一三

法	松 下 陸 郎 (静岡)	經	最 上 武 (秋田)	法	長 島 滿 (千葉)
文	中 村 男 (山形)	文	中 山 八 郎 (神戶)	法	仁 村 俊 三 (愛知)
法	野 々 村 嘆 (宮城)	法	尾 形 博 (山形)	法	小 野 巖 (岩手)
文	尾 關 文 二 郎 (山形)	經	李 泓 (朝鮮)	經	齋 藤 一 郎 (静岡)
法	佐 藤 政 雄 (山形)	法	關 根 福 貴 (埼玉)	經	關 野 吉 太 郎 (埼玉)
農	滋 谷 英 一 (新潟)	文	島 村 正 (東京)	文	菅 原 平 治 (山形)
法	鈴 木 廣 澄 (福島)	文	鈴 木 孝 夫 (静岡)	文	武 井 秀 二 (新潟)
法	田 中 時 雨 郎 (山形)	法	渡 邊 一 成 (福島)	法	山 口 弘 三 (山形)
法	横 山 重 夫 (山形)	法	馬 祥 麟 (中華)		

理科甲類

(六十五名)

理	阿 部 襄 (山形)	理	粟 野 榮 次 (山形)	工	青 山 幸 造 (山形)
工	古 市 亮 藏 (兵庫)	農	長 谷 川 八 郎 (山形)	醫	羽 田 謙 仁 (山形)
理	橋 本 克 巳 (群馬)	理	服 部 親 宏 (愛知)	工	逸 見 信 夫 (山形)
工	日 根 野 太 郎 (東京)	農	平 石 利 夫 (山形)	工	廣 澤 泰 雄 (長崎)
醫博、醫	伊 藤 敬 輔 (山形)	工	伊 藤 克 太 郎 (秋田)	農	伊 藤 茂 松 (山形)
理	伊 東 彌 自 (山形)	工	石 井 直 治 郎 (山形)	工	石 垣 悌 次 (山形)
醫	片 桐 嘉 助 (山形)	農	金 澤 源 太 郎 (山形)	工	按 貫 源 八 郎 (山形)

工	小 林 茂 (廣島)	理	小 林 新 二 郎 (宮城)	工	小 仲 太 郎 (秋田)
工	北 井 慎 爾 (東京)	工	菊 地 朝 夫 (秋田)	醫博、醫	橫 橋 精 一 (山形)
工	正 木 健 三 (秋田)	理	室 井 渡 (栃木)	工	三 輪 續 (埼玉)
工	三 澤 時 雄 (山形)	工	水 野 時 雄 (愛知)	理	門 奈 五 兵 (静岡)
工	長 田 晋 吾 (三重)	工	橋 川 廣 親 (東京)	理	中 村 武 雄 (静岡)
醫	野 村 實 (岩手)	理	能 登 山 勝 彌 (山形)	工	犬 井 田 忠 義 (東京)
工	大 川 勝 藏 (静岡)	理	岡 田 以 知 二 (千葉)	工	岡 田 正 夫 (東京)
農	大 槻 眞 (福島)	醫	大 和 田 一 男 (茨城)	法	奥 村 曉 (東京)
農	小 野 悌 (山形)	農	齋 藤 泰 治 (山形)	工	齋 藤 雄 (山形)
工	齋 藤 三 郎 (山形)	東北醫	佐 藤 兵 次 (山形)	工	椎 名 武 (山形)
農	篠 原 良 一 (群馬)	工	菅 井 金 藏 (宮城)	醫	鈴 木 勘 次 (山形)
農	高 橋 泰 彦 (山形)	工	竹 田 幸 雄 (山形)	工	富 樫 寛 (山形)
工	瀧 本 英 雄 (北海道)	醫博、醫	田 中 寛 助 (山形)	農	富 田 四 郎 (静岡)
理	豊 田 浩 七 (山形)	理	豊 島 經 世 (石川)	工	津 熊 登 (大阪)
工	若 木 望 太 郎 (山形)	醫	吉 田 三 郎 (山形)		

理科乙類

(三十二名)

醫	安 孫 子 連 四 郎 (山形)	醫	青 木 弘 (山形)	醫	古 屋 昌 夫 (山形)
卒業生 第六回 昭和三年					一一五

醫學	石塚太郎 (山形)	醫學博士	伊藤那華男 (山形)	農	神谷俊雄 (新潟)
醫學	金子喜雄 (東京)	醫學博士	加藤市松 (山形)	醫學	加藤末男 (山形)
醫學	木川俊平 (山形)	醫學	河端一雄 (新潟)	醫學	工藤藏吉 (山形)
醫學	松浦謙三 (山形)	醫學	三浦光 (栃木)	理	中山弘之 (栃木)
醫學	南波晃一 (山形)	醫學	野崎信雄 (山形)	理	及川公平 (岩手)
醫學博士	李鏡 (朝鮮)	醫學	櫻井誠 (岩手)	醫學	櫻井圓南男 (東京)
醫學	佐藤存 (群馬)	農	芝原恭一郎 (三重)	醫學	×庄司清吉 (山形)
醫學博士	谷合三代次 (埼玉)	醫學	内田佐造 (愛知)	醫學	内山信 (千葉)
醫學	渡邊敏雄 (東京)	醫學	渡部程 (福島)	醫學博士	邊部綱男 (新潟)
醫學	邊利文夫 (新潟)	醫學	橫澤吉郎 (山形)		

第七回 百五十四名

(昭和四年三月卒業)

文科甲類

(三十五名)

經濟	朝倉良夫 (群馬)	經濟	知久光四郎 (東京)	法	林重藏 (千葉)
法	平塚理 (福島)	法	星程 (福島)	×星野健之介 (山形)	
法	井上精 (兵庫)	法	伊藤仲男 (福島)	神部富太郎 (山形)	
經濟	柿崎宗顯 (秋田)	法	河野喜一 (宮崎)	河内謙治郎 (愛媛)	

文科乙類

(三十八名)

×藏田國正 (山形)	法	黑板良平 (東京)	×草刈正 (山形)
眞船清次 (福島)	經濟	宮川敏雄 (岩手)	森隆夫 (東京)
西田弘生 (長崎)	法	尾越巖 (北海道)	奥山秀雄 (山形)
大須賀糾夫 (群馬)	經濟	大友源吾 (山形)	林誠 (朝鮮)
呂昌傑 (朝鮮)	文	寒河江幸信 (山形)	佐々木醇 (宮城)
佐藤誠 (東京)	文	佐藤信保 (山形)	杉村乾 (山形)
鈴木祥造 (福島)	文	高橋數雄 (山形)	竹田玄智 (山形)
内田信夫 (栃木)	法	山根武夫 (山口)	

藍澤重遠 (新潟)	經濟	赤松靖彦 (岡山)	天野功 (福島)
板東三百 (北海道)	經濟	原勇藏 (東京)	半澤宏吉 (山形)
平元義雄 (秋田)	法	石川紀七郎 (秋田)	鋪木康夫 (東京)
貝和宗次 (山形)	法	河井胸雄 (山形)	川村英男 (山形)
菊地律郎 (山形)	經濟	小穴毅 (長野)	小島尙 (山形)
松野良宗 (福島)	法	永井三郎 (山形)	永倉良吉 (栃木)
大場正 (山形)	京文	小田丙午郎 (岩手)	小川三郎 (愛媛)
大木達夫 (福島)	法	奥山清四郎 (山形)	×小沼二郎 (秋田)

法	大浦 威 (福島)	×大坪 武彦 (山形)	佐々木 孝四郎 (山形)
法	佐藤 甚 (新潟)	澤田 三郎 (福島)	鳥田 雄次郎 (福島)
農	白幡 百治 (北海道)	土田 貞夫 (福島)	堤 文臣 (山形)
法	×浦山 富三郎 (愛知)	渡邊 茂藏 (山形)	渡利 強 (山形)
法	横山 亮藏 (山形)	桂 勳 峻 (朝鮮)	

理科甲類 (五十四名)

理	安部 亨 (山形)	嵐田 義雄 (北海道)	安齋 東太郎 (山形)
理	朝井 一男 (東京)	古矢 銳二 (東京)	深澤 吉雄 (神奈川)
理	古市 茂雄 (千葉)	半澤 朔一郎 (宮城)	橋本 綱徳 (宮城)
理	逸見 八郎 (山形)	石原 惟孝 (山形)	加藤 幸夫 (山形)
理	今野 繁 (山形)	黒須 義臣 (埼玉)	牧 豊 (鹿児島)
工	松田 義雄 (大阪)	松谷 善三 (宮城)	×三浦 勝太郎 (秋田)
農	森川 淳 (秋田)	村山 屯 (山形)	永沼 秀哉 (宮城)
農	内藤 一郎 (東京)	沼澤 靈 (宮城)	萩原 一誠 (長野)
工	小根澤 英雄 (栃木)	大沼 太吉 (宮城)	尾關 義一 (山形)
農	大原 稀雪 (東京)	恩田 重興 (茨城)	大沼 英三 (宮城)
工	坂水 弘 (岩手)	鈴木 一郎 (山形)	鈴木 行雄 (神奈川)

工	白岩 文雄 (岡山)	高橋 醇次 (宮城)	高橋 圭一 (秋田)
工	竹澤 丙午 (埼玉)	田代 知稻 (栃木)	竹内 福三郎 (群馬)
醫	戸田 正 (山形)	筒井 爲功 (東京)	鄭 淳 宅 (朝鮮)
醫	氏家 政治 (群馬)	梅津 龜男 (山形)	白杵 健二郎 (新潟)
工	和田 善巳 (山形)	渡利 宏平 (山形)	亘理 俊次 (兵庫)
農	家後 定一 (東京)	山田 清作 (山形)	山口 眞守 (宮城)
農	山本 英喜 (静岡)	八柳 三郎 (秋田)	吉田 渡 (群馬)

理科乙類 (二十七名)

醫	猪股 傳二郎 (宮城)	農	金井 恒夫 (東京)	醫	菅野 千秋 (福島)
醫	小泉 四郎 (岩手)	醫	國保 近 (栃木)	醫	荻野 義信 (栃木)
醫	國井 勝夫 (山形)	醫	前川 廣光 (北海道)	醫	馬島 潔 (東京)
醫	中村 健治 (山形)	農	小野 啓介 (岩手)	醫	齋藤 宏 (福島)
醫	酒井 清周 (福島)	醫	佐藤 平治郎 (山形)	農	清水 義雄 (山形)
農	篠原 稔 (愛媛)	醫	白崎 重彌 (山形)	醫	末松 富士郎 (山形)
醫	須藤 克巳 (神奈川)	醫	鈴木 光三 (宮城)	醫	種部 三郎 (山形)
醫	谷 正明 (山形)	醫	上野 武治 (栃木)	醫	宇賀神 俊次 (栃木)
工	吉澤 幸雄 (秋田)	醫	善積 準平 (宮城)	農	白 東 煒 (朝鮮)

119

第八回 百八十名

(昭和五年三月卒業)

文科甲類 (三十七名)

赤塚 亘三郎 (山形)	法	朴 舜 淳 (朝鮮)	經	速藤 正義 (宮城)
藤村 昌 (東京)	法	X濱田 三男 (山形)	經	橋本 圭吉 (青森)
平井 太郎 (東京)	經	平野 秀一郎 (茨城)	經	廣澤 信之助 (神戶)
岩瀬 繁一 (愛知)	文	巖谷 榮二 (東京)	法	神谷 秀夫 (京都)
笠井 貞男 (山梨)	文	甲能 久 (東京)	法	國井 廣四 (山形)
國井 佛二 (山形)	文	松永 謙 敏 (愛知)	文	宮内 秀雄 (靜岡)
永井 一 (京都)	法	成瀬 清 (栃木)	法	大場 一夫 (北浦)
岡崎 正彦 (岡山)	法	小野田 慶司 (山形)	法	崔 充 銓 (朝鮮)
坂本 稻太郎 (秋田)	法	X三瓶 文吾 (福島)	經	佐々木 勝五郎 (秋田)
佐々木 俊光 (宮城)	經	佐藤 正吉 (千葉)	經	佐藤 泉 明 (福島)
清水 清 (新潟)	東北法文	鈴木 宣三 (千葉)	經	富田 積 (山形)
津田 雄三郎 (京都)	法	浮田 昭家 (東京)	法	浦山 武一 (宮城)
矢野 新 (愛媛)	法			

文科乙類 (三十八名)

阿部 秀夫 (福岡)	文	藤井 泓 (山形)	文	日暮 臺雄 (北浦)
本田 康藏 (福島)	法	堀 嘉一 (長野)	文	細谷 清一 (山形)
五十嵐 昭夫 (新潟)	法	池田 彌六 (千葉)	經	石渡 健一 (千葉)
石澤 三郎 (北浦)	文	春日 眞吾 (宮城)	京經	X粕谷 務 (新潟)
川村 悟一 (岩手)	法	前田 次郎 (愛知)	法	牧野 鏡 (福井)
松井 懷美 (福岡)	法	松田 茂治郎 (山形)	法	松坂 二郎 (山形)
X三浦 滿作 (北浦)	法	村井 七郎 (山形)	文	長澤 俊雄 (山形)
中村 宏 (東京)	文	岡部 實城 (福島)	法	大類 市郎 (山形)
X大島 武雄 (宮城)	法	李 壽 鎔 (朝鮮)	法	李 相 稷 (朝鮮)
齋藤 榮治 (山形)	文	佐々木 彪 (福島)	經	佐々木 義武 (秋田)
佐藤 隆輔 (山形)	文	菅原 政行 (奈良)	法	鈴木 節三 (長野)
高松 貞治 (大阪)	法	田島 稻城 (福島)	法	上野 英彦 (大阪)
脇本 勤次 (神戶)	經	吉田 敬助 (青森)	法	

理科甲類 (六十七名)

淺黄 由喜雄 (山形)	醫	雨貝 謙吾 (茨城)	農	荒尾 茂 (山形)
千葉 高志 (宮城)	醫	太宰 六郎 (宮城)	理	江面 芳郎 (栃木)
船山 孝輔 (山形)	理	藤本 芳 (北浦)	工	廣瀬 定治 (山形)

工	長谷川 利郎 (岐阜)	工	橋元 容太郎 (東京)	工	服部 義郎 (愛知)
農	平野 浩一 (岩手)	工	飯田 正男 (栃木)	工	伊倉 伊三美 (福島)
工	石川 東太郎 (岩手)	醫	伊藤 喜一郎 (山形)	工	入江 泰 石川
工	石垣 喜八郎 (宮城)	工	石川 浩二 (山形)	醫	金光 龍若 (秋田)
工	加藤 金正 (宮城)	工	加藤 次男 (岩手)	醫	高坂 英五郎 (秋田)
醫	兒玉 良三 (秋田)	工	小山 信夫 (東京)	工	鞍馬 壽雄 (愛知)
醫	春日 悅司 (長野)	醫	加藤 邦五郎 (秋田)	工	川合 貞夫 (北海道)
醫	近藤 義夫 (秋田)	醫	黒澤 辰雄 (秋田)	理	松澤 甚壽 (長野)
理	眞島 眞澄 (新潟)	醫	長町 一雄 (香川)	工	内藤 綠郎 (宮城)
理	根木 和 (茨城)	工	西 邦之助 (東京)	農	長橋 市次 (山形)
工	仁木 盛雄 (長野)	農	西宮 一 (秋田)	農	西山 義雄 (山形)
工	大泉 正雄 (宮城)	農	奥野 健三郎 (和歌山)	農	大島 康男 (栃木)
工	岡村 勝男 (群馬)	理	太田 操作 (宮城)	理	佐藤 義雄 (福島)
工	白木 小二郎 (秋田)	理	齋藤 吉之助 (福島)	醫	齋藤 喜一郎 (福島)
農	坂野 六郎 (山形)	理	佐々木 六郎 (岩手)	理	莊司 篤 (宮城)
農	鈴木 桂三 (山形)	工	鈴木 倫 (東京)	工	多田 義雄 (新潟)
理	高田 秀次 (北海道)	工	高澤 猛 (宮城)	工	田中 辰也 (山形)
理	東間 重倫 (新潟)	工	土田 幸雄 (山形)	工	山田 慎治 (新潟)

理科乙類 (三十八名)

理	和田 信明 (徳島)	工	矢野 達夫 (長野)	工	吉田 尙 (東京)
理	山浦 初男 (長野)	工	相澤 隆一 (宮城)	醫	蟻川 忠藏 (山形)
醫	會田 宏一 (山形)	醫	遠藤 尙義 (宮城)	醫	藤原 慶一郎 (秋田)
醫	遠藤 正俊 (秋田)	醫	芳賀 圭吾 (秋田)	醫	袴田 三郎 (東京)
醫	藤井 孝行 (福井)	醫	菱沼 達也 (山形)	醫	×飯川 豊 (宮城)
醫	樋口 隆一 (山形)	東農	鎌倉 勝夫 (山形)	醫	柏倉 橋郎 (山形)
醫	利部 徳正 (秋田)	醫	片倉 義夫 (宮城)	醫	川上 平太郎 (山形)
醫	片桐 金七 (山形)	農	川俣 浩 (栃木)	農	木戸 三夫 (山形)
經	川上 歸一 (岡山)	農	今野 形太郎 (山形)	農	前田 寛 (山形)
醫	小室 俊郎 (秋田)	醫	小笠原 嶺三 (山形)	經	小倉 加久雄 (和歌山)
醫	村上 政雄 (北海道)	醫	大瀨 市右衛門 (新潟)	醫	齋藤 秀樹 (千葉)
農	大氣 壽郎 (愛媛)	醫	佐藤 悦郎 (岩手)	經	鈴木 重藏 (新潟)
農	佐々木 賢 (秋田)	文	照井 豊 (岩手)	醫	宇田川 藤安 (東京)
農	丹野 重郎 (宮崎)	長崎	長崎 應 洙 (朝鮮)		
工	安村 二郎 (山口)	法	崔 應 洙 (朝鮮)		

第九回 百八十名

(昭和六年三月卒業)

文科甲類 (三十九名)

法	原田正志 (山形)	飛田徳三 (廣島)	堀口清 (岐阜)	法	井上昇三 (山形)	石垣鴻太郎 (山形)	伊藤正彦 (山形)	法	伊藤正盛 (三重)	岩崎豊明 (福島)	冠木市郎 (福島)	文	菅野直義 (福島)	川俣正巳 (栃木)	金野治 (朝鮮)	文	×清川道比古 (千葉)	松井仁雄 (福井)	三上三雄 (山形)	文	三上彰次郎 (青森)	長瀬竹太郎 (山形)	×中島三雄 (山梨)	法	岡田義美 (東京)	奥山敏夫 (千葉)	大道正 (京都)	法	×大島浩藏 (秋田)	太田常藏 (山形)	酒井森之介 (東京)	法	坂水力 (岩手)	添田喜孝 (福島)	反町健次 (群馬)	法	杉江健一 (石川)	鈴木一郎 (千葉)	鈴木陽平 (愛知)	法、東文	鈴木芳郎 (山形)	高橋長夫 (山形)	竹内庸助 (秋田)	法	歌川浩 (山形)	×渡邊龜治郎 (山形)	安田謙吾 (宮城)	法	保井二郎 (奈良)	油野鶴一 (愛媛)	金致王 (朝鮮)
---	-----------	-----------	----------	---	-----------	------------	-----------	---	-----------	-----------	-----------	---	-----------	-----------	----------	---	-------------	-----------	-----------	---	------------	------------	------------	---	-----------	-----------	----------	---	------------	-----------	------------	---	----------	-----------	-----------	---	-----------	-----------	-----------	------	-----------	-----------	-----------	---	----------	-------------	-----------	---	-----------	-----------	----------

文科乙類 (三十四名)

文	荒田新吾 (青森)	原賢一 (長野)	日澤誠一 (岩手)	法	本間博 (新潟)	星野順一 (山形)	今田二郎 (福島)	經	岩淵醇一 (岩手)	慶松光雄 (京都)	河面信雄 (茨城)	文	×熊坂謙藏 (宮城)	松坂利助 (新潟)	森弘義 (富山)	文	三須秀藏 (山形)	中村定治 (山形)	丹羽定一 (山形)	文	野村廣吉 (山形)	小島俊作 (群馬)	岡田在輔 (埼玉)	經	佐伯佑 (岩手)	佐藤慶一 (山形)	佐藤眞策 (山形)	文	×渡谷四郎 (山形)	鈴木重藏 (山形)	×鈴木健一 (新潟)	法	武田昌一 (山形)	玉置太郎 (東京)	田中徳藏 (山形)	法	豐川徳治 (山形)	塚原主計 (山形)	渡邊一男 (山形)	法	安田安助 (山形)	安原量 (埼玉)	吉池治郎 (山形)	經	安乘哲 (朝鮮)		
---	-----------	----------	-----------	---	----------	-----------	-----------	---	-----------	-----------	-----------	---	------------	-----------	----------	---	-----------	-----------	-----------	---	-----------	-----------	-----------	---	----------	-----------	-----------	---	------------	-----------	------------	---	-----------	-----------	-----------	---	-----------	-----------	-----------	---	-----------	----------	-----------	---	----------	--	--

理科甲類 (六十六名)

工	阿部元志 (山形)	青木清 (群馬)	淺川康光 (福島)	農	関心鉉 (朝鮮)	馬場賢 (栃木)	藤井啓一郎 (徳島)	醫	五島洋 (東京)	濱田榮一 (宮城)	×平野喬治 (兵庫)	工	萩原正雄 (東京)	中田俊文 (山形)	五十嵐三郎 (福島)
---	-----------	----------	-----------	---	----------	----------	------------	---	----------	-----------	------------	---	-----------	-----------	------------

卒業生 第十回 昭和七年

東運	黒沼 榮一 (山形)	工	川本 一郎 (群馬)	醫	小泉 盛雄 (山形)
經	近藤 啓四郎 (東京)	工	今野 正七 (山形)	法	栗林 光夫 (静岡)
醫	黒山 眞吾 (東京)	工	宮坂 重俊 (長野)	農	武川 伸五郎 (東京)
農	村井 金太郎 (岩手)	醫	松野 尾勝平 (山形)	工	内藤 正之 (岡山)
工	直江 晴男 (東京)	理	仁科 仁 (山形)	農	落合 豊二 (山形)
農	小原 貞二 (千葉)	工	岡 胖 (宮城)	醫	大國 輝成 (山形)
醫	大友 正 (山形)	新潟醫	瀨戸 英太郎 (群馬)	農	白幡 克二 (山形)
農	朱 洙 英 (朝鮮)	醫	佐藤 義雄 (福島)	法	佐藤 幸六 (山形)
農	鈴木 啓 (静岡)	醫	月原 正夫 (千葉)	農	玉城 剛 (宮城)
農	渡邊 英一 (山形)	醫	渡邊 一男 (新潟)	農	山本 健一郎 (京都)
農	山下 太助 (秋田)	工	米持 春夫 (新潟)		

理科乙類 (三十三名)

京醫	阿部 順一 (東京)	醫	赤松 二郎 (東京)	醫	青木 信雄 (東京)
理	荒田 孝明 (東京)	醫	馬場 四郎 (東京)	理	朴 勝 (朝鮮)
醫	長谷川 昇 (山形)	醫	森 正氏 (福島)	農	島山 靖夫 (秋田)
醫	井上 貞吉 (山形)	醫	神村 輝吉 (静岡)	醫	北村 正一 (北陸)
醫	幸田 恒一 (新潟)	醫	小池 輝一 (北陸)	醫	小島 武雄 (宮城)
工	倉知 儀 (静岡)	阪大醫	桑ヶ谷 勇藏 (岐阜)	醫	森谷 正男 (山形)
醫	中西 不二夫 (秋田)	醫	中里 恒夫 (山形)	東醫	大江 尙美 (山形)
醫	小笠原 勝雄 (石川)	理	小倉 安之 (千葉)	醫	岡田 泰衛 (山形)
醫	奥山 正次 (山形)	醫	大澤 茂樹 (千葉)	醫	佐藤 千丈 (新潟)
醫	志賀 六郎 (福島)	醫	高橋 實 (福島)	醫	武田 慶治 (山形)
法	浦山 恒男 (山形)	醫	宇都野 邦彌 (群馬)	醫	吉田 孝藏 (山形)

第十一回 百六十五名 (昭和八年三月卒業)

文科甲類 (三十一名)

法	×安孫子 善治 (山形)	文	荒井 善男 (福島)	東北法文	衣斐 正香 (東京)
法	平野 章 (千葉)	法	五十嵐 配 (山形)	文	池田 長五郎 (秋田)
經	伊藤 龜喜 (東京)	經	伊藤 正彌 (山形)	法	石上 通衛 (千葉)
法	笠間 秀雄 (埼玉)	京經	北澤 仁 (山形)	京經	小島 豊 (群馬)
東文	小寺 春夫 (福島)	東經	栗本 一雄 (東京)	文	黒坂 八十二 (千葉)
文	眞島 進 (新潟)	經	内藤 政次郎 (山形)	經	野村 茂正 (山形)
東北法文	大久保 利一 (山形)	法	太田 政知 (山形)	法	佐藤 正秋 (山形)
法	鹽田 孝司 (群馬)	法	鈴木 千代壽 (山形)	經	竹内 隆 (秋田)

卒業生 第十一回 昭和八年

一三一

卒業生 第十一回 昭和八年

丹野 孝一 (山形) 法 上木 金之榮 (福井) 經 渡邊 卓夫 (山梨) 一三二

山川 千代松 (山形) 東北法文 山國 保廣 (山形) 經 山澤 勝弘 (山形)

横尾 彌二郎 (山形)

文科乙類 (三十九名)

×阿部 康一 (山形) 文 遠藤 修平 (山形) 法 伊藤 宏道 (山形)

伊藤 滿壽一 (山口) 文 伊藤 太平 (栃木) 法 飯泉 四郎 (茨城)

井上 邦夫 (山形) 法 加藤 稠 (宮城) 文 小林 通雄 (東京)

小林 武彦 (青森) 法 小林 東助 (山形) 東北法文 小島 勉 (東京)

工藤 久吉 (青森) 法 熊谷 幸博 (長野) 法 國井 成一 (山形)

松田 茂藏 (山形) 法 松田 太刀雄 (熊本) 法 永田 傳 (岡山)

中村 光三 (宮城) 東經 中村 彦四郎 (秋田) 法 沼澤 多喜夫 (山形)

奥山 喜久治 (山形) 法 奥山 勇治 (山形) 文 小野寺 通典 (岩手)

齋藤 悟郎 (山形) 法 齋藤 萬太郎 (山形) 法 佐藤 元樹 (東京)

佐藤 興一郎 (山形) 文 島村 貴郎 (埼玉) 法 下村 清英 (茨城)

白石 辰雄 (山形) 法 鈴木 達男 (山形) 文 高野 徹 (北海道)

武井 光次 (群馬) 法 頼宮 肇 (大分) 經 高野 隆 (山形)

我妻 貞一 (山形) 文 渡邊 達吉 (山形) 文 渡邊 恒雄 (福島)

理科甲類 (五十九名)

旭 鶴次郎 (山形) 醫 阿達 芳兼 (山形) 醫 會澤 太伸 (茨城)

荒木 忠 (山形) 工 藤井 愛三 (秋田) 醫 島山 正男 (秋田)

原田 秀雄 (山形) 新潟醫 長谷川 四郎 (千葉) 農 橋本 光三 (山形)

平野 晶 (千葉) 醫 堀 詮之助 (富山) 農 星野 修一 (山形)

保倉 邦彦 (新潟) 理 本間 正雄 (神戶) 醫 細谷 憲一 (山形)

井田 道三郎 (山形) 工 生島 靜夫 (福岡) 農 井上 勝英 (東京)

入江 明 (東京) 工 伊藤 卓爾 (千葉) 醫 飯野 太郎 (山形)

石崎 清松 (千葉) 理 木村 正 (秋田) 理 木村 義弘 (佐賀)

香川 香三郎 (山形) 工 川口 雄 (三重) 東北醫 小林 義亮 (東京)

工藤 宗兵衛 (山形) 醫 楠 正久 (東京) 農 前田 豊 (山形)

森田 茂治 (山形) 東北醫 牧田 一雄 (山形) 工 牧田 直己 (靜岡)

奈良原 慎次 (埼玉) 工 南 忠恒 (奈良) 農 室谷 敏彦 (北海道)

中村 成勝 (東京) 醫 西村 亨 (山形) 理 荻野 七郎 (山形)

小野 金藏 (福島) 醫 岡田 士郎 (千葉) 工 大竹 榮三郎 (山形)

佐山 他次郎 (山形) 醫 ×鳥崎 健造 (東京) 農 ×習田 強 (京都)

坂本 彌次郎 (秋田) 醫 坂野 彌 (山形) 農 櫻井 敏夫 (東京)

卒業生 第十一回 昭和八年 一三三

卒業生 第十一回 昭和八年

工	多田 嘉之助 (福島)	農	岡山 賢竹 田邊 男 (京都)	理	山崎 功 (岩手)
農	田中 實 (東京)	農	田口 五百治 (秋田)	工	竹内 六郎 (山形)
京工	藤條 智三 (山形)	理	渡邊 正之 (北福島)	工	玉井 篤 (香川)
理	山岡 久平 (山形)	理	山崎 功 (岩手)	東工	矢吹 和夫 (廣島)

理科乙類 (三十六名)

醫	安孫子 和男 (山形)	醫	相澤 八郎 (山形)	醫	青木 正矩 (山形)
醫	鮎川 善一郎 (福島)	醫	花津谷 啓二郎 (秋田)	醫	林 翠 (和歌山)
星野 好治郎 (山形)	東北醫	石井 鶴藏 (山形)	醫	金澤 正 (山形)	
川 俣 瑞男 (栃木)	醫	菊地 豪 (山形)	醫	木内 櫻郎 (秋田)	
日下 千太郎 (宮城)	理	松島 利男 (東京)	醫	木野 秀一 (北福島)	
熊本醫	長倉 六郎 (静岡)	理	内藤 晃 (山形)	醫	仲野 一 (山形)
東北醫	中澤 仁 (群馬)	新潟醫	新野 新一 (山形)	醫	大坪 不二男 (山形)
坂田 節夫 (岩手)	醫	佐々木 一夫 (岩手)	醫	新波 八郎 (山形)	
鈴木 武一郎 (山形)	醫	高橋 一 (山形)	醫	高橋 幸次 (新潟)	
高橋 正治郎 (山形)	醫	戸田 正二郎 (山形)	醫	田島 和夫 (群馬)	
東海林 正美 (山形)	農	土佐林 豊成 (山形)	醫	土屋 隆義 (東京)	
内久根 武 (長野)	農	歌川 十郎 (山形)	新潟醫	吉澤 良平 (栃木)	

第十二回 百五十九名 (昭和九年三月卒業)

文科甲類 (三十一名)

京文	深町 正夫 (石川)	經	服部 一郎 (静岡)	京經	早川 正輝 (東京)
法	土方 達大 (山形)	經	本間 久策 (北福島)	法	今泉 誠 (山形)
法	石塚 庸三 (茨城)	法	飯垣 正雄 (山形)	法	上岡 恕雄 (東京)
加藤 市吉 (山形)	法	川口 乾之助 (三重)	經	木村 有恒 (山形)	
今野 武 (山形)	經	久保 一郎 (埼玉)	文	綠川 傳作 (福島)	
水戸 富士夫 (山形)	法	三井 正美 (宮城)	法	内藤 直正 (山形)	
小田 徹 (北福島)	京法	岡田 寛美 (東京)	法	大國 實 (山形)	
齋藤 嘉久 (福島)	經	佐原 宏 (山形)	法	澁谷 富壽雄 (山形)	
庄司 善助 (山形)	經	鈴木 俊美 (山形)	法	高橋 長吉 (山形)	
武田 豊 (宮城)	經	土屋 保男 (山形)	法	和田 新一郎 (群馬)	
山川 力 (山形)	經		法		

文科乙類 (三十五名)

法	荒井 清一 (山形)	法	齋木 正三 (福島)	長南 忠次郎 (山形)
卒業生 第十二回 昭和九年				一三五

文	松野良光 (山形)	橋本長康 (秋田)	東北法文	本多末吉 (新潟)
京經	石川清一 (群馬)	爲郷恒淳 (栃木)	法	印藤一雄 (北埼玉)
東北法文	岩崎年男 (福島)	神谷亞夫 (京都)	文	菊地壬子郎 (秋田)
文	喜多秀義 (奈良)	小平誠 (長野)	文	高山保則 (山形)
文	久野修 (愛知)	黒谷正一 (山形)	文	三浦瀧 (群馬)
法	茂木太一 (山形)	諸橋隆典 (新潟)	法	村田澄夫 (北埼玉)
法	仁科五郎 (山形)	新關正一 (山形)	法	岡正三郎 (秋田)
東北法文	大山謙介 (宮城)	關虎雄 (山形)	法	志賀正二 (福島)
京經	高橋久雄 (秋田)	富木善一郎 (秋田)	法	宇ノ澤智雄 (千葉)
法	和田芳雄 (山形)	横尾精雄 (山形)	神戶商	吉田信一 (埼玉)
法	吉田三郎 (東京)	吉武宗久 (大阪)		

理科甲類

(六十名)

京工	阿部勇祐 (山形)	×青山莊二 (山形)	工	長素連 (静岡)
農	遠藤三正 (東京)	藤谷啓 (栃木)	東工	八田敬敏 (熊本)
新潟醫	林 (千葉)	畑田平治 (群馬)	醫	本堂五郎 (東京)
東北法文	飯淵佛夫 (宮城)	飯川寧 (宮城)	工	板垣正作 (山形)
東北醫	猪狩統一 (岩手)	岩淵正元 (岩手)	東北醫	岩淵憲次郎 (岩手)

理科乙類

(三十三名)

京理	龜山亨 (宮城)	金子勇一 (群馬)	工	金谷浩夫 (山形)
東北工	河野哲夫 (愛媛)	古知貞 (静岡)	工	小松茂紀 (兵庫)
醫	菊地勉 (山形)	熊田俊男 (福島)	理	久米庸孝 (佐賀)
京農	木村高偉 (茨城)	北原讓三 (秋田)	長崎醫	松島正雄 (東京)
九工	三澤康 (山梨)	宮坂壽二 (長野)	理	宮地忠 (山形)
東北工	道下時一 (群馬)	水谷諭吉 (東京)	農	内藤正 (山梨)
醫	長田欽也 (三重)	中村文平 (栃木)	工	中澤信夫 (宮城)
工	中ノ目茂 (宮城)	大谷武雄 (福島)	醫	小片重男 (群馬)
京農	小田柿浩三 (滋賀)	小淵松司 (群馬)	工	岡村博 (山口)
慶應醫	奥山晋 (東京)	齋藤仁作 (埼玉)	東農	志田俊彦 (山形)
農	鈴木忠藏 (埼玉)	鈴木吉太郎 (山形)	醫	鈴木眞一 (福島)
阪大工	鈴木長生 (山形)	瀨谷克巳 (福島)	醫	新橋弘毅 (茨城)
工	高橋長生 (山形)	田中正夫 (岩手)	京工	德力三藏 (宮城)
醫	鶴見勇馬 (東京)	宇留野勝正 (山形)	工	和田寛雄 (東京)
醫	山瀬馨 (東京)	山崎丈三 (新潟)	北大工	結城玄藏 (東京)

東北醫 阿部達次 (新潟) 農 秋草司 (群馬) 京農 青木雄 (京都)

卒業生 第十二回 昭和九年 一三七

京醫	深瀬政市 (山形)	醫	廣谷常治 (山形)	醫	石川文 (山形)
東北醫	加藤正二 (神奈川)	醫	河村俊 (静岡)	醫	河村正美 (山形)
工	川内益信 (福岡)	金澤醫	小林清夫 (神奈川)	東北醫	近藤弘 (神奈川)
工	公莊惟成 (京都)	醫	松尾貞三 (廣島)	醫	森末恒三 (北埼玉)
東北醫	根鈴齊史 (鳥取)	農	二瓶信 (福島)	醫	岡部豐作 (栃木)
東北醫	大辻祐太郎 (北埼玉)	工	坂部政夫 (山形)	東北醫	佐藤潔 (秋田)
新潟醫	佐藤登 (山形)	理	進藤吉三郎 (山形)	醫	篠塚修之 (千葉)
千葉醫	白井忠臣 (山形)	醫	庄司洋 (山形)	東北醫	鈴木芳男 (山形)
醫	田中芳夫 (山形)	東北醫	梅津治三郎 (山形)	阪大工	梅浦秀四郎 (群馬)
醫	八木義郎 (岩手)	東醫	矢尾板孝一 (山形)	醫	渡邊英敏 (宮城)

第十三回 百五十名

(昭和十年三月卒業)

文科甲類

(二十七名)

法	安藤信夫 (秋田)	文	丸藤厚策 (山形)	法	五十嵐正一 (山形)
文	池田博 (東京)	×神谷	正 (山形)	經	川瀨弘 (山形)
京法	松本隆二 (千葉)	京經	最上幸久 (長野)	東法	長塚晴光 (山形)
經	仁平久俊 (秋田)	東經	野間虎男 (鹿児島)	法	沼正也 (東京)

文科乙類

(二十八名)

×岡田	捨克 (北埼玉)	文	齋藤恒之助 (山形)	法	佐藤八郎 (山形)
京文	佐藤長 (宮城)	東經	佐藤利清 (山形)	東經	鈴木正巳 (山形)
法	鈴木定三 (山形)	法	鈴木恒雄 (東京)	東文	高橋保 (山形)
文	武島嘉正 (山口)	法	土田正二 (新潟)	文	渡部晶 (東京)
文、京經	渡邊利郎 (北埼玉)	文	渡邊次男 (山形)	經	山田信雄 (福島)
法	×明石源七 (山形)	法	秋葉秀次 (山形)	法	荒木修一 (山形)
法	朝倉久 (山形)	京法	福島秀夫 (福島)	文	羽賀良一 (山形)
經	半澤十四男 (宮城)	經	平林富 (山形)	法	本間泰 (新潟)
法	伊藤喜代治 (山形)	文	角張東洲 (山形)	京文	木村正三 (秋田)
文	小池一郎 (福島)	法	前田美好 (東部)	京經	松岡博 (埼玉)
京法	百井一郎 (福島)	法	小幡常夫 (山形)	東北法文	大場維一郎 (山形)
法	齋恒男 (宮城)	東經	佐藤正泰 (山形)	法	鈴木清弘 (北埼玉)
法	鈴木武一 (山形)	東北法文	高橋正 (山形)	東北法文	高橋剛 (福島)
經	高和真 (茨城)	京經	立石謙二 (岡山)	東文	塚本天英 (山形)
東北法文	山岸重信 (新潟)				

理科甲類 (六十六名)

工	安部 喜久雄 (東京)	北大工	荒井 司 (東京)	阪大工	會田 豊作 (東京)
農本醫	江澤 得二 (千葉)	千葉醫	藤平 健 (栃木)	醫	吳 錫胤 (臺灣)
醫	日野 政之助 (宮城)	醫	稻垣 二郎 (愛知)	京工	衣斐 敏夫 (東京)
工	伊藤 武彦 (北海道)	醫	加賀美 四郎 (山形)	醫	神山 雅夫 (栃木)
農	鏡 逸雄 (山形)	醫	金山 三喜雄 (山形)	東北理	金 森 巖 (和歌山)
東北法文	加藤 省己 (福島)	醫	小林 巖 (山梨)	工	小林 勉 (佐賀)
理	今田 章三 (山形)	工	木野村 大三 (神奈川)	早稻田工	草野 良一 (福島)
工	工藤 哲夫 (山形)	法	熊谷 林三 (東京)	京工	村松 博 (神奈川)
阪大工	松本 永二 (青森)	理	皆川 信彌 (山形)	農	茂木 茂三 (群馬)
東北醫	内藤 武 (山形)	金澤醫	長濱 重雄 (石川)	農	中野 友典 (岩手)
阪大理	中島 正明 (山形)	醫	中島 泰 (山形)	農	日塔 正俊 (山形)
東工	小原 俊作 (秋田)	醫	小俣 次郎 (山梨)	東北醫	大泉 壯 (宮城)
農	大江 賢太郎 (埼玉)	醫	×大森 慶四郎 (東京)	京醫	岡田 一雄 (山形)
農	岡崎 象次郎 (山形)	醫	齋藤 徳夫 (山形)	新潟醫	齋藤 幸男 (埼玉)
京理	齋藤 信一 (山形)	東北理	齋藤 壽男 (栃木)	東北醫	齋藤 正 (埼玉)
京工	坂井 源四郎 (青森)	工	坂口 松也 (山形)	東北醫	佐藤 勇 (山形)

理科乙類 (二十九名)

東北醫	佐藤 浩 (山形)	藥	笹川 義郎 (東京)	醫	篠原 健一 (兵庫)
千葉醫	篠崎 幸一 (千葉)	理	完戸 俊助 (山形)	東北醫	鈴木 義孝 (千葉)
東北工	鈴木 弓俊 (山形)	理	東海林 浩太 (山形)	東北醫	高橋 金彌 (山形)
京工	高橋 博 (山形)	工	高倉 幹夫 (福島)	醫	富永 良一 (新潟)
農	竹花 秀太郎 (京都)	醫	塚原 逸平 (長野)	京農	和氣 洋 (栃木)
醫	山内 明 (北海道)	工	山口 忠 (東京)	醫	山本 正徳 (新潟)
東農	阿部 弘 (宮崎)	新潟醫	有坂 恭三 (秋田)	醫	細谷 玄太郎 (山形)
農	井上 桂 (東京)	工	石原 義博 (岡山)	金澤醫	伊藤 勝郎 (宮城)
東醫	伊藤 光治 (山形)	醫	和泉 昇次郎 (山形)	理	加藤 邦夫 (宮城)
醫	川越 不二男 (廣島)	醫	小林 茂夫 (山形)	東北醫	工藤 俊平 (山形)
金澤醫	松田 直也 (山形)	醫	松田 玉樹 (廣島)	東農	箕山 景三 (山梨)
千葉醫	水野 健司 (千葉)	東農	水野 重正 (東京)	醫	村山 俊雄 (山形)
東醫	岡崎 稔 (山形)	東北工	小野 正知 (山形)	金澤醫	齋藤 誠 (千葉)
農	櫻井 次雄 (東京)	農	佐々木 仁一 (山形)	東北醫	清野 祐彦 (山形)
東北醫	鹽澤 精一 (宮城)	醫	高梨 三樹 (千葉)	醫	土屋 克彦 (新潟)
農	梅森 正行 (宮城)	工	吉崎 鴻造 (愛知)		

第十四回 百五十二名 (昭和十一年三月卒業)

文科甲類 (二十七名)

東文	厄田 滿 (千葉)	京法	五十嵐 武比古 (福島)	東法	伊藤 文助 (福島)
法	岩田 富次郎 (京都)	法	鎌田 博 (宮城)	商	神田 大三 (京都)
京法	金子 藤太郎 (神奈川)	東法	加藤 秀夫 (山形)	法	工藤 堯田 (山形)
工	藤 榮 (山形)	法	栗原 一郎 (茨城)	京法	増田 篤 (東京)
東經	村岡 信雄 (東京)	東北法文	長岡 太四郎 (山形)	熊本醫	中村 壬一 (山形)
東經	新開 嶽雄 (山形)	東法	大川 寅之助 (茨城)	文	頼 芳樹 (廣島)
東經	坂部 時夫 (山形)	法	坂根 善四郎 (東京)	東經	鈴木 重之 (茨城)
東文	豊田 要三 (福島)	法	脇 耕太郎 (山形)	東文	山内 十三 (東京)
法	吉田 博保 (福岡)	京經	吉田 久藏 (山形)	東法	吉田 雄三 (山形)

文科乙類 (三十二名)

京法	安部 藤三郎 (山形)	京經	明石 正孝 (秋田)	京法	安倍 静介 (秋田)
東經	青山 正男 (栃木)	京法	千葉 新 (岩手)	京經	遠藤 武男 (山形)
東法	石塚 精一 (新潟)	東法	岩動 洋二 (岩手)	東法	伊藤 勝三郎 (山形)

法	伊藤 光二 (山形)	東經	河口 慶比古 (山口)	東文	北原 健 (長野)
東法	小泉 環 (神奈川)	京法	宮本 益夫 (東京)	東法	内藤 猪三郎 (山形)
京法	中島 一郎 (秋田)	法	中川 富彦 (山形)	文	中木 堅 (福島)
京法	中津川 陸良 (山形)	法	岡田 良 (北海道)	法	大内 誠一 (福島)
京法	齋藤 脩哉 (東京)	法	炭谷 哲二 (富山)	法	田口 辰治 (山形)
東法	高田 景次 (秋田)	京經	武居 厚次 (東京)	法	武田 謙 (山形)
法	田中 眞左志 (山形)	×梅村 榮一 (山形)	東北法文	矢島 一木 (山口)	
經	山本 正男 (福島)	東法	結城 光太郎 (山形)		

理科甲類 (六十名)

京農	安部 爲盈 (京都)	東工	有山 善助 (埼玉)	東北醫	後藤 尙武 (岩手)
東醫	濱野 正明 (東京)	東農	橋本 孝雄 (福島)	東農	服部 千四郎 (奈良)
東農	林田 重幸 (熊本)	東北醫	石川 久之 (山形)	九農	石崎 克巳 (千葉)
金澤醫	石原 憲男爵 (千葉)	京理	伊藤 國雄 (山形)	東理	龜田 薫 (山形)
京工	加藤 一男 (秋田)	阪大工	葛原 寛美 (和歌山)	新潟醫	毛塚 將吉 (東京)
北農	北崎 博康 (大分)	金澤醫	小林 傳四郎 (山形)	東工	小林 健次 (廣島)
北農	小島 喜太郎 (山形)	新潟醫	近藤 茂夫 (北海道)	東農	久保木 憲人 (群馬)
東農	國司 重吉 (千葉)	東北醫	前田 貞正 (新潟)	東北工	萬年 豊治 (鹿児島)

卒業生 第十四回 昭和十一年

一四四

早稻田工	馬杉	毅	(京都)	東北醫	松田正尚	(山形)	東北醫	目黒義郎	(福島)
京工	官崎保	(徳島)	京工	官代正之	(群馬)	京工	最上健次郎	(秋田)	
東農	村上英也	(岩手)	東工	村田章	(山口)	東北醫	長島信正	(東京)	
工	中川正	(東京)	京工	中村四郎	(山形)	東工	中根正克	(埼玉)	
京工	西本清一	(東京)	金澤醫	小野和磨	(秋田)	東北醫	大沼行之	(山形)	
長崎醫	大越進	(埼玉)	長崎醫	逢坂芳人	(徳島)				
東北工	佐藤昇	(宮城)	東農	佐藤喜二	(東京)	京工	佐藤清勝	(宮城)	
東農	鈴木彰	(山形)	阪大工	高橋卓二	(秋田)	京工	篠崎一郎	(千葉)	
工	塚本純男	(長野)	阪大工	田中正秀	(鳥取)	工	武本守正	(岡山)	
工	山内末雄	(静岡)	東農	山田典男	(岩手)	東工	田中好雄	(岐阜)	
東農	横山了助	(山形)	京工	矢代龍一	(香川)	農	横澤傳吉	(宮城)	
			東工	吉村定明	(東京)	農	吉野毅	(群馬)	

理科乙類 (三十三名)

名古屋大	原村正憲	(千葉)	東北醫	長谷川幸之助	(福島)	名古屋大	長谷川舜翁	(愛知)
新潟醫	北條達男	(徳島)	京醫	石山功	(山形)	金澤醫	板垣新三	(山形)
東北醫	伊藤真行	(青森)		木村直	(石川)	金澤醫	切替孝友	(千葉)
九州醫	工藤三郎	(山形)	新潟醫	工藤吉雄	(北海道)	京醫	三原正春	(愛知)
名古屋大	淡榮光	(徳島)	金澤醫	宮内正矩	(福島)	新潟醫	森川國雄	(福島)
新潟醫	森戸保次	(群馬)	東醫	村上司郎	(山形)	東理	長沼辰二郎	(山形)
東醫	西牧榮	(福島)	工	野口期	(東京)	東京工大	佐藤正雄	(神奈川)
東北醫	曾根博	(宮城)	京醫	曾野藤夫	(福島)	東醫	杉浦清四郎	(愛知)
工	高橋豊吉	(山形)	新潟醫	高野一松	(新潟)	熊本醫	武岡克明	(徳島)
熊本醫	塚本甲子男	(埼玉)	東農	内田正作	(東京)	新潟醫	渡邊孝之助	(北海道)
新潟醫	渡邊幸太	(福島)	新潟醫	山口則明	(神奈川)	九州醫	横山達郎	(福島)

第十五回 百四十名 (昭和十二年三月卒業)

文科甲類 (三十一名)

東文	赤同道義	(山形)	東文	淺原正基	(東京)	東文	榎本出雲	(東京)
東法	平城一郎	(東京)	東文	細野哲雄	(新潟)	東法	細谷彌太郎	(山形)
京經	池谷千尋	(東京)	東經	今井宏	(山形)	東經	石川智典	(山形)
東文	石塚英二	(茨城)	東北法文	叶澤正二	(福島)	東法	金守睦	(朝鮮)
東文	北村正巳	(山形)	東文	駒田信二	(三重)	京經	小松貞亮	(群馬)
京法	今野義一	(山形)	京經	三浦盛典	(秋田)	東經	宮川博	(東京)
東經	村井英次	(山形)	京經	南雲親光	(山形)	京法	南部哲也	(北海道)

卒業生 第十五回 昭和十二年

一四五

京經 法 侃一郎 (熊本) 京法 大橋武彦 (岐阜)
 東北法文 佐藤憲一 (宮城) 東法 谷口良男 (秋田)
 東經 堀田一 道 (山形) 東經 津久井公平 (群馬)
 京經 渡邊俊次郎 (山形) 東北法文 白井忠彦 (神奈川)

文科乙類 (二十一名)

東法 青木 覺 (山形) 東北法文 別府現人 (東京)
 京法 長谷川正文 (東京) 東文 賀月宏章 (埼玉)
 京法 石上武夫 (東京) 京法 川口武夫 (神奈川)
 京法 森 喜代四 (福島) 東文 森 幸一 (宮城)
 東北法文 野村讓二 (東京) 東經 佐々木良一 (秋田)
 東法 佐藤定次郎 (山形) 東法 里見誠二 (山形)
 東經 鈴木 哲 (山形) 東法 高井成正 (東京)
 京法 堀谷 徹 (福島)
 京法 塚原千矩 (長野)

理科甲類 (五十七名)

東農 赤松 弘 (東京) 東北醫 青木源一 (山形)
 新潟醫 西妻一郎 (福島) 東農 茶木哲之助 (東京)
 東工 福田正典 (栃木) 東農 橋爪 徹 (東京)
 京理 遠藤文男 (静岡)
 京理 渡多野義夫 (東京)

長崎醫 本多有 隣 (東京) 京工 五十嵐正武 (山形) 金澤醫 石橋正一 (山形)
 東北醫 石川正保 (山形) 東北理 石光章利 (東京) 東醫 一色 孝 (茨城)
 東北醫 香川憲一 (三重) 東京工大 神谷昌夫 (東京) 北大工 神作正夫 (千葉)
 京農 加藤雄二郎 (神奈川) 東工 木村信壽 (東京) 東北醫 北村正夫 (山形)
 阪大工 小平清秀 (東京) 東農 近藤 章 (岡山) 金澤醫 工藤太刀期 (秋田)
 新潟醫 熊谷 博 (長野) 東農 倉澤 博 (長野) 長崎醫 又吉康哉 (沖繩)
 名古屋大 三森嘉久雄 (福島) 東工 宮本乃文 (山口) 東工 守口忠夫 (三重)
 東農 武藤聰雄 (福岡) 京北工 永井四郎 (山形) 東京工大 野並志郎 (高知)
 北大工 大久保通夫 (茨城) 金澤醫 齋藤 實 (秋田) 東工 佐藤美津雄 (山形)
 東農 清水芳郎 (岐阜) 京理 菅原成徳 (岩手) 東醫 鈴鹿 匡 (京都)
 東北工 鈴木五郎 (岐阜) 東工 鈴木 聰 (山形) 東工 高橋理介 (山形)
 京工 竹内益雄 (山口) 東京工大 玉井健夫 (岐阜) 東農 田中秀五 (岐阜)
 東農 田中翼次 (山形) 名古屋大 島居 章 (愛知) 東農 島海 進 (千葉)
 新潟醫 豊島 期 (新潟) 東京工大 宇賀田富五 (埼玉) 京工 漆野季廣 (茨城)
 東北工 渡邊五郎 (宮城) 東農 渡邊 總夫 (東京) 阪大工 横山芳邦 (愛知)
 東農 吉田秀之助 (東京) 東理 吉田利夫 (茨城) 吉川 需 (山形)

理科乙類 (三十一名)

東農	赤司	景	(福岡)	京醫	值賀忠成	(山形)	京醫	遠藤六也	(山形)
東北醫	藤井貞男	(福島)	新潟醫	福田保	(群馬)	臺北醫	後藤半	(宮崎)	
東北醫	橋本邦夫	(茨城)	東北理	堀武義	(岐阜)	新潟醫	五十嵐市郎	(福井)	
京醫	伊藤正治	(東京)	熊本醫	柏木芳夫	(和歌山)	岡山醫	清原泰夫	(佐賀)	
千葉醫	幸治	(千葉)	新潟醫	日下部肇	(山形)	金澤醫	丸山鍊治	(青森)	
京農	松下	(兵庫)	長崎醫	松崎幹雄	(大分)	東北醫	村岡弘	(山形)	
東北醫	村里正六	(岩手)	金澤醫	中山泰助	(東京)	新潟醫	小片保	(群馬)	
新潟醫	小野口仁二	(福島)	東北醫	大内清太	(山形)	東北醫	齋藤悌三	(山形)	
新潟醫	佐藤昌	(宮城)	東北醫	佐藤利雄	(山形)	東北醫	高萩	(福島)	
東北醫	高世幸弘	(山形)	千葉醫	内海武夫	(東京)	東北醫	湯目芳郎	(宮城)	
新潟醫	吉岡孝次	(埼玉)							

第十六回 百十九名

(昭和十三年三月卒業)

文科甲類 (二十名)

神戸商大 麻田暢夫 (大阪) 東北法文 五斗賢吾 (東京) 東文 本間忠吉 (山形)

京法	今井	董	(新潟)	東經	金子康三	(埼玉)	神戸商大	小松弘幹	(茨城)
東北法文	松原義顯	(茨城)	京經	村上達三	(東京)	東北法文	内藤省一郎	(山梨)	
京經	中村源吉	(山形)	東法	野村槐男	(鹿児島)	京法	大房基一	(東京)	
京經	小口隆弘	(長野)	東文	岡崎恭一	(東京)	京經	太田實	(秋田)	
東北法文	關根宗典	(山形)	京法	鈴木之男	(静岡)	京法	瀧澤榮吉	(東京)	
京經	田中政英	(鳥取)	京法	渡邊正男	(神奈川)				

文科乙類 (三十名)

東經	阿部榮一	(山形)	東北法文	阿部善助	(山形)	東經	星野正	(愛知)
京經	市河英彦	(静岡)	熊本醫	石田鎌一	(岐阜)	東北法文	色部良三	(東京)
東文	角張東格	(山形)	東法	金森久	(山形)	京經	川島良造	(栃木)
京法	松本文二	(埼玉)	東文	宮田丈夫	(山形)	東經	村上弘	(栃木)
東北法文	小野善次	(山形)	東文	佐々木鋭市	(宮城)			
京法	佐藤一郎	(宮城)	京農	佐藤剛章	(山形)	東文	鹿野利男	(山形)
東北法文	庄司恒	(山形)		鈴木常治郎	(山形)	東文	高橋彦弘	(東京)
東文	竹石耕美	(福岡)	東北法文	寺尾昭六	(東京)	京經	外山京太郎	(宮崎)
京法	鶴見市郎	(静岡)	京法	渡邊正止	(新潟)	東經	山本善一郎	(静岡)
東北法文	吉田收	(宮城)	京法	吉田鐵夫	(東京)	京經	吉田行雄	(福島)

卒業生 第十六回 昭和十三年

理科甲類 (三十九名)

京理	阿部卓二 (徳島)	新潟醫	查間善繼 (東京)	新潟醫	本間秀夫 (新潟)
東農	藤巻正生 (長野)		出野清光 (千葉)	東京工大	飯田堅三 (埼玉)
北大工	池上源吉 (富山)	北大工	池田孝一 (千葉)	京工	一條秀夫 (北陸)
東農	神谷誠 (東京)	東農	金澤林助 (東京)	東工	加藤龍生 (東京)
東北理	川本彌雄 (東京)	京理	木塚英夫 (栃木)	新潟醫	小林榮一 (北陸)
京工	小松和郎 (長野)	新潟醫	小曾章男 (東京)	京理	牧田新也 (山形)
新潟醫	升川忠男 (山形)	京理	望月直義 (東京)	金澤醫	村内必典 (東京)
京農	中島健 (群馬)	東工	中村利雄 (山形)	金澤醫	中山福男 (北陸)
京農	中山太郎 (新潟)	阪大工	二瓶一郎 (宮城)	阪大工	仁科義郎 (静岡)
東農	野口嘉信 (静岡)	東工	大石武男 (山形)	新潟醫	大井龍夫 (秋田)
京理	小川貞久 (東京)	東北工	佐野仁 (静岡)	新潟醫	柴田司郎 (山形)
東北理	鈴木隆 (宮城)	東京工大	田島龍一 (埼玉)	東北醫	竹内隆一 (福井)
東農	寺内清彦 (東京)	東京工大	山口孝 (東京)	東京工大	吉野重信 (山形)

理科乙類 (三十名)

千葉醫	阿野正人 (山口)	東北醫	淺野基行 (東京)	東北理	土居峯夫 (宮城)
-----	-----------	-----	-----------	-----	-----------

東北法文	遠藤春吾 (山形)	千葉醫	花輪哲夫 (山梨)	東北醫	島俊五 (岩手)
東農	福井久喜 (奈良)	東農	飯島榮次 (長野)	東農	石川中 (山形)
名古屋	北本三郎 (大阪)	千葉醫	小泉隆 (千葉)	千葉醫	中原毅 (長野)
東北醫	成末正夫 (廣島)	東北醫	岡部兵工 (静岡)	東北醫	大沼雅彦 (山形)
名古屋	大塚正夫 (新潟)	千葉醫	齋藤宗壽 (長野)	東北醫	佐藤克巳 (山形)
千葉醫	杉村脩一 (東京)	東北醫	高木達雄 (東京)	東農	高橋曉正 (秋田)
東北醫	丹野三郎 (福島)	東北醫	斗ヶ澤龍哉 (岩手)	東北醫	浦山晃 (山形)
東北醫	和仁一三 (神奈川)	名古屋	渡邊十一郎 (新潟)	名古屋	渡邊勝男 (愛知)
東北醫	渡邊泰治 (山形)	東北醫	矢部清壽 (宮城)	東農	山口信男 (東京)

第十七回 百四十四名 (昭和十四年三月卒業)

文科甲類 (三十名)

東文	安部知雄 (宮城)	東文	阿部幸男 (新潟)	東法	安達隆吉 (山形)
京法	赤松純二 (東京)	京法	遠藤勇輝 (山形)	京法	今井正郎 (三重)
東法	入交正氣 (高知)	京法	石井敏夫 (山形)	京法	木村誠 (山形)
東文	小島秀幸 (群馬)	京法	窪田正敏 (山梨)	東北法文	窪田俊彦 (東京)
東北法文	松田俊廣 (山形)	東法	松井彰明 (東京)	東文	水口敏之 (徳島)

京經	中村靖一 (長野)	京法	繩野匡邦 (山形)	京經	坂寄俊雄 (東京)
東經	佐藤憲正 (東京)	東文	佐藤正 (山形)	東北法文	關成一 (大阪)
東經	關誠之 (埼玉)	京經	下平次元 (東京)	東經	鈴木敬三 (千葉)
京法	鈴木龍太郎 (岩手)	京法	高橋文武 (宮城)	東法	寺門善次郎 (東京)
東經	戸田寛 (静岡)	京經	塚崎武次 (愛知)	東法	和田英夫 (山形)

文科乙類 (二十四名)

京文	青村鶴彦 (栃木)	京經	朝倉次男 (福島)	京法	馬場博 (新潟)
京文	江坂哲夫 (秋田)	京法	藤田光雄 (東京)	東文	市村仁 (山形)
東文	池田和 (東京)	京法	岩下武三郎 (長野)	東經	粕谷正 (新潟)
東文	紅松保雄 (東京)	九州法文	草野隆一 (東京)	京法	門間賢 (秋田)
東經	佐藤正 (山形)	神戸商大	南雲純 (山形)	京法	佐藤中行 (福島)
東經	鈴木正次 (山形)	京法	高田成 (東京)	東文	鈴木勝 (群馬)
東文	塚本法彦 (山形)	東文	鷲見修夫 (栃木)	東北法文	富永浩 (千葉)
京工	愛澤實 (福島)	千葉醫	長谷川安雅 (千葉)	東京工大	橋本圭介 (東京)

理科甲類 (六十四名)

北大工	橋本清 (宮城)	阪大工	平賀竹夫 (福島)	阪大理	廣川作太郎 (福島)
東農	舟越得三 (鳥取)	東京工大	古田陸彦 (栃木)	金澤醫	藤井俊夫 (廣島)
東工	五十嵐光男 (山形)	新潟醫	精谷宗男 (福井)	千葉醫	菊田次郎 (宮城)
京工	桐澤淳 (秋田)	千葉醫	小林正秀 (群馬)	京農	小池健次郎 (東京)
東理	工藤弘吉 (山形)	東農	栗田憲二 (静岡)	京農	栗山旭 (石川)
東北醫	桑島格一 (山形)	九州理	増田忠純 (東京)	千葉醫	三舟泰造 (東京)
京工	三浦禎雄 (秋田)	東京工大	森川鐵之助 (福岡)	東農	村上寛一 (岩手)
東京工大	長澤智一 (山形)	阪大理	根岸新治 (群馬)	東北醫	仁科正夫 (山形)
北大工	西野泰裕 (東京)	東北醫	沼倉昌彦 (宮城)	東北醫	及川安一 (宮城)
東農	岡沼巖 (福島)	北大工	奥平浩 (東京)	新潟醫	逢坂頼一 (徳島)
	寒河江幸正 (山形)	京工	齋藤秀夫 (山形)	東北醫	齋藤佳雄 (山形)
	佐々木満雄 (熊本)	東北醫	佐竹泰雄 (宮城)	名古屋大	佐藤一夫 (群馬)
	佐藤進一 (群馬)	名古屋大	佐藤正治 (福島)	名古屋大	佐藤義男 (山形)
京醫	島田正男 (栃木)	東農	下村養一 (東京)	阪大工	鹽田義重 (東京)
東農	白崎敬志 (山形)	東京工大	白崎謙二郎 (山形)	新潟醫	紫竹貫之 (東京)
京理	菅鐵平 (秋田)	東北醫	鈴木禮三郎 (千葉)	京工	藤沼八郎 (秋田)
千葉醫	田口靖耶 (秋田)	高野精夫 (北海道)	寺内馨 (群馬)	京工	竹下啓一郎 (東京)
千葉醫	田島一彦 (群馬)	千葉醫	寺内馨 (群馬)	千葉醫	茅根一郎 (茨城)

卒業生 第十七回 昭和十四年

東海林 慶二 (山形) 新潟醫 遠山光正 (東京)
 京理 渡邊貞一 (新潟) 九州工 渡邊綱男 (愛知)
 東農 山下敏夫 (東京) 千葉醫 豊島正道 (茨城)
 京工 山田勉 (愛媛)

理科乙類 (二十六名)

東醫 相田俊郎 (山形) 新潟醫 馬場重正 (群馬)
 千葉醫 長谷川廣吉 (千葉) 千葉醫 猪野家憲 (千葉)
 東農 川島通義 (栃木) 千葉醫 小林清 (茨城)
 千葉醫 草間昇 (茨城) 東北醫 三森繁 (福島)
 名古大 宮下盛男 (群馬) 東北醫 永田千吉郎 (茨城)
 名古大 小笠原光敏 (山形) 東北理 岡田英晴 (徳島)
 東北醫 杉村徳三 (東京) 東醫 戸部龍夫 (群馬)
 千葉醫 浦部嘉夫 (千葉) 阪大醫 内海正 (東京)
 千葉醫 山田庄助 (福島) 小針精壽 (福島)

阪大醫 江畑維三郎 (秋田)
 東工 石原俊 (東京)
 名古大 倉品義雄 (新潟)
 千葉醫 三浦寛 (山形)
 中桐一政 (東京)
 阪大醫 菅賢郎 (愛媛)
 東農 梅本昌一 (兵庫)
 九州醫 和田博夫 (栃木)

一、卒業生類別調

年別	文科甲類	文科乙類	理科甲類	理科乙類	計
大正十二年	三	三	六	三	一五
大正十三年	三	三	六	三	一五
大正十四年	三	三	六	三	一五
大正十五年	三	三	六	三	一五
昭和二年	三	三	六	三	一五
昭和三年	三	三	六	三	一五
昭和四年	三	三	六	三	一五
昭和五年	三	三	六	三	一五
昭和六年	三	三	六	三	一五
昭和七年	三	三	六	三	一五
昭和八年	三	三	六	三	一五
昭和九年	三	三	六	三	一五
昭和十年	三	三	六	三	一五
昭和十一年	三	三	六	三	一五
昭和十二年	三	三	六	三	一五
昭和十三年	三	三	六	三	一五
昭和十四年	三	三	六	三	一五
果計	三七	三七	一〇〇	五〇	二〇七

卒業生類別調

一五五

○敷地及建物

山形高等學校ノ敷地ハ山形縣山形市小白川町ニテ其ノ面積二萬五坪八合五勺ナリ。之レニ建設セル建物ノ總坪數ハ三千四百九十六坪四合四勺（内二階建坪九百三十坪七合）ナリ

附 錄

○校友會規則

- 第一條 本會ハ山形高等學校校友會ト稱ス
- 第二條 本會ハ山形高等學校職員生徒全部ヲ以テ組織ス
- 第三條 本會ハ會員ノ親睦ヲ厚ウシ心身ノ修養ヲ圖リ校風ヲ振作スルコトヲ以テ目的トス
- 第四條 本會會員ヲ分チテ左ノ二種トス
 - 特別會員 本校職員
 - 通常會員 本校生徒
- 第五條 本會ニ左ノ諸部ヲ置ク
 - 總務部、學藝部、辯論部、劍道部、柔道部、弓道部、野球部、庭球部、籠球部、蹴球部、競技部、雪艇部、山岳部、馬術部
- 總務部ハ本會ノ庶務、會計並ニ各部ニ專屬セサル事業ヲ擔當ス
- 第六條 本會々費ハ左ノ通りトス
 - 特別會員 毎年相當ノ金額ヲ支出ス

通常會員 會費每學年金拾壹圓入會金五圓

通常會員ノ會費ハ學年ノ始メ入會金ハ入會ノ際一學期授業料ト共ニ納附スルモノトス

第七條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一 名 本校々長ヲ推ス

副會長 一 名 特別會員中ニ就キ會長之ヲ委囑ス

理事 若干名 同上

部長 各部一名 同上 但シ總務部長ハ理事中ニ就キ會長之ヲ委囑ス

事務員 若干名 同上

委員 各部六名 通常會員ノ互選ニ依ル候補者ニ就キ會長之ヲ任命ス但シ正副級長ハ總務部以外ノ

各部ノ委員タルコトヲ得ス

總務部委員ハ正副級長ノ互選ニ依ル候補者中ニ就キ會長之ヲ任命ス

第八條 本會役員ノ任務左ノ如シ

會長 本會々務ヲ統轄ス

副會長 會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ニ代ルモノトス

理事 本會ノ事務ヲ處理シ豫算ノ査定及決算ノ監査ノ任ニ當ル

部長 其ノ部ノ事務ヲ監督ス

事務員 本會庶務會計ノ事務ニ從事ス

委員 其ノ部ノ事務ヲ擔當ス

第九條 總會ハ會長之ヲ召集ス

總會ニハ各部委員二名宛及各級代表一名宛(正級長若ハ副級長)出席スルモノトス

總會ノ成立ハ出席資格者ノ三分ノ二以上ノ出席ヲ要ス

總會ニ於ケル決議事項ハ會長ノ許可ヲ得テ效力ヲ生スルモノトス

第十條 各部委員ハ毎年十一月之ヲ改選シ其ノ任期ハ一ケ年トス

但シ再選ヲ妨ケス

雪艇部委員ハ毎年二月之ヲ改選ス

第十一條 豫算ハ毎年二月各部ノ豫算案ニ基キ理事之ヲ査定シ總會ノ決議ヲ經テ會長之ヲ定ムルモノトス

第十二條 本會々計細則ハ別ニ之ヲ定ム

第十三條 各部ノ規則ハ各部ニ於テ之ヲ定メ會長ノ認可ヲ受クヘキモノトス

附 則

本規則ノ變更ハ總會出席者ノ三分ノ二以上ノ同意ニ依リ會長之ヲ決定ス

○校友會會計細則

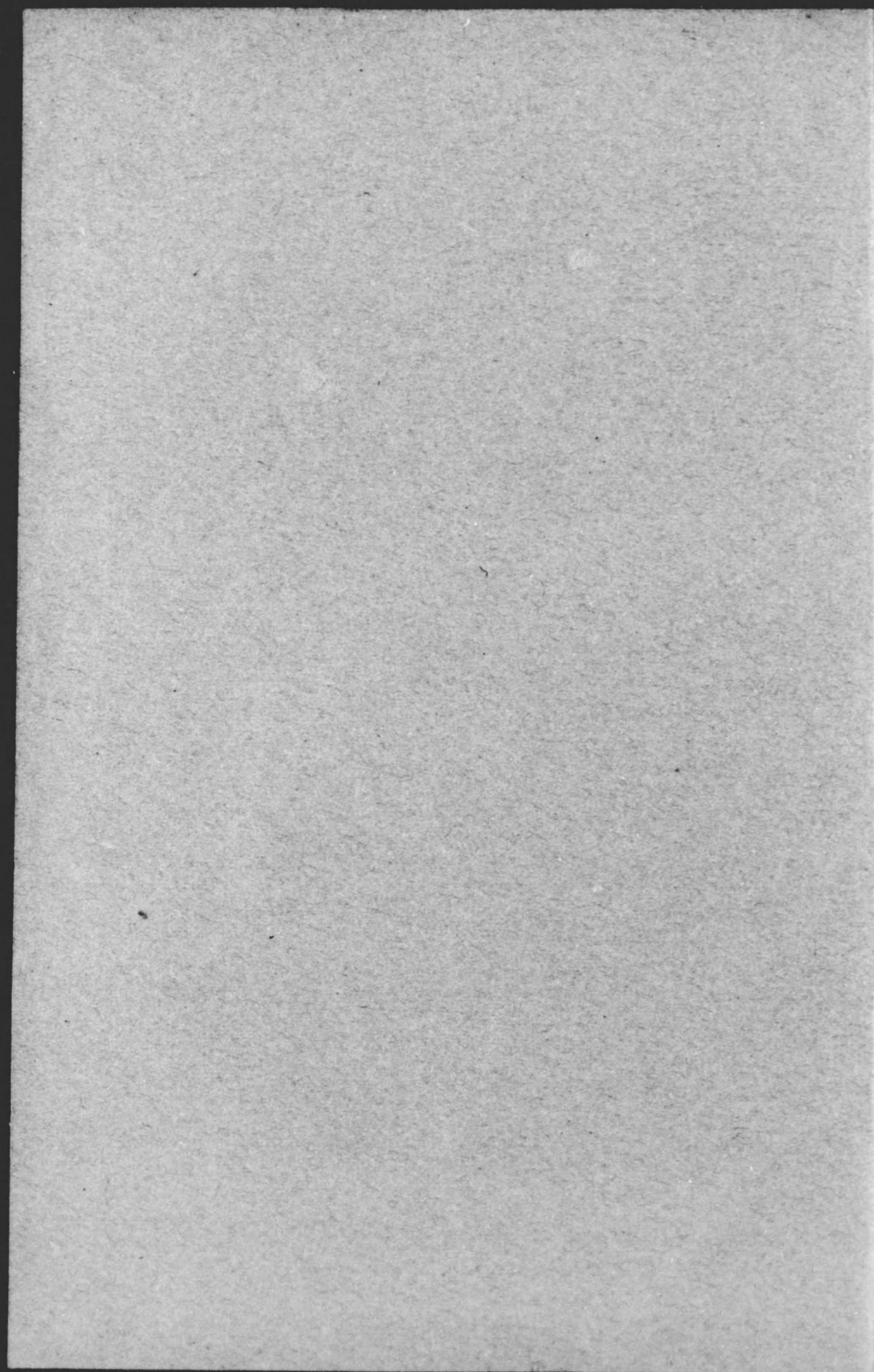
- 第一條 本會ノ會計ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ヲ一會計年度トシ一會計年度ノ經費ハ當該年度ノ收入ヲ以テ支辨ス
- 第二條 各部ハ毎年十二月末日迄ニ翌年度歳出豫算請求書ヲ作成シ總務部ニ提出スルモノトス
總務部ハ一月二十日迄ニ翌年度歳入豫算案ヲ作成スルモノトス
- 第三條 總務部長ハ各部ヨリ提出シタル歳出豫算請求書ヲ取纏メ豫算會議ニ附スル準備ヲナスモノトス
- 第四條 豫算會議ハ一月中之ヲ開キ理事及各部長會合シテ各部ノ歳出豫算ニ就キ協議スルモノトス
- 第五條 各部歳出豫算額ハ豫算會議ノ協議ニ基キ理事之ヲ査定シ總會ニ附シタル上會長ノ許可ヲ得テ確定ス
- 歳入豫算ハ會長ノ認可ヲ得テ理事之ヲ定ム
- 第六條 歳入ニ關スル事務ハ總務部長之ヲ監督ス
- 歳入ハ入會金、通常會費、職員寄附金、銀行利子、一般寄附金、前年度剩餘繰越金等ノ收入トス
- 第七條 理事ハ毎年六月當該年度ノ歳入額ト各部ノ歳出豫算ノ總計額トヲ對照シ歳入ノ收納額カ各部ノ歳出豫算ノ總計額ヨリ不足ナリト認ムルトキハ各部ノ歳出豫算額ヲ減スルコトヲ得
- 第八條 各部長ハ其ノ所屬ノ歳出豫算ヲ施行スルタメ會計委員二名(總務部ハ事務員他ノ各部ハ通常會員)ヲ委囑スルモノトス

- 會計委員ハ部長ノ命ヲ承ケ支出ニ關スル用務ヲ取扱フコトヲ得
- 第九條 各部ノ支出ハ本會所定ノ手續ニ依ルニアラサレハ支拂ヲナスコトヲ得ス
- 第十條 總務部長ハ一月二十日迄ニ總收入額總支出額ヲ對比概算ノ上剩餘アルトキハ翌年度豫算ニ編入ノ準備ヲナスモノトス
- 第十一條 前年度會計ハ四月中總務部ニ於テ歳入歳出ノ決算ヲ行ヒ理事ノ監査ヲ經、會長ノ認可ヲ得テ之ヲ完結スルモノトス

附 則

本細則ハ大正十五年十月一日ヨリ施行ス

283
32



283
32

